

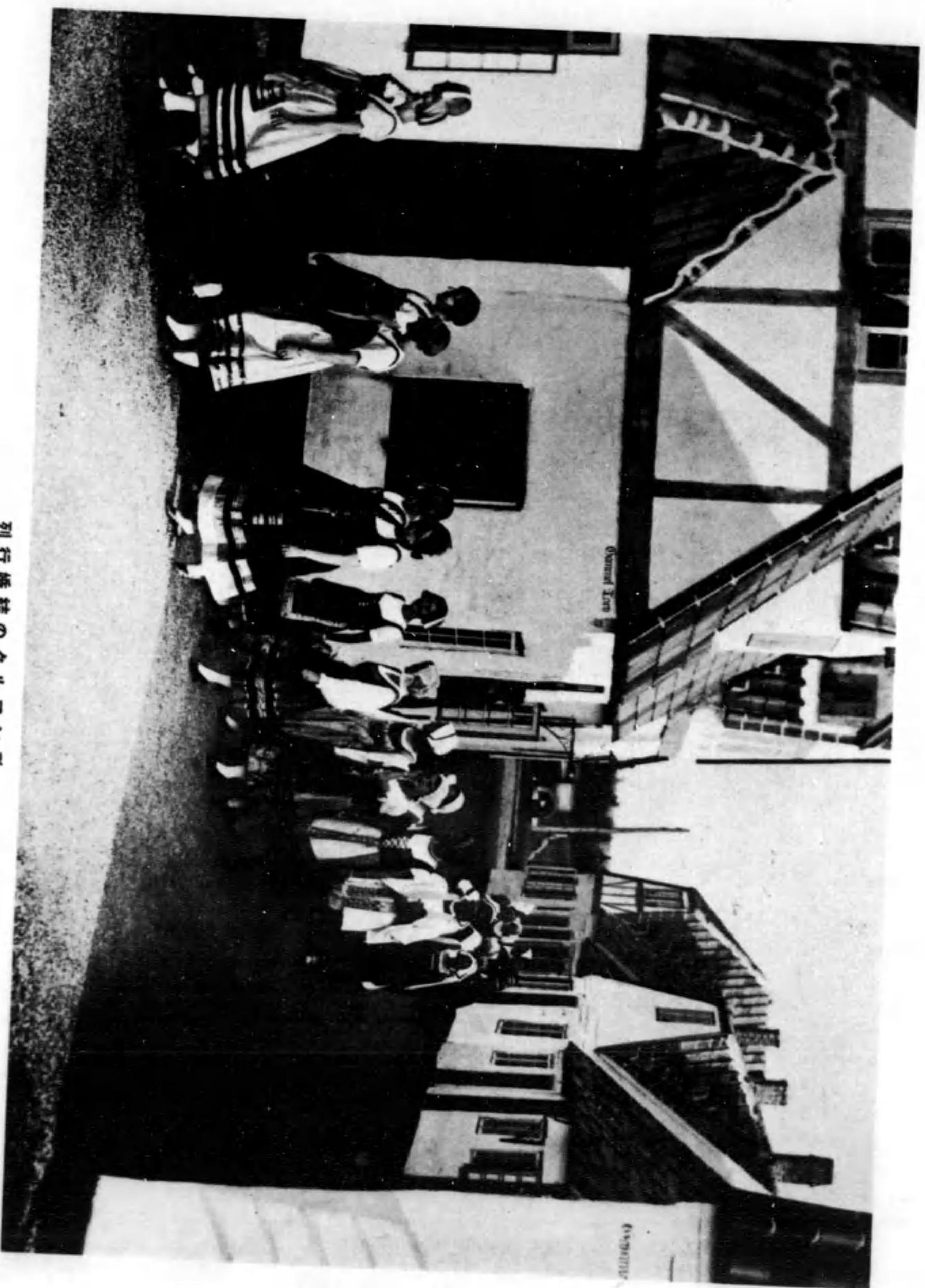
てりとほの湖

○人二人さ相いしは麗装の風タ、グトックに獲水の湖ヤリーカレグとい美のンデューウス



人ントーユチ的な型典

○るあて恭禮の色明る最で中男世でドンロブく高は丈は群トイダデンカス



列行婚結のケルマツチ

○く行てい續にち前か運高若の運人友の婚住家作。列行の村のケルマツチ



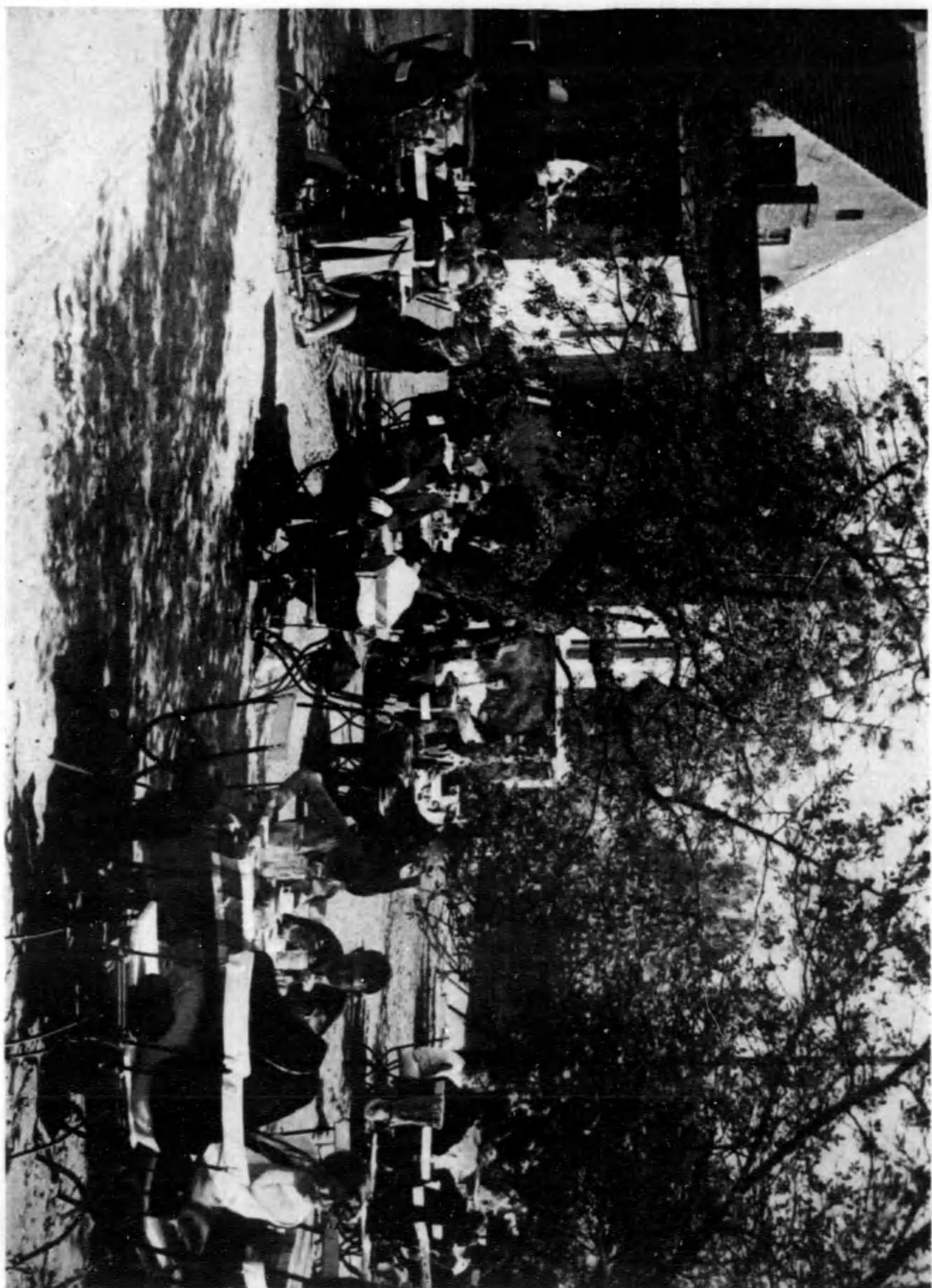
遠嶺のケルマツチいる明

○いる明てまのこくはこりかはいる明か、遠嶺・嶺・嶺のそは運高若のケルマツチ



母老のフンラーホ

このころおつしを花のゾウお母をい多が々人をす類にカラス西はにフンラーホ



みし樂の人ソリルベ

このころこちとちと特産品屋の股一人ツイドはとこを飲んムーデでムナーチの外戸く穿の窓に日の書なはり



178

祭の園ツイド

あるて軍行の始まるる留るるけ外に園のそはれ。ム殿てしと節展紀を日八十月一はでツイド

179



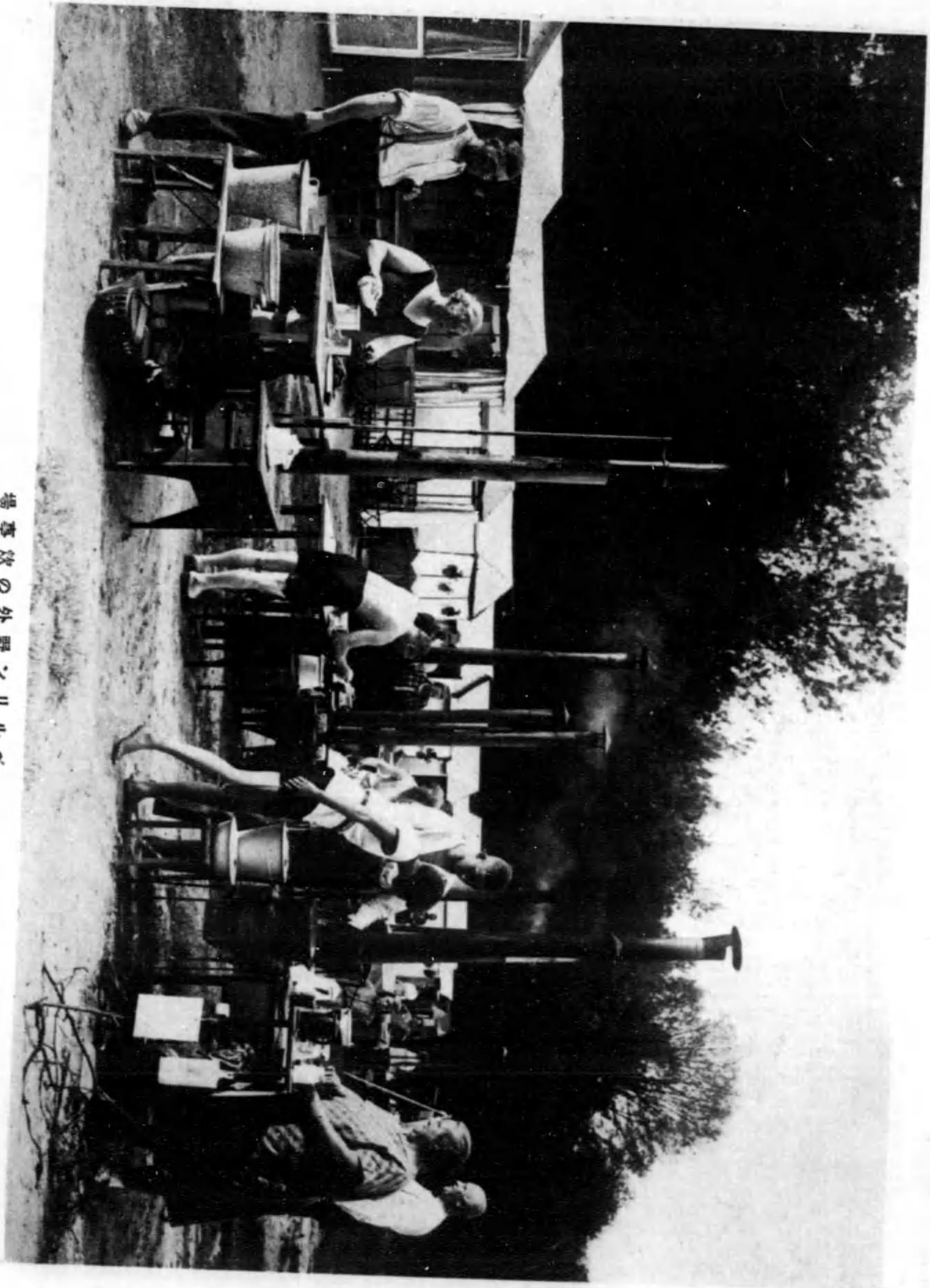
子のソリルへな氣元

あることろてしとちよけ掛出へ物か供子のソリルへな。あることろは掛か窓並な帯並に背敷の血少背はでツイドる人想に氣窓の異國



二人娘のツイド

ろこころみてしを世化が二人娘ち掛出にクニクビ。ろあてりかばく驚はとこな感の動運に間年少青のツイト



場草飲の外野ソリルン

ろあてつ使に飲有る部休の置は々人たらけ取がトチチの子無置はでルゲータの四にソリルン



女美のヤダユ

人美のヤダユのニューウイし美も最で中華世はど回い多に常非が人ヤダユはてけかにヤリガシハハルヤリトス一



俗風舎田のツイド

るあてつ種に今が髪短いしかあ古のらが昔はに舎田るあて女男年若の舎田のトルケツルウシはれこ



娘 姓 百 の 俗 風 ラ ガ

。るれら知てしとのもすなを國強いし美も最で中方地スブルアは俗風ラガの帯地林森スブルア東ヤリトスーオ



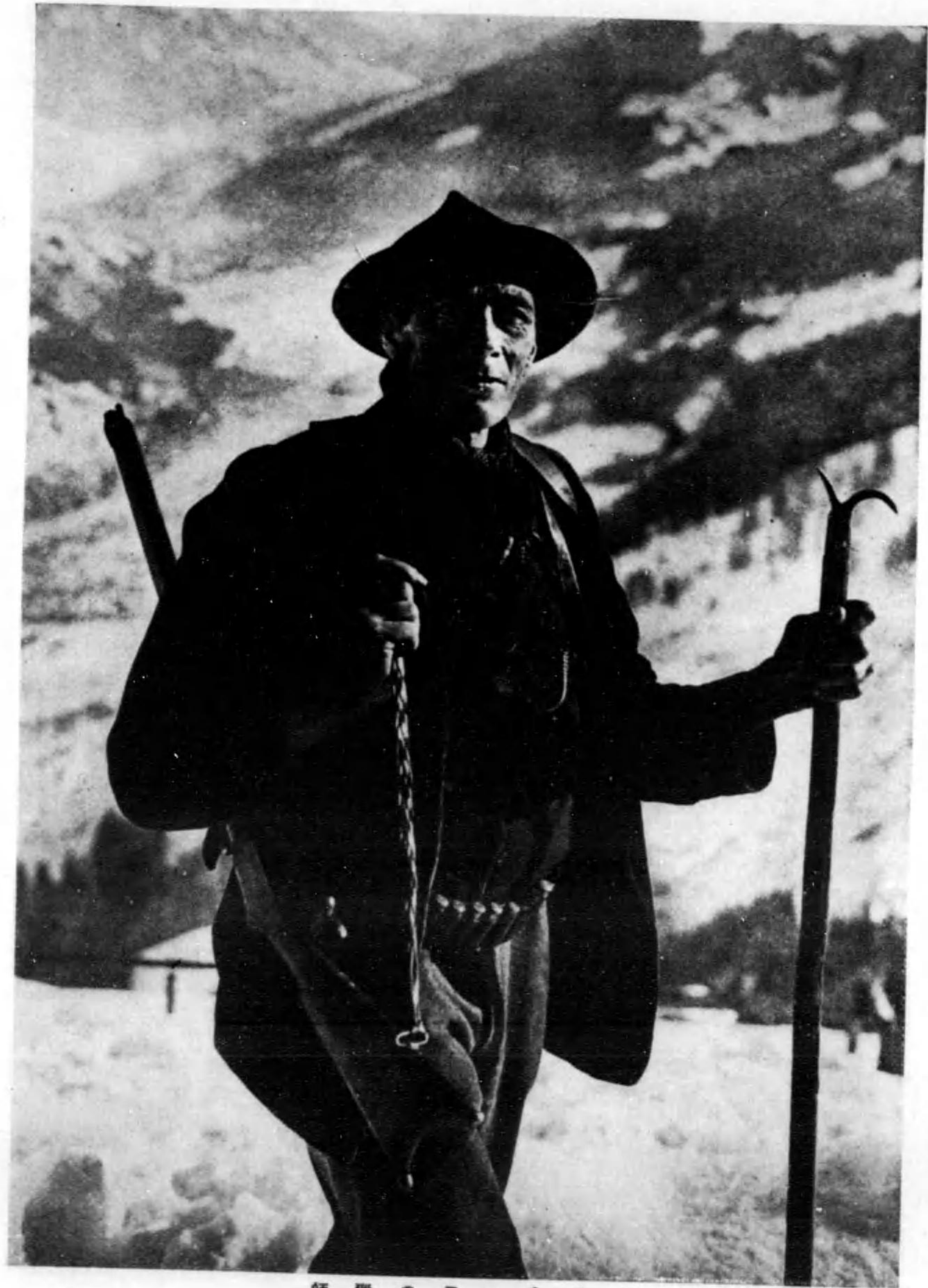
娘 の ヤ リ ト ス ー オ

。娘のダムベツウザい道に境のとツイドはれこ。いなみてつ異と殆とれその産婦ツイドは民住の産西に我ヤリトスーオ



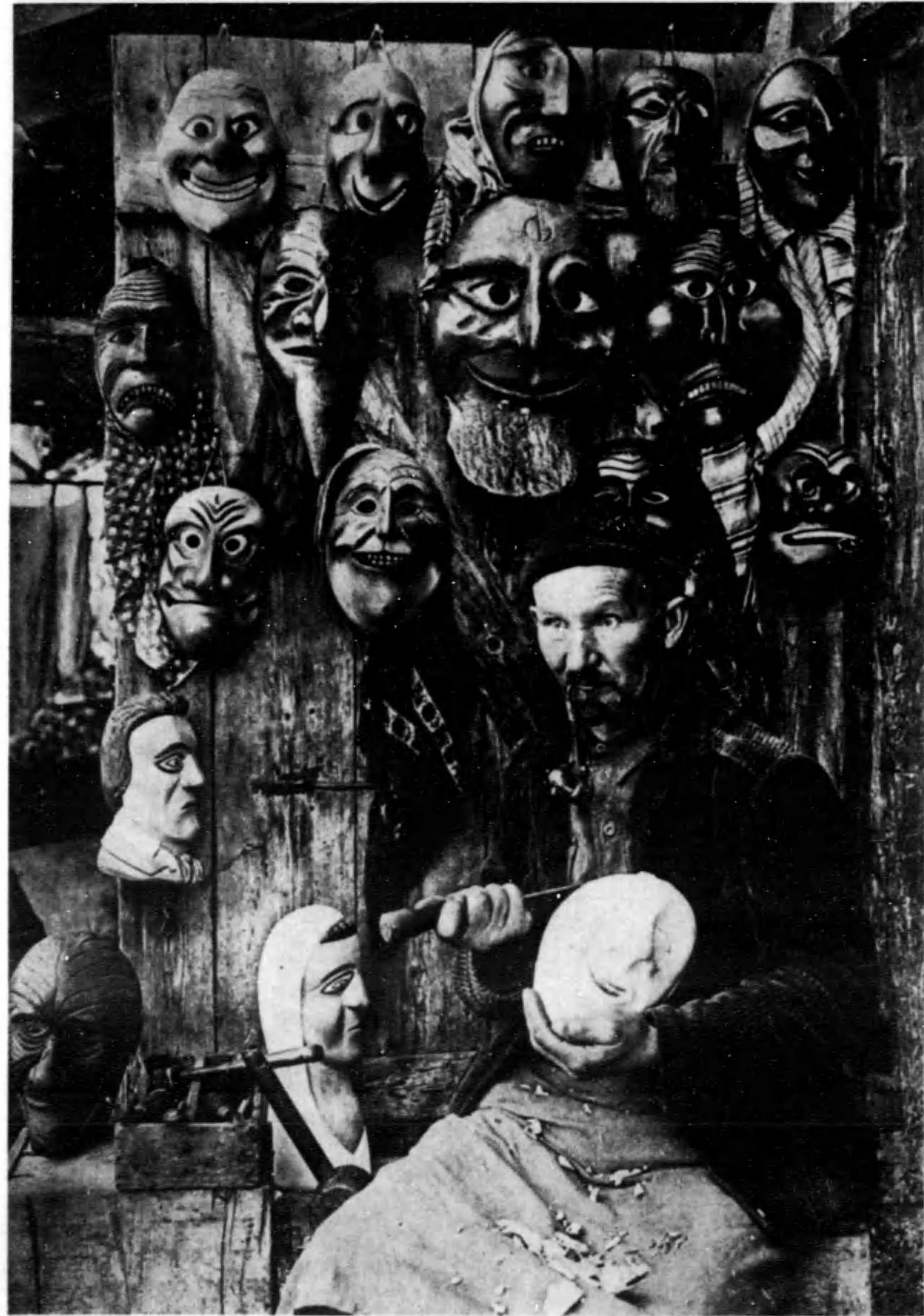
供子のスイス

らあて多様々種々民間のそでのるみてつ立成らる種々の種各だん込入らる答ヤリタイ・スラフ・ツイドは人スイス



師聖のスイス

る登に数多もドイガのあたの家山登る第らる種各界世他のそい多がのる眼を幸の山はにスイスるならる山國全



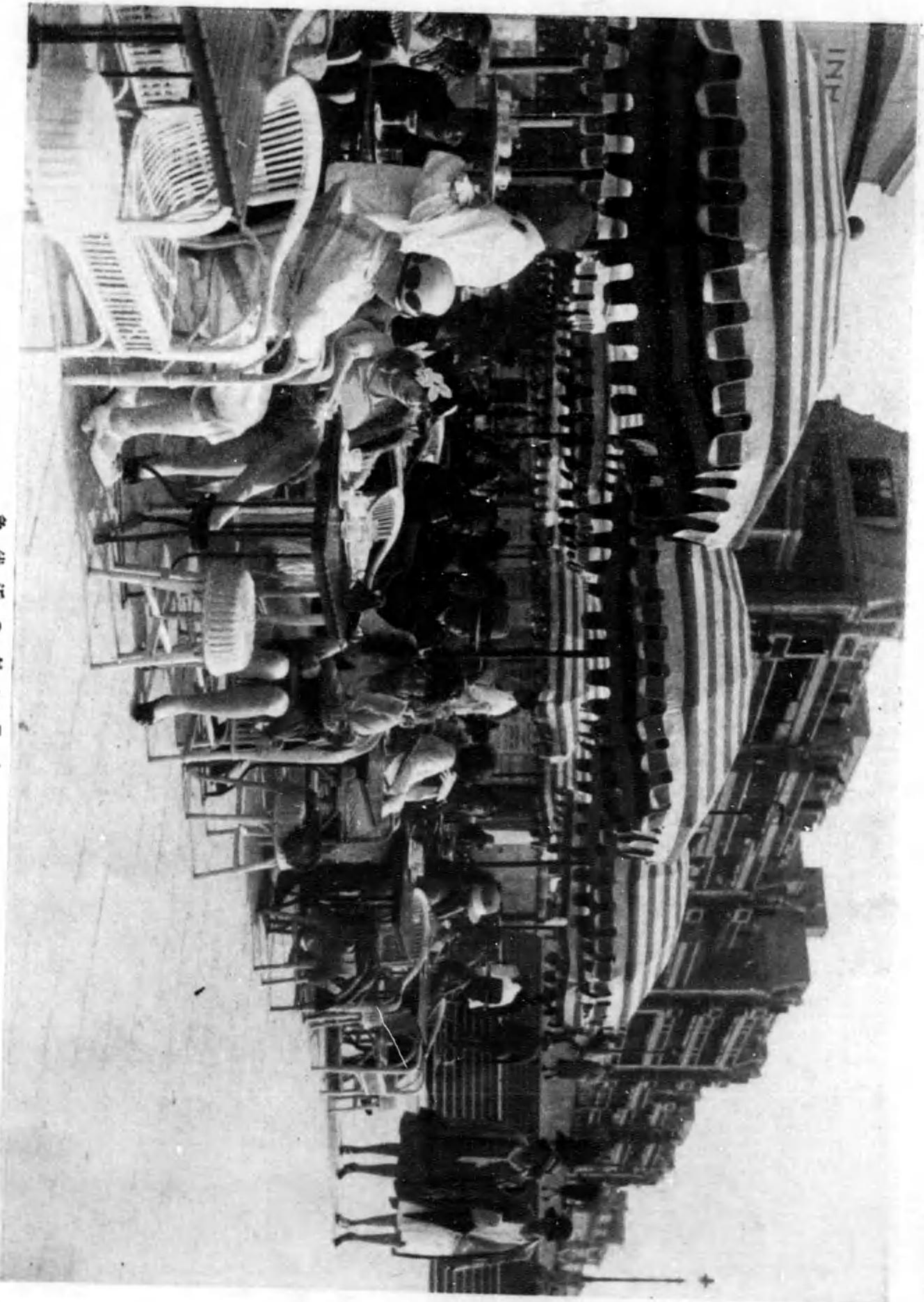
師 刻 彫 の 面

。ろことるみてん期を面が師彫彫たい老年の村 。るみてひ用を語言な々種てつ従は人住のスイスつ立成ちか種人な々種



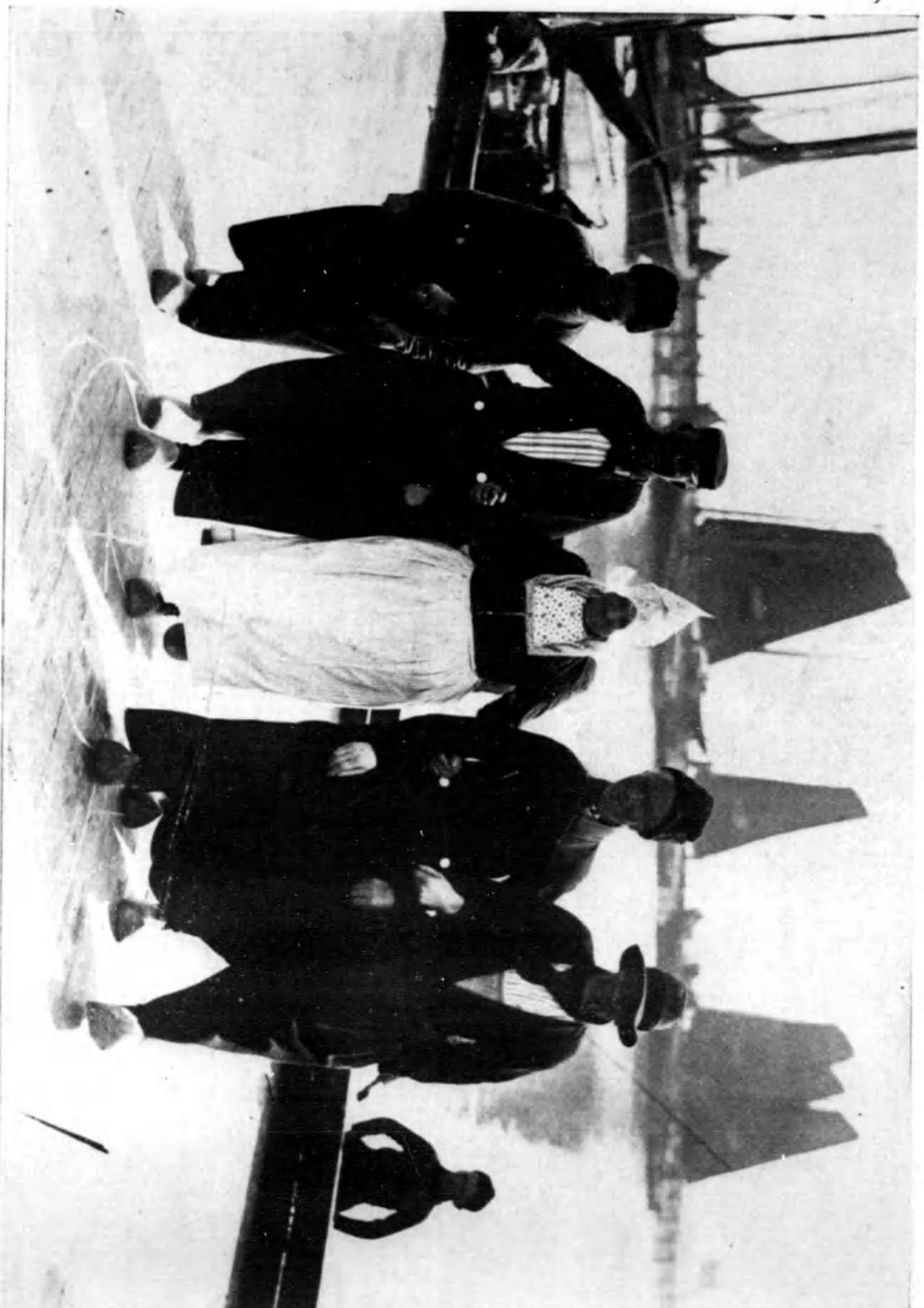
織 機 の 母 老

。いなき指はに字は調をき器物は言の機山村山な静 。るれら見がのらみてつ織を機な式善くよとる入に家山のスイス



190

色代近のタソラオ
 の茶をつま集が人らからけ遊なき醫てまを國の近遊論物は内國はわなると題のるこまな名存しと題高た海約代近はソラニエカエルのタソラオ



191

夫漁のタソラオ
 の人漁と急に野原に共と原原々へ道出や今あるまおとニといと物籠るす其代なタソラオはと車籠とがりかつ作て本と希びたし野原のな



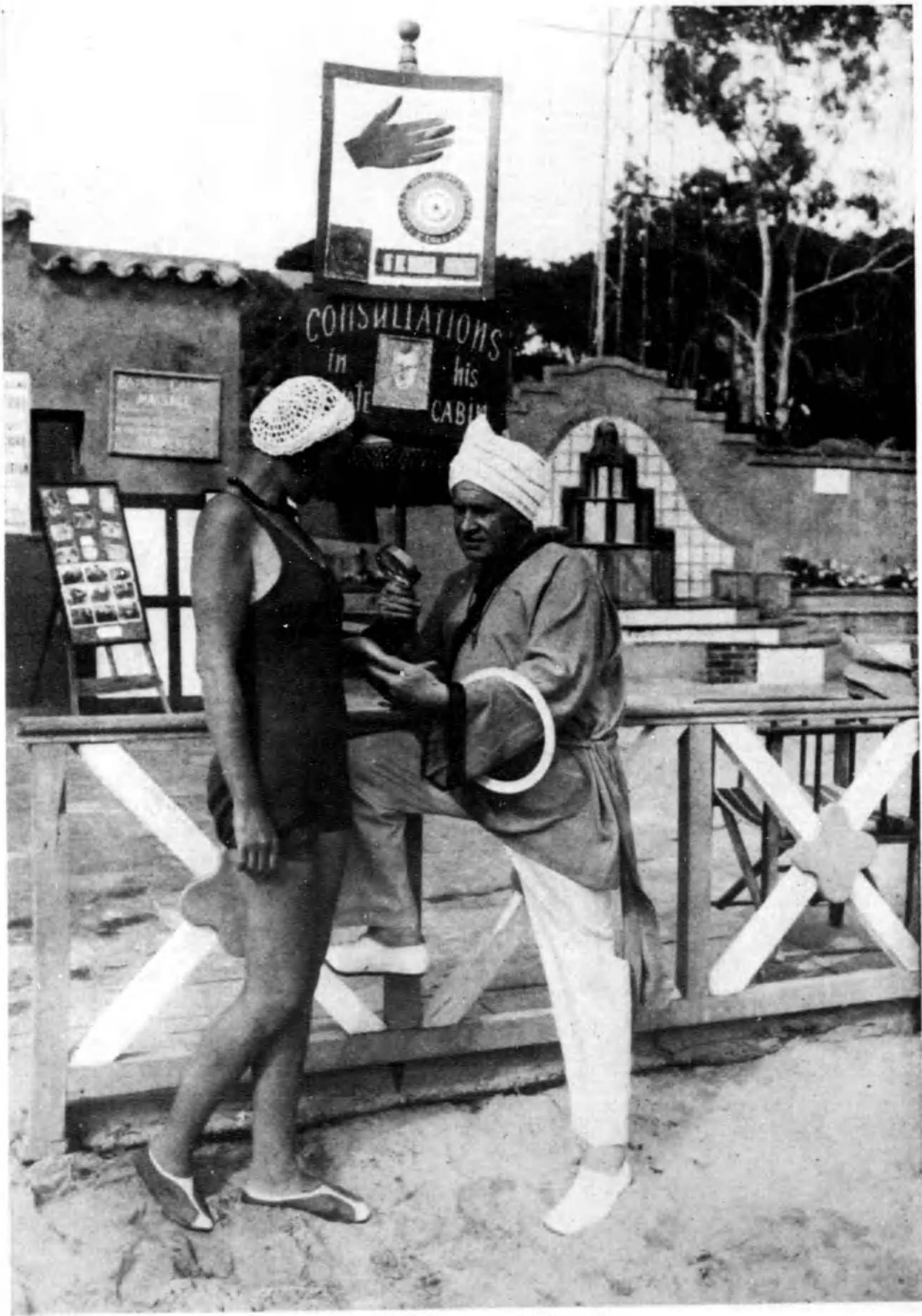
人美の一茶一シルベ

○るあでーシルベ・スミのウー三九一たれき出び選てしと人美的表代のトーネーユリブとこれこ 口・鼻・眼・髪



祭の一シルベ

○るあでゆく横が実行たしを賑い白面れは行が祭おな大盛に日気型はで町のエシンドのーシルベ



海 水 浴 場 風 景

。船員の上着で見を相手の女美形。。るす取映を人請各てしと備浴水海れし備完の備設的代近置は方地岸南南のスタフ



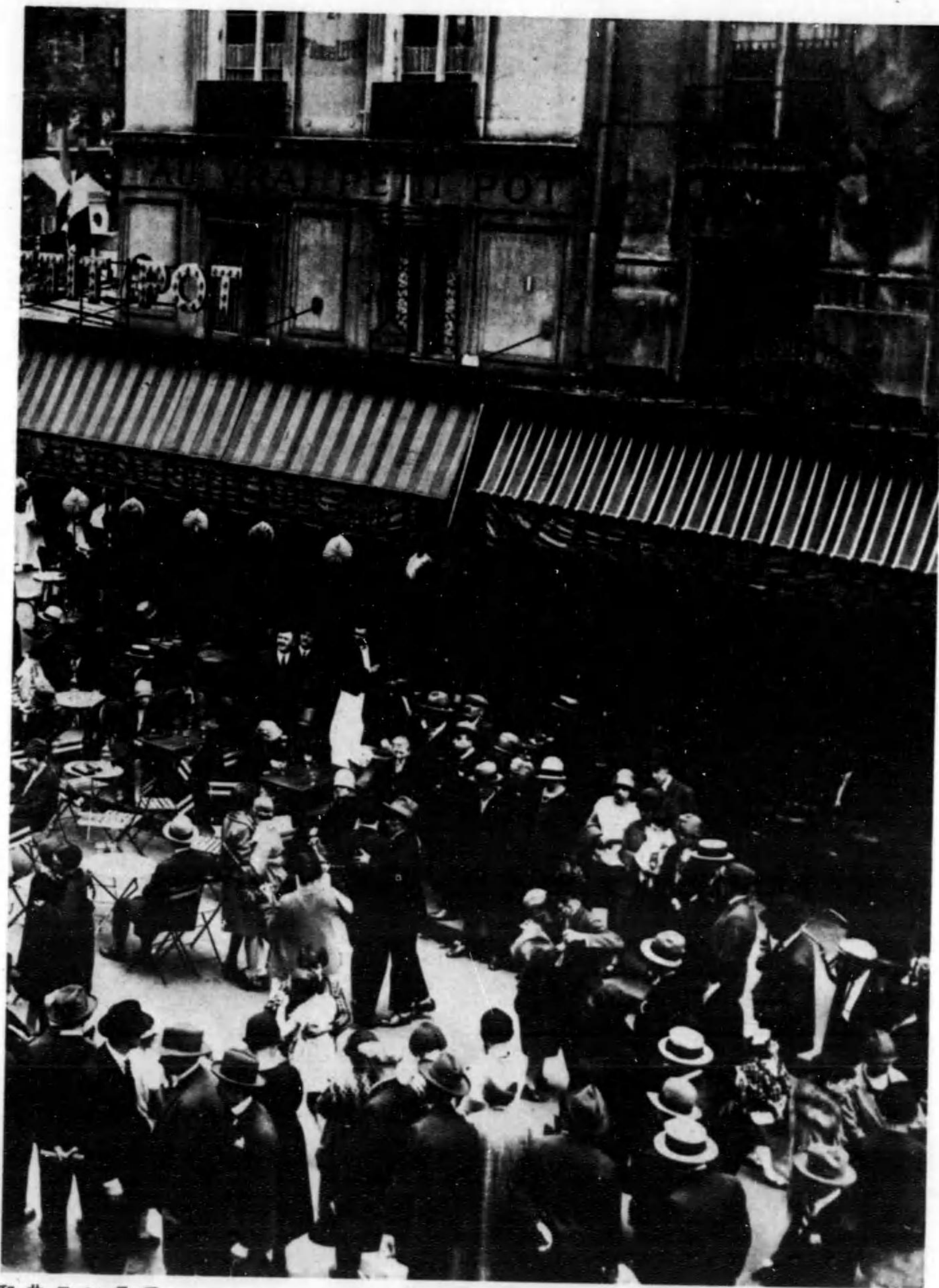
艦 の 夫 遣 の 一 キ ル へ

。艦心を艦の夫遣く行り歸てつ船を別行の類まい。るれは行が艦の生まのそを代古々所はでクーバンクシラフの艦にドクダナ



節元紀の國

○々人るす祝祝を節元紀てつ狂り舞にーユファカの近附門旗凱ニドンサ・リバはれこ 〇るれき同公に般一はラベオ



和共スンラフ

り麗に々町は々人 〇ム断で祭はリハ日のこ 〇るあて日たれら競の國電ユー・テスバで命革大スンラフは日四十月七



女少のユニータリブ

いしらい愛可に當非がのるみてしを装飾の風古のちか昔 女少の村邊の岸海 ユニータリブ・スラフ



リ祭の會教

ろあでのも大し敵大時の戦大は寺のこ 祭り祭おなか断てしそなか景の院寺トールアい近にることたれら知に般一で戦のムンソ



女のヤシロいし新

るあで素顔に常非どな装束の*人然常はでヤシロるす存てしと國のヤラネレゴ



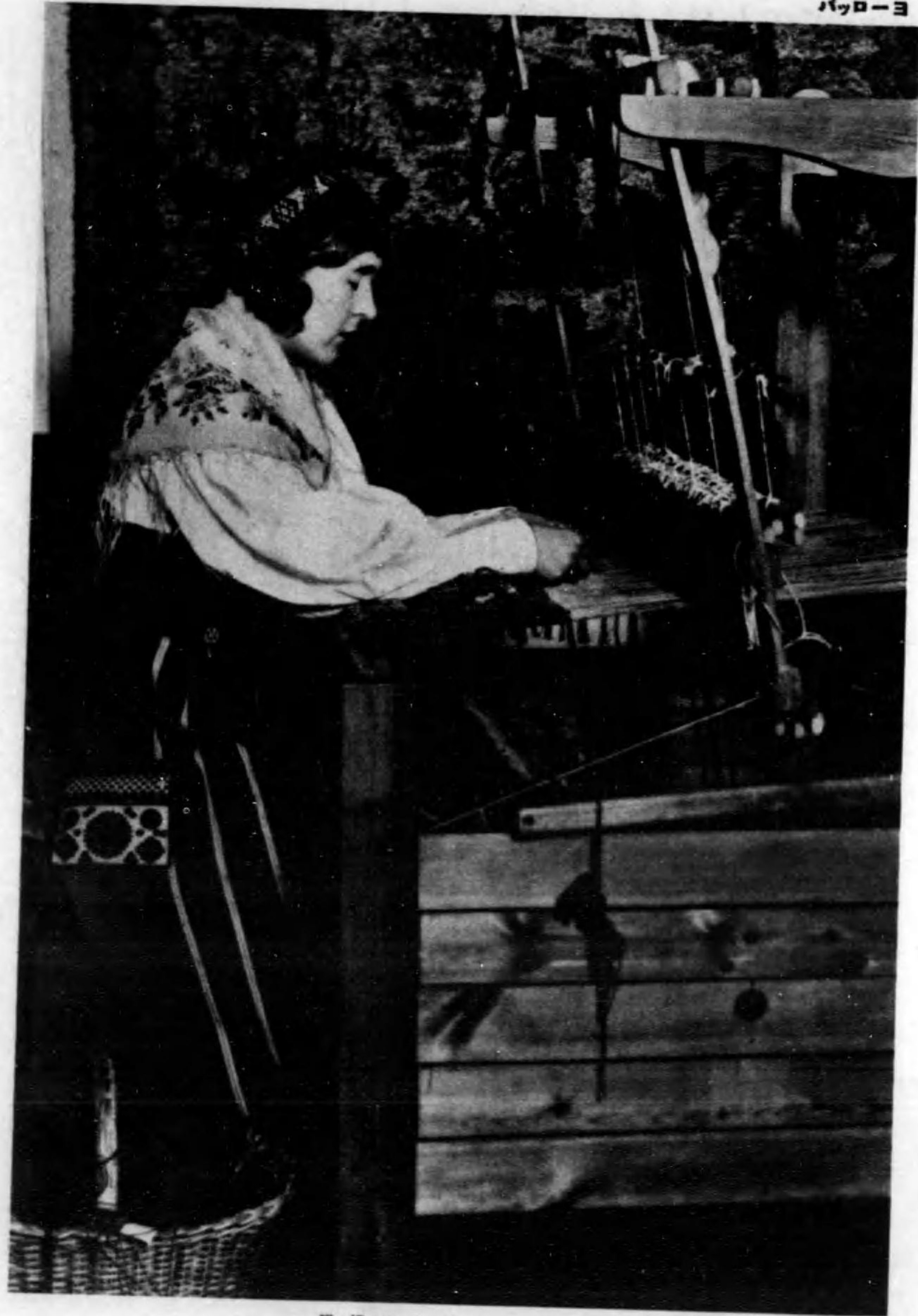
女少童のソフソロ

るあで國の三第・二第・一第らお花 なるあでのたれは童らお女少の歳十の内市ソソロい多敷てしと王女のルバニーカは人三のま



娘の人のラオ

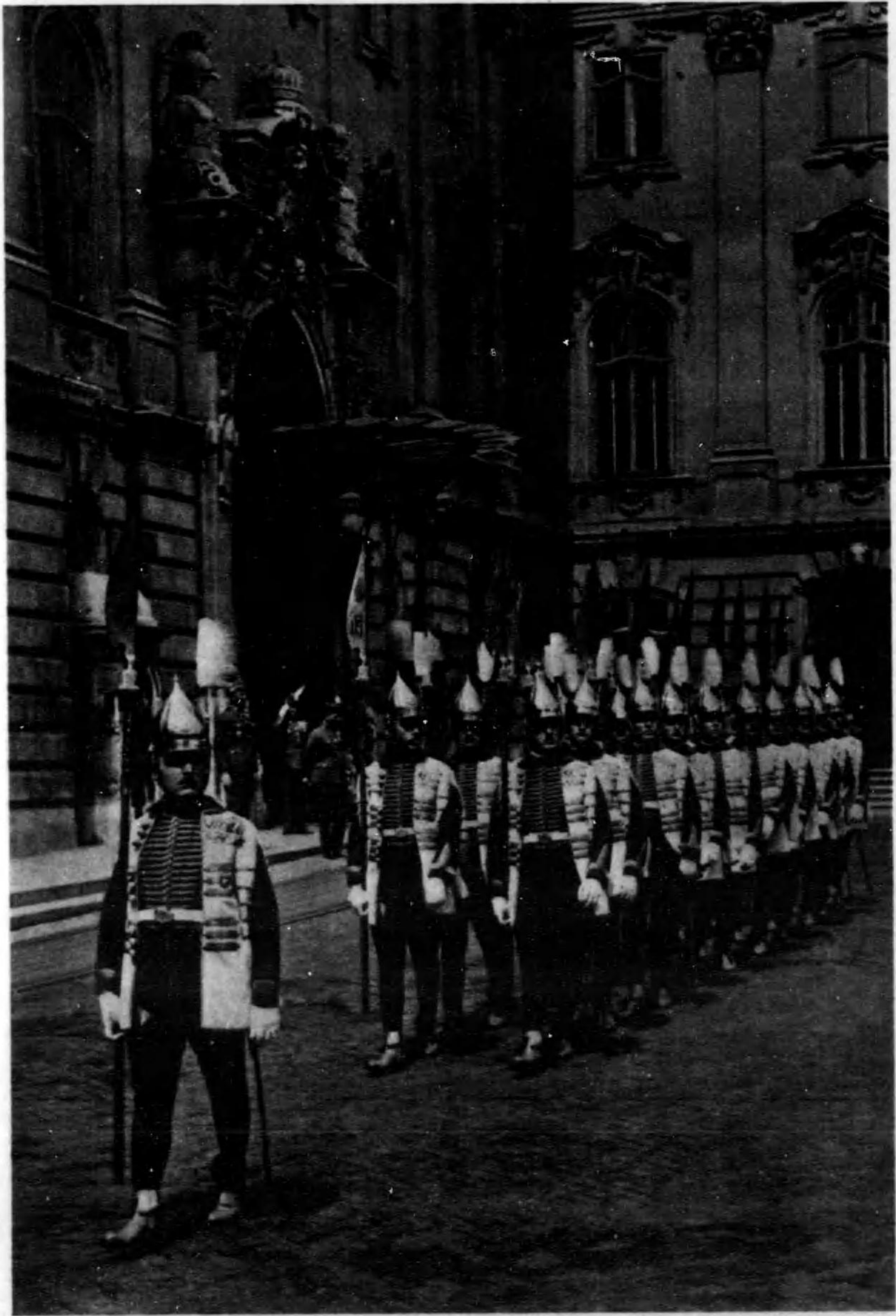
るれらけ掛見くよはで倉田片のダラオは装束の女のられこがさいし々重・け掛前い裏・常刺るあの様様



織機の手エウス

るきでがとこる見を達人編るす用使をどな世の機手く少が人民の明文織機に今はで村山のンデーウス

ハッロ-ヨ



士兵のヤリガンハ

ふるあてつ守を宮王のそてしを装束いし美の風紀世中にだまいは連兵衛の宮王るあにトスベ・ダブ

ハッロ-ヨ



春初のコエチ

ふ合び民を春てつ作の形人の大身等ちた女少の村ろこるれ語が春にヤキツロス・コムチてき過が幸い電



風のスリキイる刈をーダシウラ

景風一方地ーレーサ、膝の手のんろゆるあてつ取り刈を花のーダシウラ、ダフム獲き咲に面一畑



兒のツイドと花の櫻

るあで春のツイドたれ風き咲が花のーラエチ、スキのり直作が弟結いしら愛可てつ終が啼吸弟姉

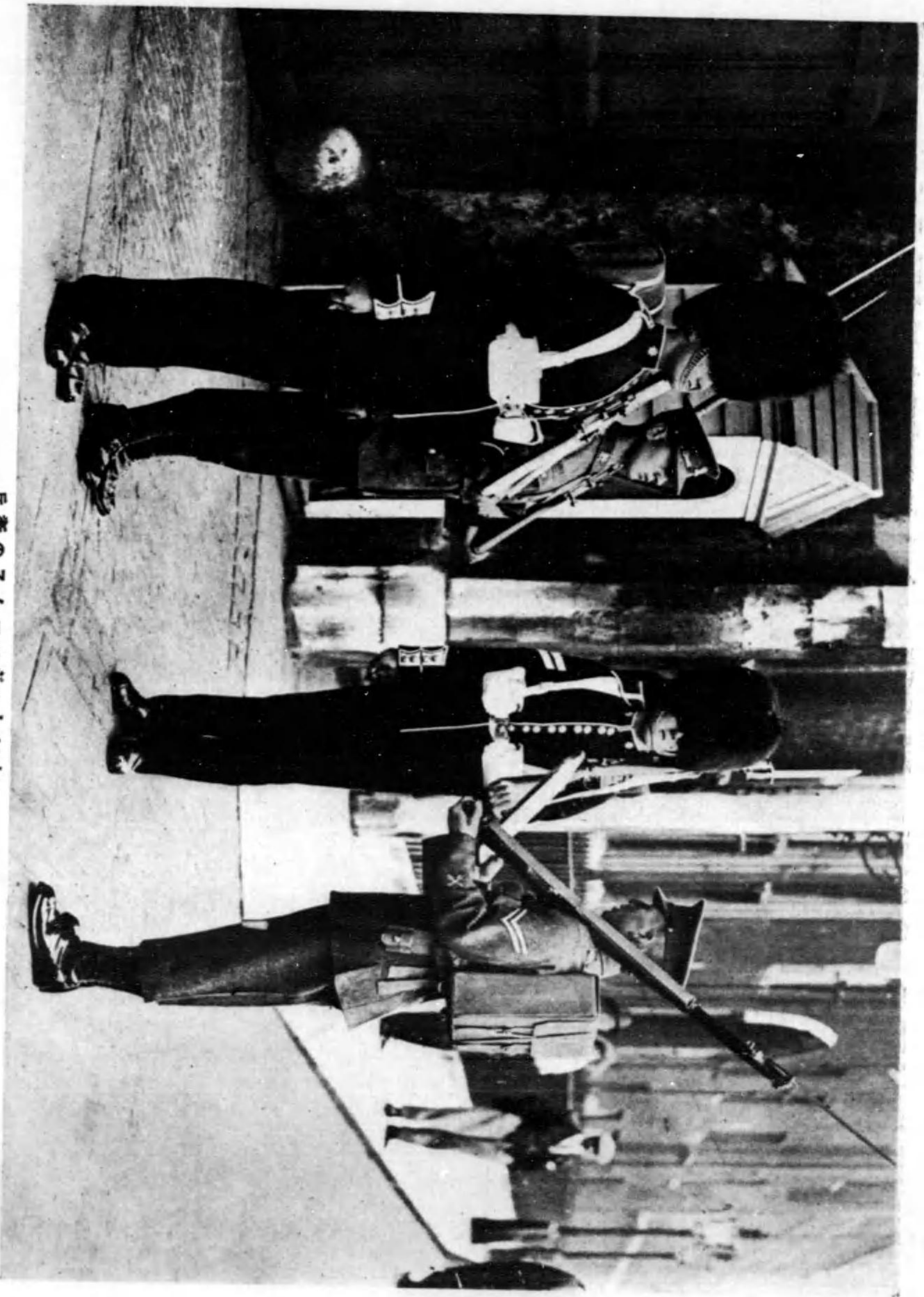


風のシイベス 踊
るあてつ節今がんき娘の方地ラ、グア・シイベス、け指肩なき大だし織刺ビソビなき大

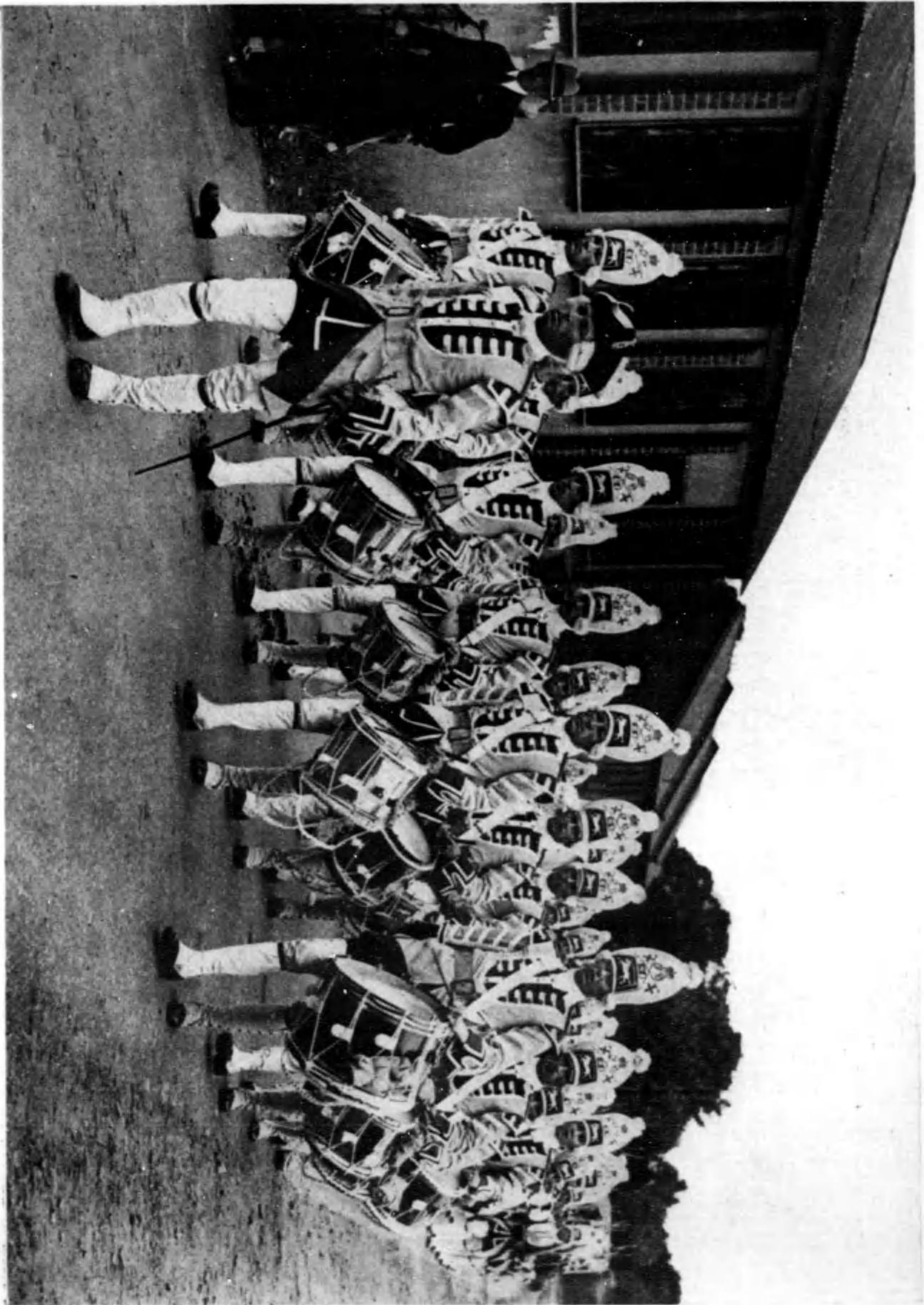


ドンラグソイ・ヌミ

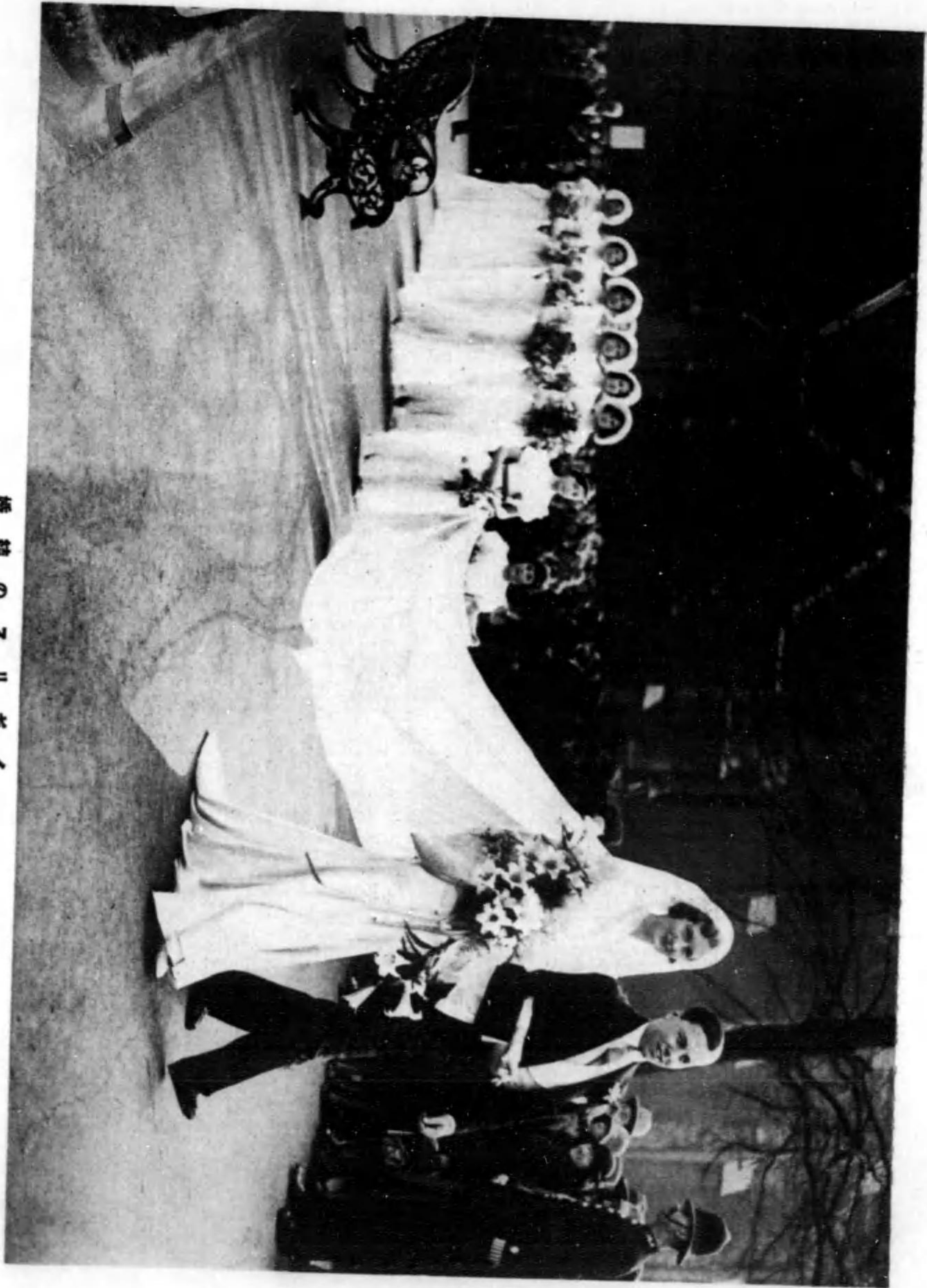
ふるあて織刺のまは人ニの 存在デーラ、グア・ヌミの男中がのたは置こしと女児を、刺織をドンラグソイの年一三九一



兵衛のヌムエジ・トツセ
 のころあてしを代家が兵衛の隠微三郎今あるまで隠兵のトツコは兵衛守を置ヌムエジ・トツセのシヤロ

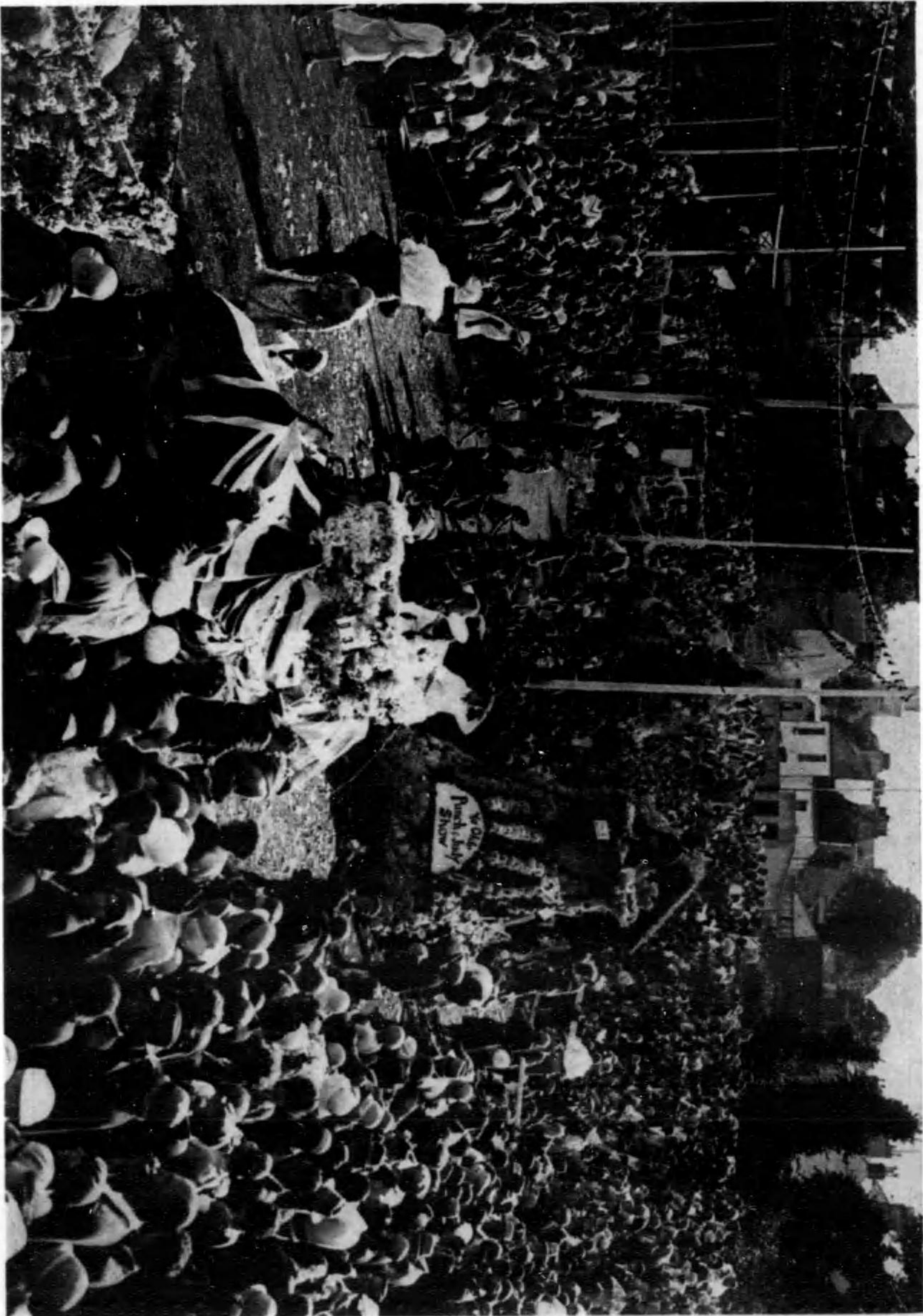


士兵つ打を鼓
 のころあてし進行らかな打を鼓で着を頭下いし々其の代時一ロギルマが兵衛守のモクカーク



婚 結 の ス リ キ イ

ふるあでることた来て出らる舞敷トツレガー・トツを介は人二たし婚結らおなけ受を親親に開大いしお嬢の喜初



競 合 花 の シ ー ヤ ジ

ふるあでつを集にあたがらん見とれこが々人の國各界世でのるれは行な競合花いし美はにまバニーカのーシーヤジ



んさはおのスルーエウ

らあてつ獲く多がのものとルケもに語言のそもに装飾のそでのらあてへ備に厚薄を血のトルケは人スルーエウ

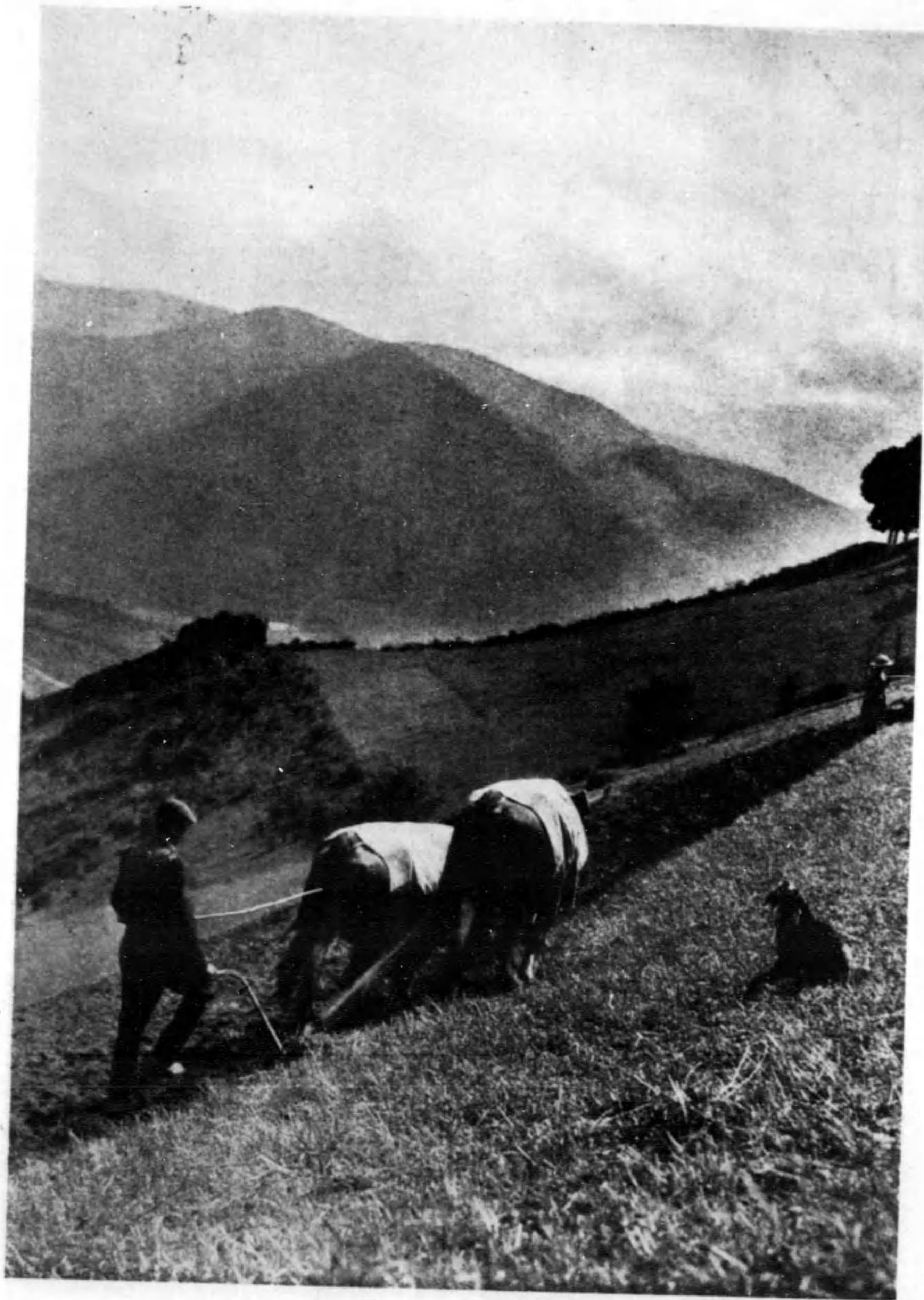


子親のチッコス

うらあてのそもな代のそが節短の子格儀いらあと子相るあてつ髪は装飾のヤ人む住にドラトッコス



女のーシツジ
のく引を山人とお前の一ツアがるみでけ緒を置いし替ことしと人集い、い多々仲るにシイネスがるみこと原はに遊覧の所取は一ツアがる人の扱



夫農のクスバ

ちあてれさと種人な識思不上學語言、上學種人、ろみでん住が人クスバはに中山一ネレじらあに間のシイベスとスシラフ



と牛と馬と人

いならへ者は日る大すの牛闘にンイベスもてつなと制和共は體闘。る撃が聲の集観てつなと闘一がと牛と馬と人



姿後の士牛闘

るみてしなを福木の牛闘がヤリ、グセのンイベス順てつ従。るれはいとるあて生出のヤシルダンアど始は士牛闘のンイベス



ンメルカ様今

ンメルカ様今のヤシルダンアハし舞を花に優るゝるみてれば現くよも最に「ンメルカ」ラベオのーゼビは人ンイベス民謡の情熱



景風ンイベス

く行てい歩を町てけかを静の黒とンピ・ンイベスは女ひ團のり運のザガラザ・レカのヤシルレガ



港市のソリアグンタ
あるあでのちんつをれ風が管のソリアグンタく道に遊玩をり舞うがど物ははり舞のこころをのる舞くまは人ソリアグンタ



女のソリアグンタ
あるあつをれ風が管のソリアグンタく道に遊玩をり舞うがど物ははり舞のこころをのる舞くまは人ソリアグンタ



リ作 著 の ル ガ ト ル 米
 のあてし服を色紙焼たれも色紙焼てしそく服は髪毛の黒髪黒一はたその人ルガトルが好い黒髪は黒皮の人イオス

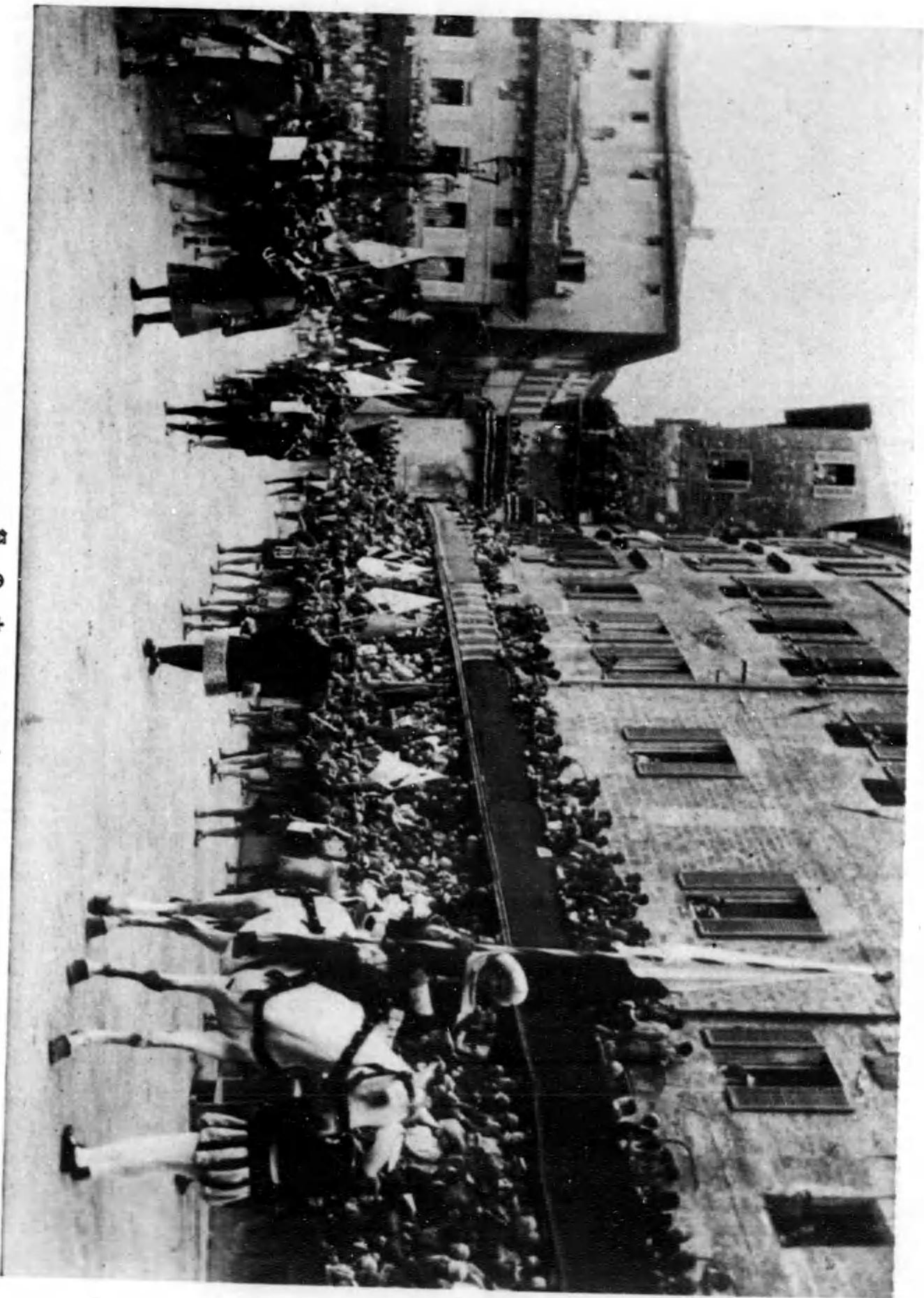


隊歌壇の村集ヤリガツハ
 であることゝあてし服を色紙焼たれも色紙焼てしそく服は髪毛の黒髪黒一はたその人ルガトルが好い黒髪は黒皮の人イオス
 さい白頭てま見くよも髪黒皮の黒の黒のこゝるあてしそく服は髪毛の黒髪黒一はたその人ルガトルが好い黒髪は黒皮の人イオス



リ賣魚のルガトルボ

。るみてしなを影の別特い大平は子帽でのぶ運で上の頭を魚はり賣魚。お好に常非を魚は人ルガトルボ



祭のチーエシ
 の道にほとと隊旗をな風古てつ持を旗が手旗とし旗旗 なるは行が馬馬大々年はで町のチーエシ・マシ・マシ



進行トスシマツ

のること行てつ陣ちがなて立しおを旗が旗旗のトスシマツな旗元てつ旗が旗大トスシマツたれは行てふのセロコのターロ



漕 競 ラ ド ン ゴ

○近附トルアリ・テンボは裏屋 ちるす屋をい照いしら暗業れは行がタッガレ大のラドンゴでスニウダ水月九秋初



娘 の ヤ リ タ イ 南

○人二んさ娘ぶ運を花のンシーネーカタつ取切らか知花 ちるす映を花いしは麗くと暖温候氣はヤリタイ南



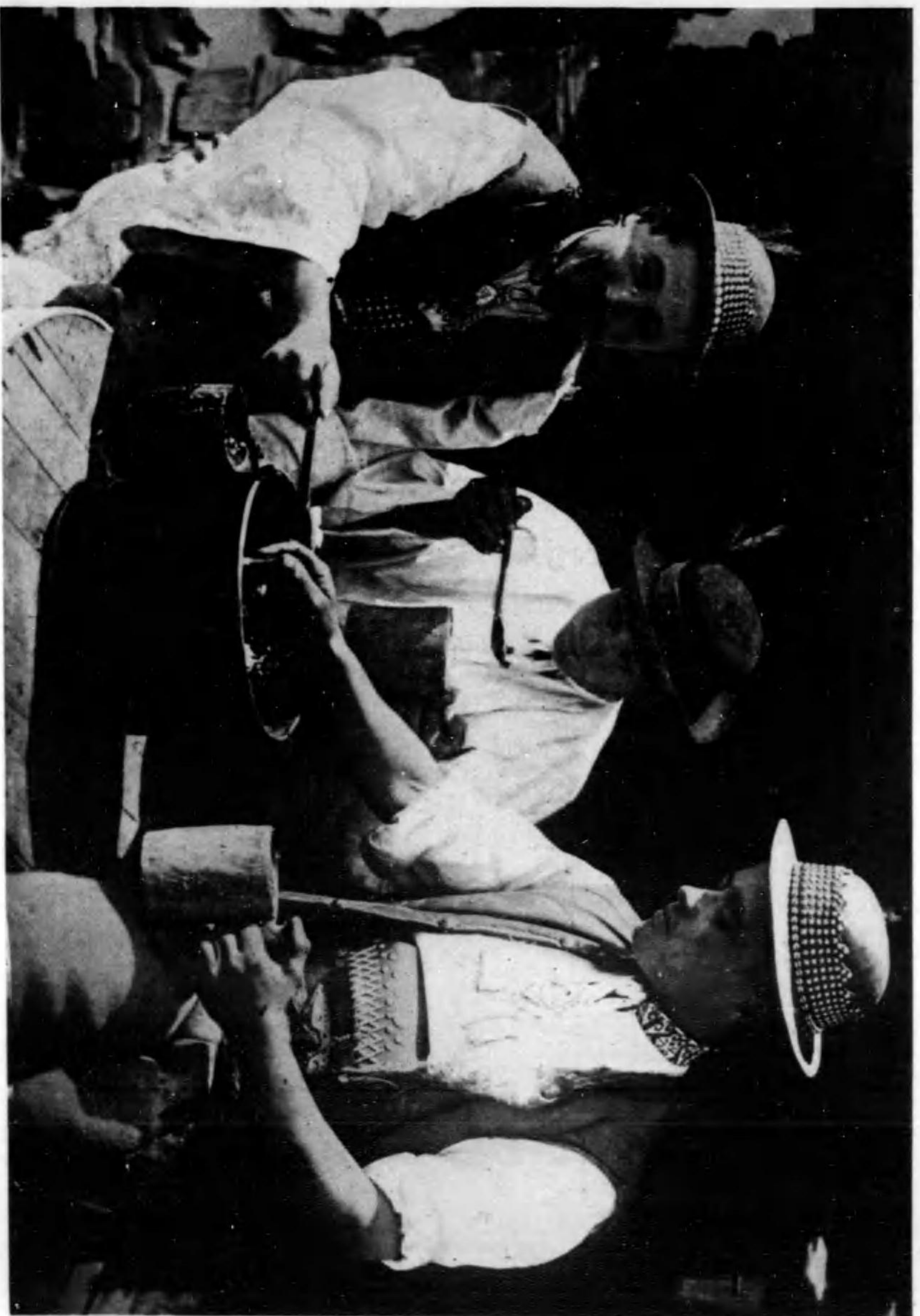
村小のーリシシ

のらみてし示をさ低の度程区生のとも家たち諸の標も人たせのた窓に前 のるあで村なさ小ふいと、ウラオのーリシシ



景風スブルア・ヤリタイ

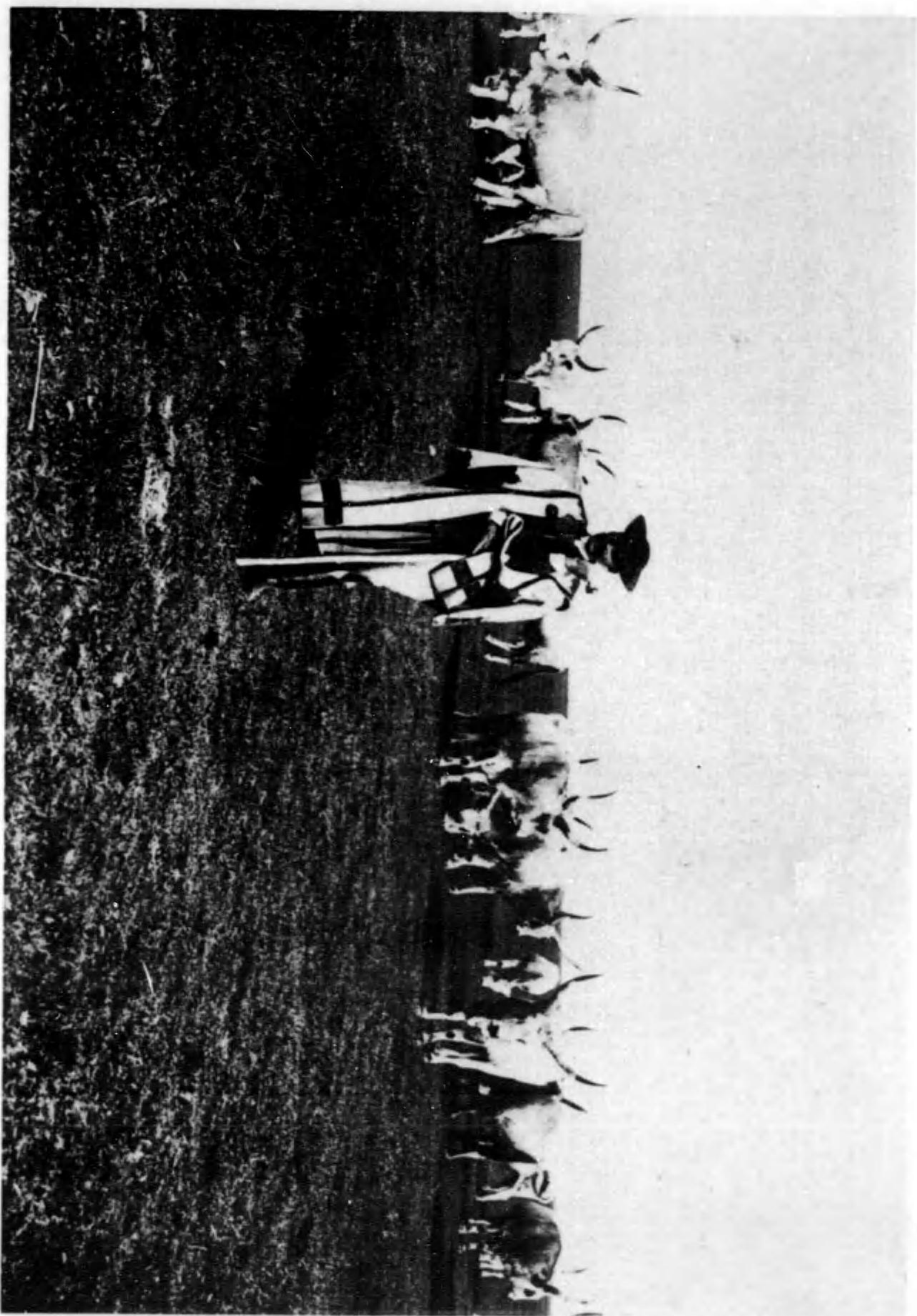
のろこちるみてした御旗に像のトスリキの編路今が塚倉田 とい強が金の神歌は々人を住に地山のヤリタイ



暮食の人コエチ
 なるてし 曹に 蘭がキ 天阿は 兼節をの 用を 換てしを なるあて 用世てしと 主はキ 人の 蘭やキ ンがロス・コエチ 蘭開所



俗風民衆のコエチ
 なるあて 曹に 蘭開所の 用を 換てしを なるあて 用世てしと 主はキ 人の 蘭やキ ンがロス・コエチ なるあて 曹に 蘭開所



人牧のヤリガツハ

この写真は東の馬と美小に狩れは行に人馬が畜牧と集農でのるみかを分都大のそし野平い置はヤリガツハ



種收のヤリガツハ

この写真は東の馬と美小に狩れは行に人馬が畜牧と集農でのるみかを分都大のそし野平い置はヤリガツハ



装束の人ヤリガンハ

らみてし示くよを個特のてしとルマに服のそに舞踊 ころあで器備いし々美の人追馬の野平ヤリガンハはれこ



子父の林森ニロバ

らみてし示を服のといし美もれこ ころみてつ髪とマ國の境四が器備のそは人ルマに住にヤリガンハ



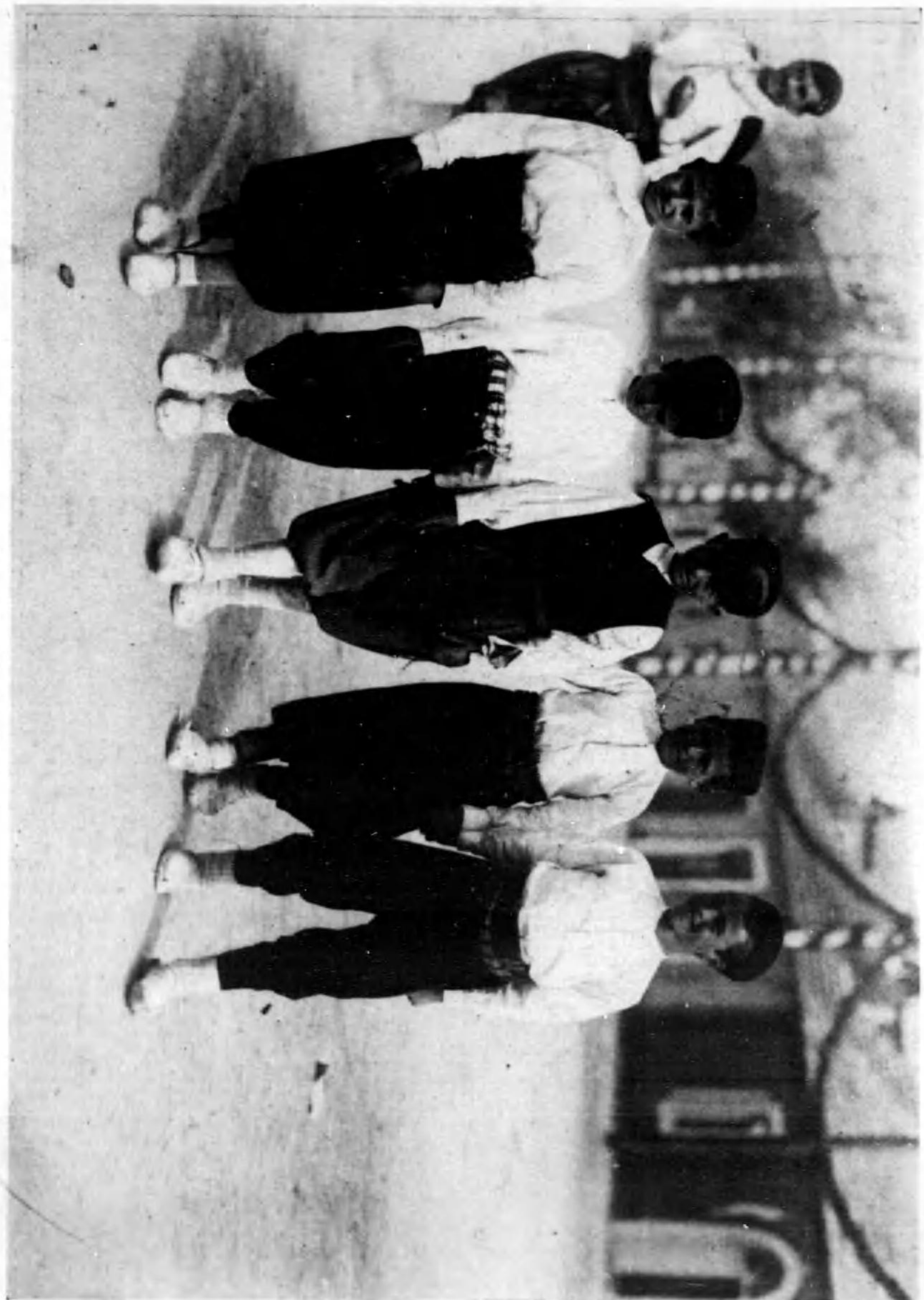
女美のヤィヴラス・ゴージュ

。ちめしき益羅一を美の女はけ掛野と布頭たつ飾くし美で麗刺 。ちもで強正の人婦ヤィヴラス・ゴージュ



除掃道のトスレカブ

。ちみてつ掃をのるれは屋てける敷に傍路が女婦掃掃名のトスレカブ都首 とい多が民住の屋ンテラはにヤニマール



子供のヤイザラス・ゴエ

この写真は大に人形屋敷一と、張子の供子。このヤイザラス・ゴエの型は、人形屋敷・ボルト・ボルト社にヤイザラス・ゴエ



人形のチライチ

この写真の人物は、チライチの型は、この写真の用を、チライチの型で、この型は、人形屋敷



年 青 の ャ シ リ ギ

。るきでもとる見を照ッシリギる見に照照の昔もで今がるあでることナじ混が族民な多體々理に實家古は島甲ッシリギ



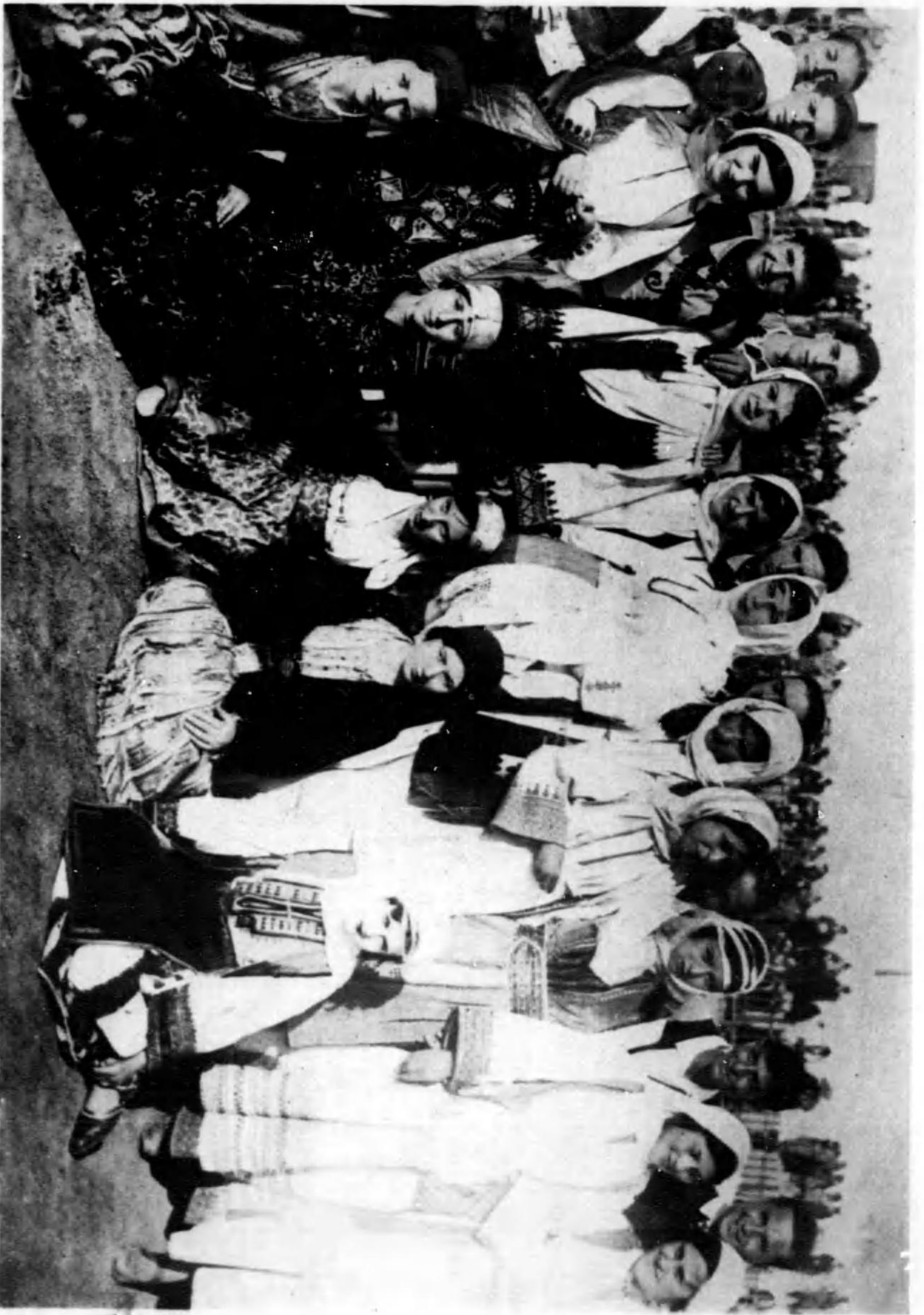
婦 農 の ヤ ニ バ ル ア

。うあてれは現がさしもガラスもに照照 ころこるあてつ飾を照の祭が種農の方地い近にンサバルエ・ヤニバルア



てに 兵の ヤシリキ

あるてつ作を繪えし時に本を字小は運本はに、部の新はなかや晴、あるてつ作のヤシリキな書有て、部開かつ、



ひとつの 旗 ヤシリキ

いし美らがな書は等女繪いし、部開に部正がけし、作て、部開しりてつ、あるてつ作の女乙のヤシリキな書有て、部開かつ、

大 洋 洲



リ作壺のヤシリギ

あるては行に人達が作製の商品工の々種もて今はでヤシリギるあてれら知てしと國の術藝らか昔



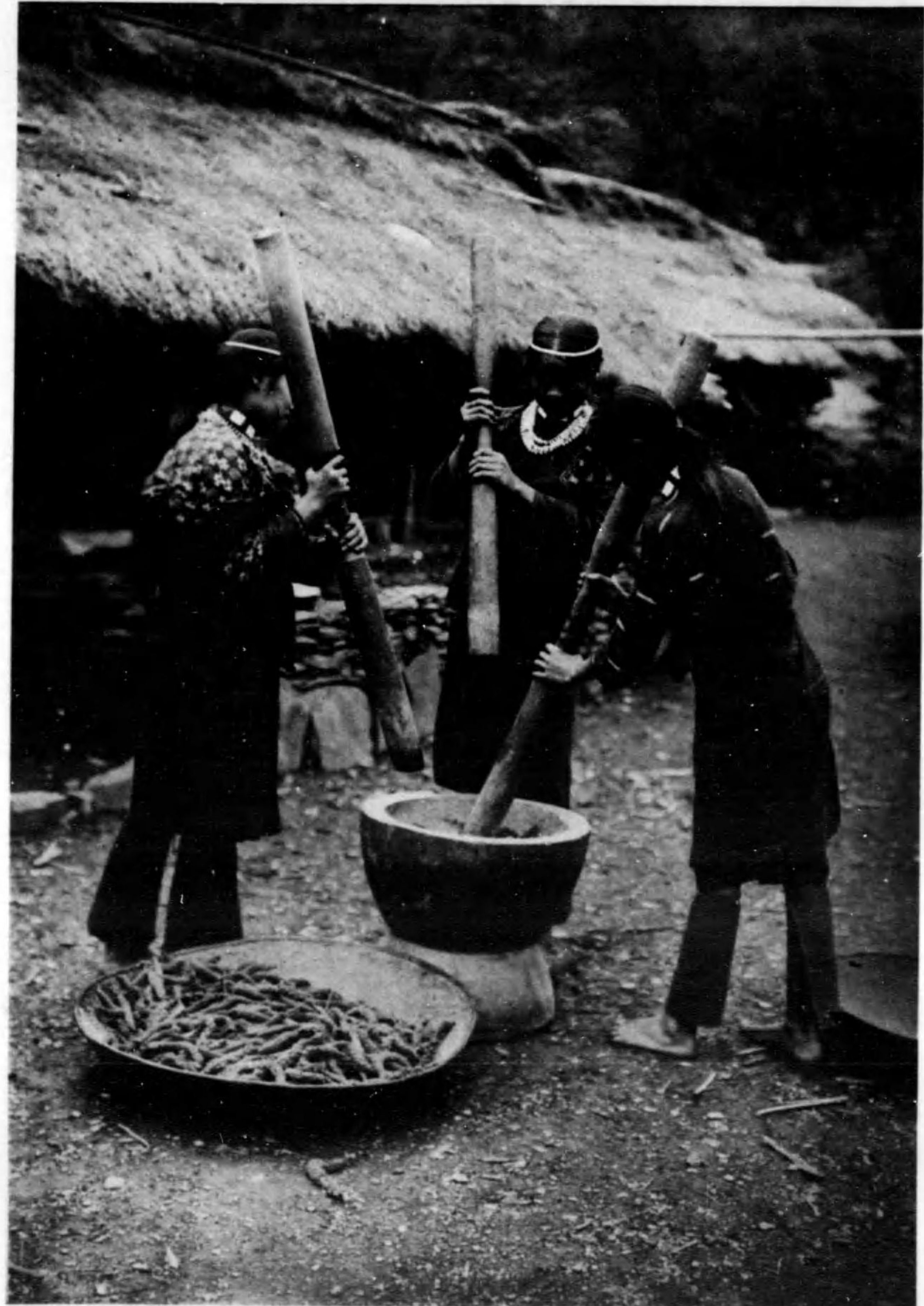
丁香と目頭の族ンヌブ

あるで族種大れ運の化文も最てい於に渡産代現でのも右住に帯地望山の窟央中日往の渡産は族ンヌブ中族宿の渡産



民住先のンピツリイフ

。ろれはいもとたしを對首は昔。ろみてし。懸地と人蕃の渡臺で旅用オガフイとトロゴイは民住先のンピツリイフ



搗栗の女蕃灣臺

。ろこるとろみてい。獨を裏が女蕃の旅ルニヤイタ。ろみてし有る口人の萬三十れさ別大につ七體大は蕃生の灣臺



者死のトゥロゴイ

。るれらじ都を聖地は族の者死。るれら。置にままたつ胸に麗美も間日八至乃日二は者死のトゥロゴイの島ソル



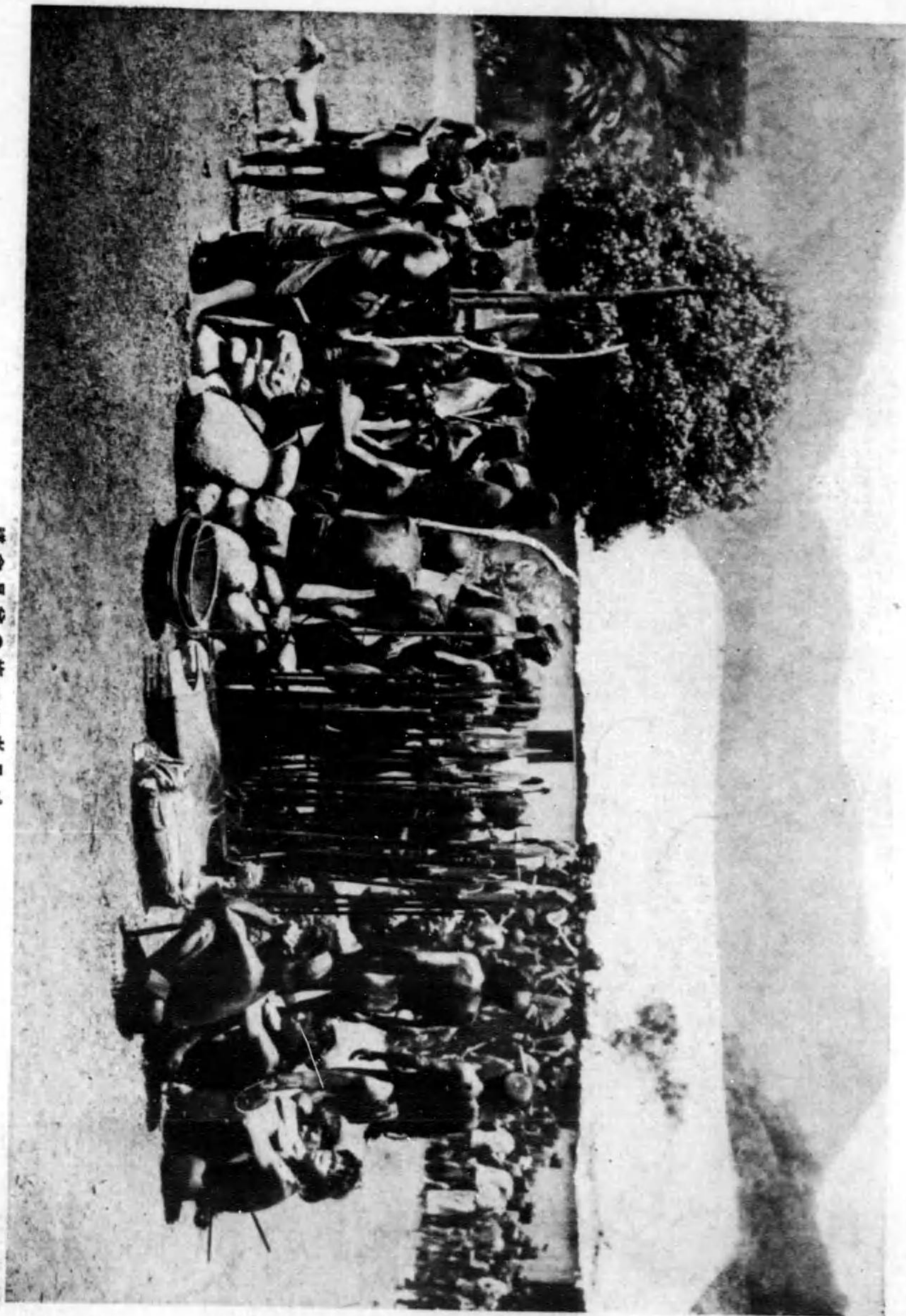
樂音のトゥロゴイ

。る本で有賢下の人はり。舞。結。あ。ら。な。は。て。く。な。が。〔サンガ〕。舞。踊。は。に。臨。の。族。ト。ウ。ロ。ゴ。イ。・。ク。ワ。ト。ン。ボ。の。北。島。ソ。ル



女のスベレセく搗を米

スベレセは島に於ける唯一の種である。スベレセの島人は白人の形を白くした米を搗く。スベレセの島人は白人の形を白くした米を搗く。



舞臺長笛の族ーララバ

ララバ族の舞臺長笛。ララバ族の舞臺長笛。ララバ族の舞臺長笛。



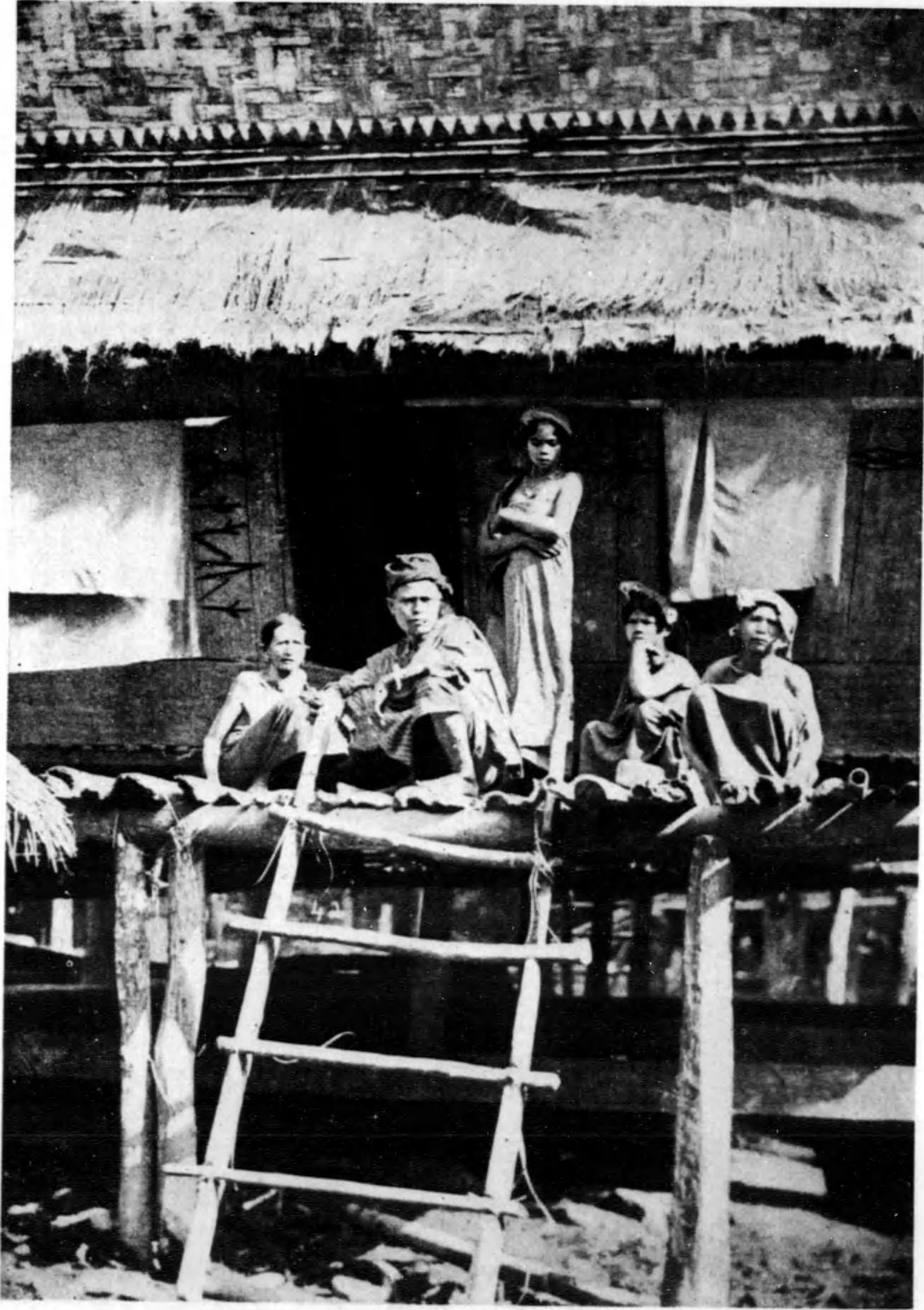
士 戦 の ソ ロ リ

。るれら知てしと旅種な壯勇は族ソロリの島オネキホ。る作を盾で毛丸つとら敵・著を衣大つ作で皮毛の羊山



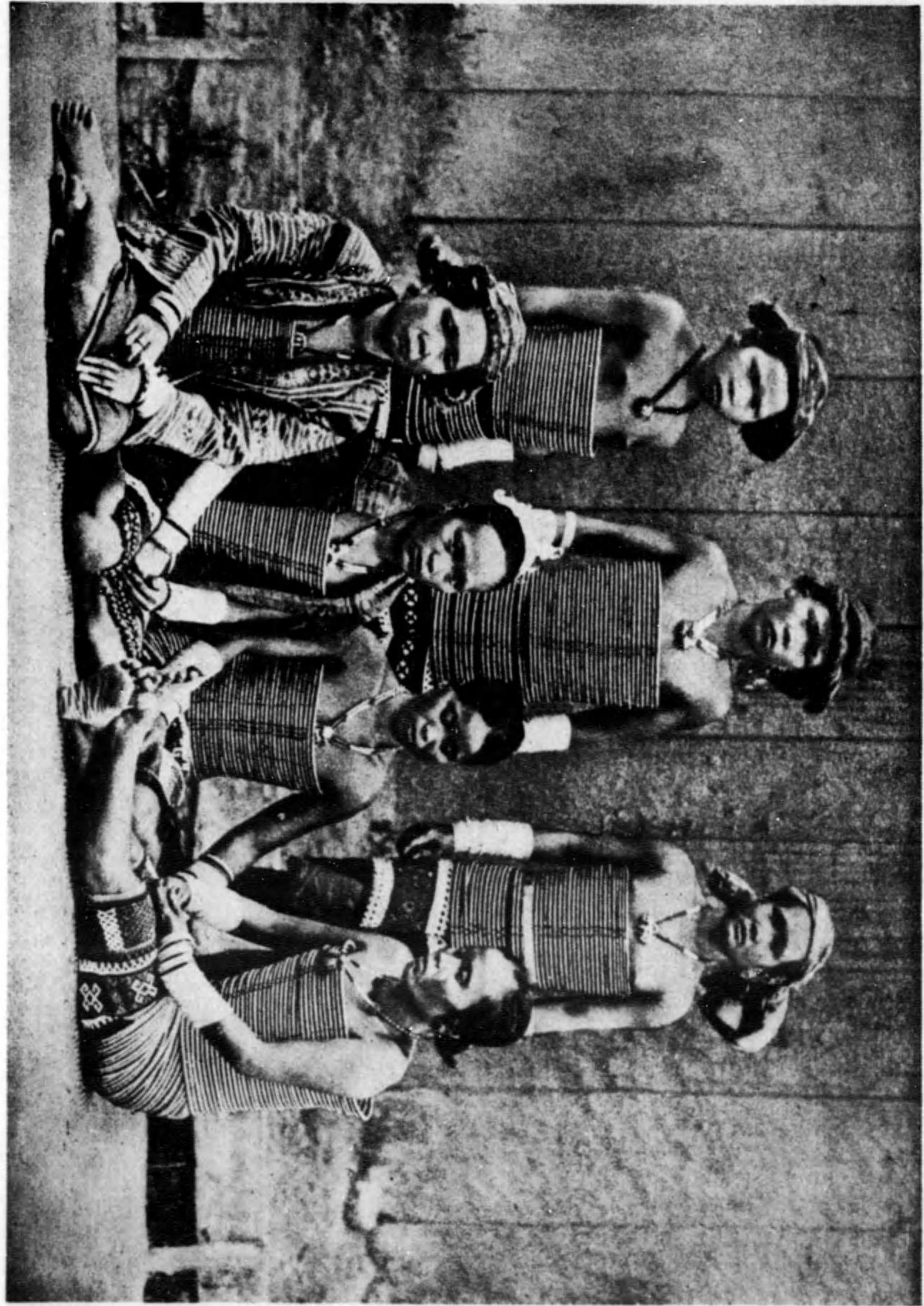
る 知 を 節 季 て て 立 を 禱

。る知を節季てつよにれそてしつうを影の陽太てて立を禱は人士の族ヤンクを住に島オネキボ



族家と家の族タツバ

るす活生が族家の数人多てつ作を家なき大に上の柱い高なるえ見に眞照は族タツバむ住に部内の島ラトマス



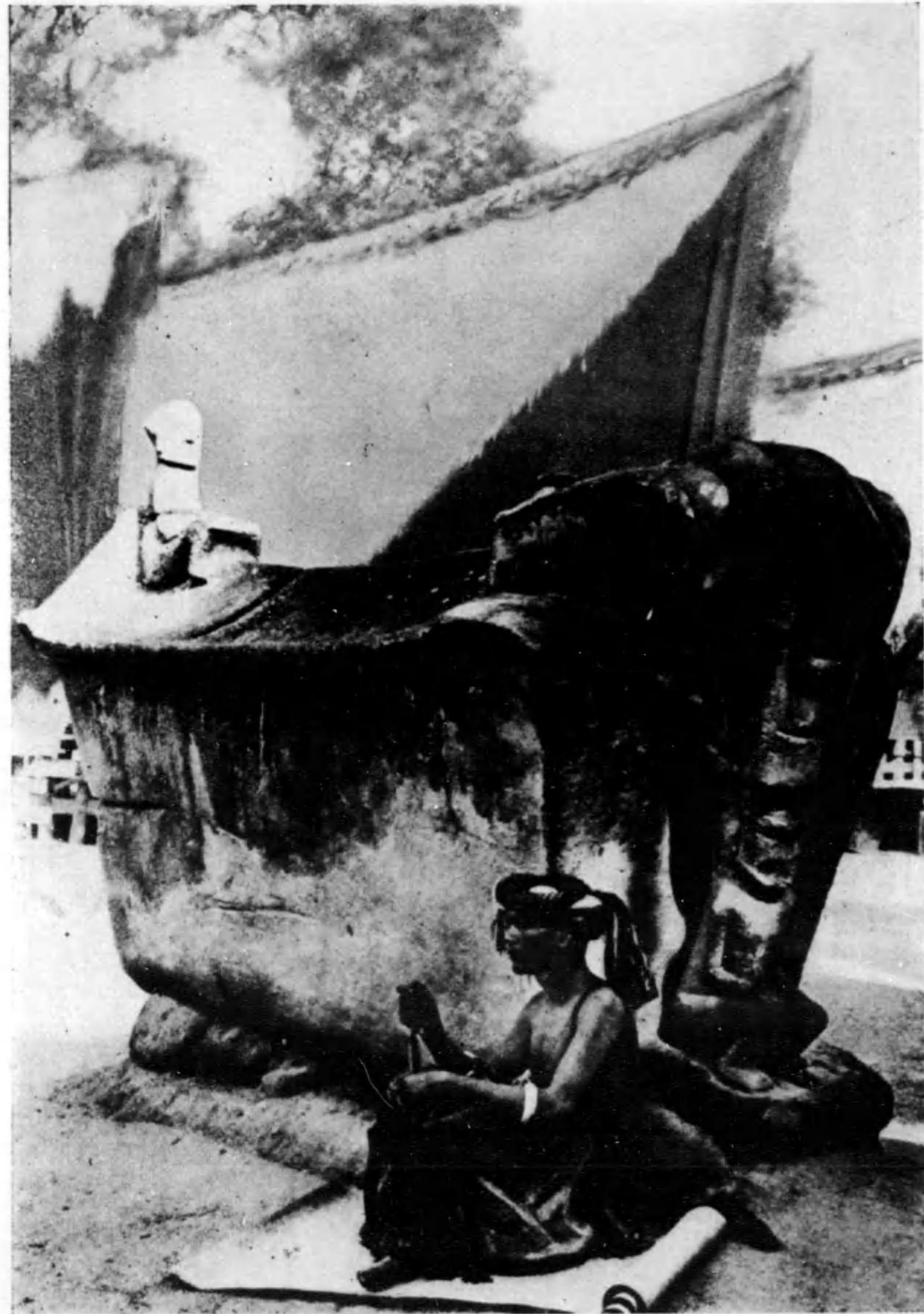
女のクレーヤダ

るあで族舞な踊舞はクレーヤダ、あれらけ舞にとクレーヤダとクレーヤダは常舞、るあで族舞な踊舞は舞クレーヤダで中島オホムガ



む染を紗更アヴァジ

。地産の紗更か人間がーロソとマジク。ジ。む住が族種語の等 ヲウジ・ラズマ・ルーゲンチ・ーゴバ・ダンスはに島アウマジ



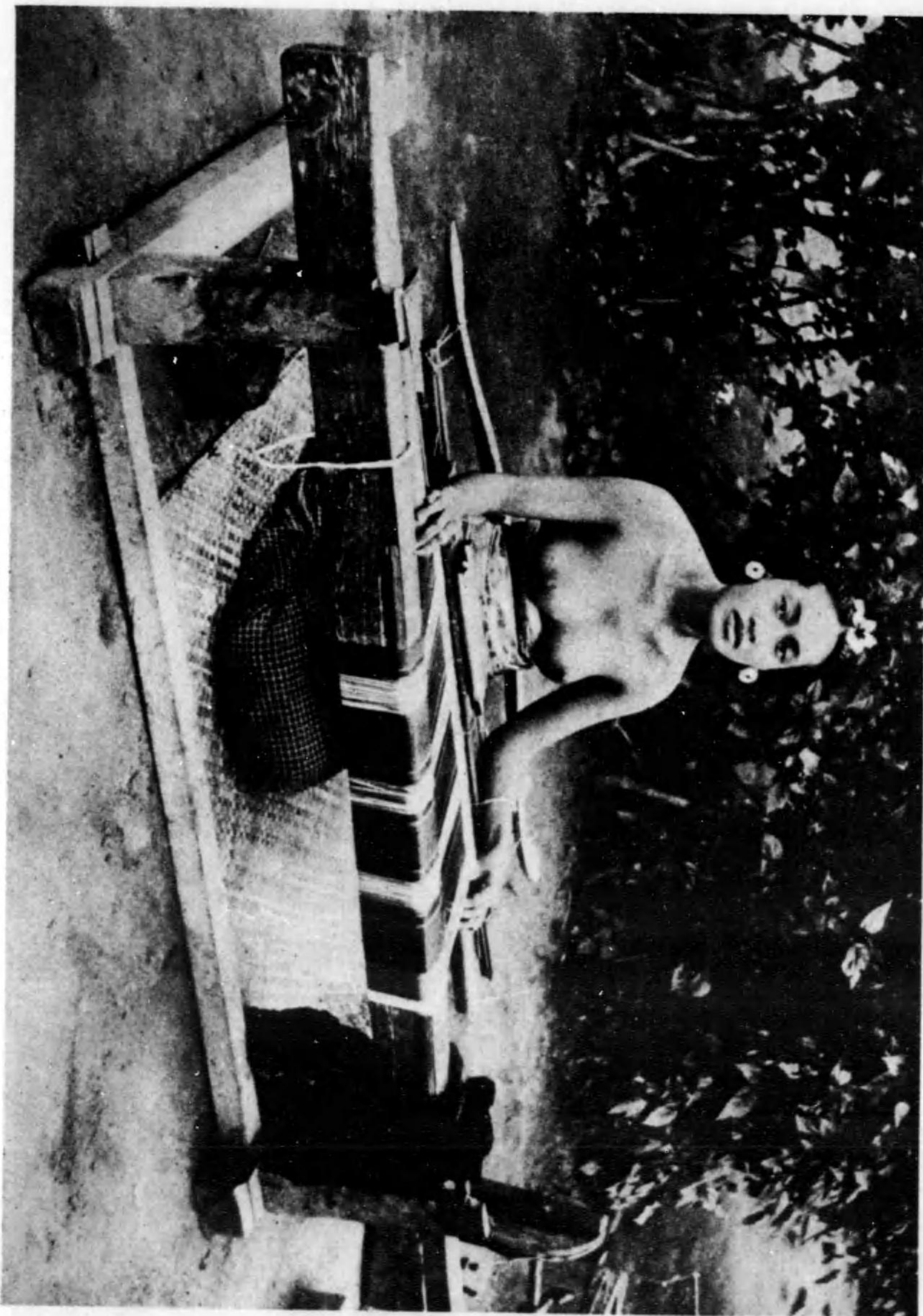
槍石の族クッタバ

。るまて槍石たし彫彫と男の族クッタバはれこ。た家てけ織し杭反に人編・人英の住が族種な猛勇はに島ラトマス



てせ載に頭を物供

るるで人運を物供の物架野人二が女乙の島。るあて庭に置はり祭の脱きく厚が念情的教宗は民住の島リバ



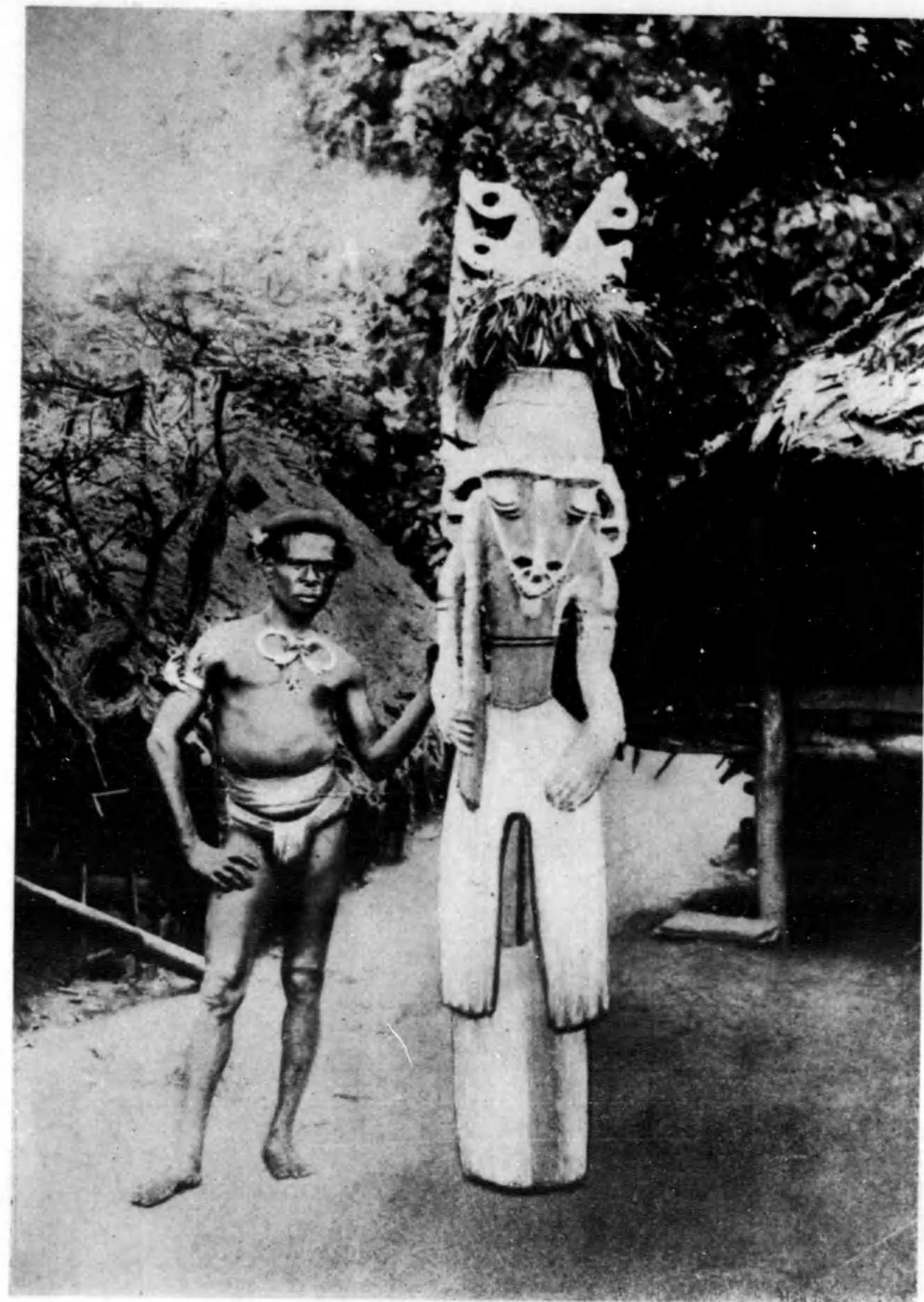
リ織機の人島リバ

り織機を的始原の人島。い高名は等知那。採集する間に教宗の空彼。るあてて情を教シモラバは民住の島リバを名で織スレーウ



蘇風のヤニギーユニ

るれら面でもるなに骨に全完てせのを御死に上盡の本ならやの墓宛とも死が人はてせニギーユニ



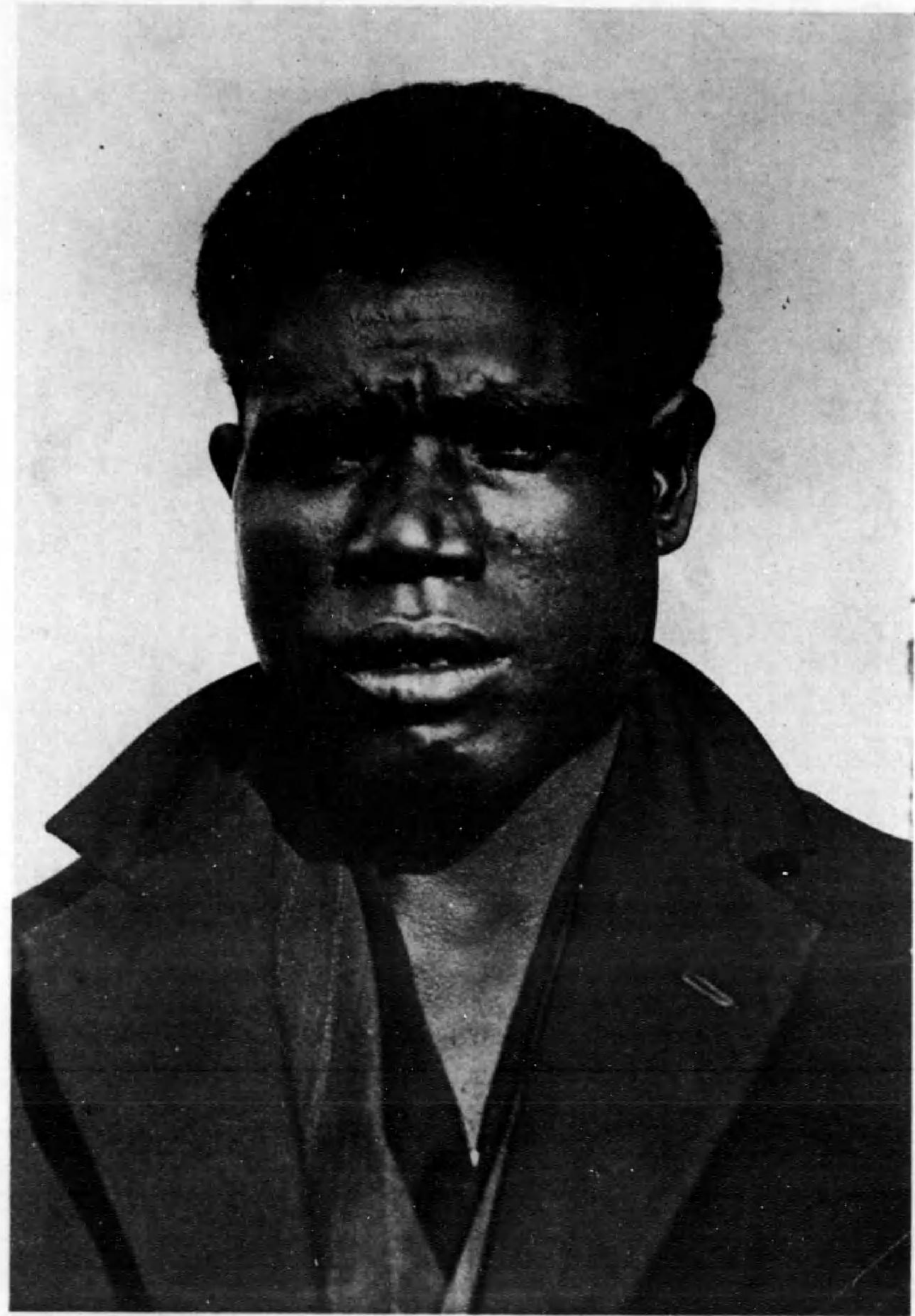
霊の先祖の島アプバ

撮影もてれらじ皆とるあで靈祭の先祖はの御の人アプバ。るあで部落人士たし面に渡アプバの島アプバはれこ



家後若のアupa

○るみてし星を色トーレコチは色の肌くはは多く固てし腹は顔でのるたし髪分らか族アupaは族アupa



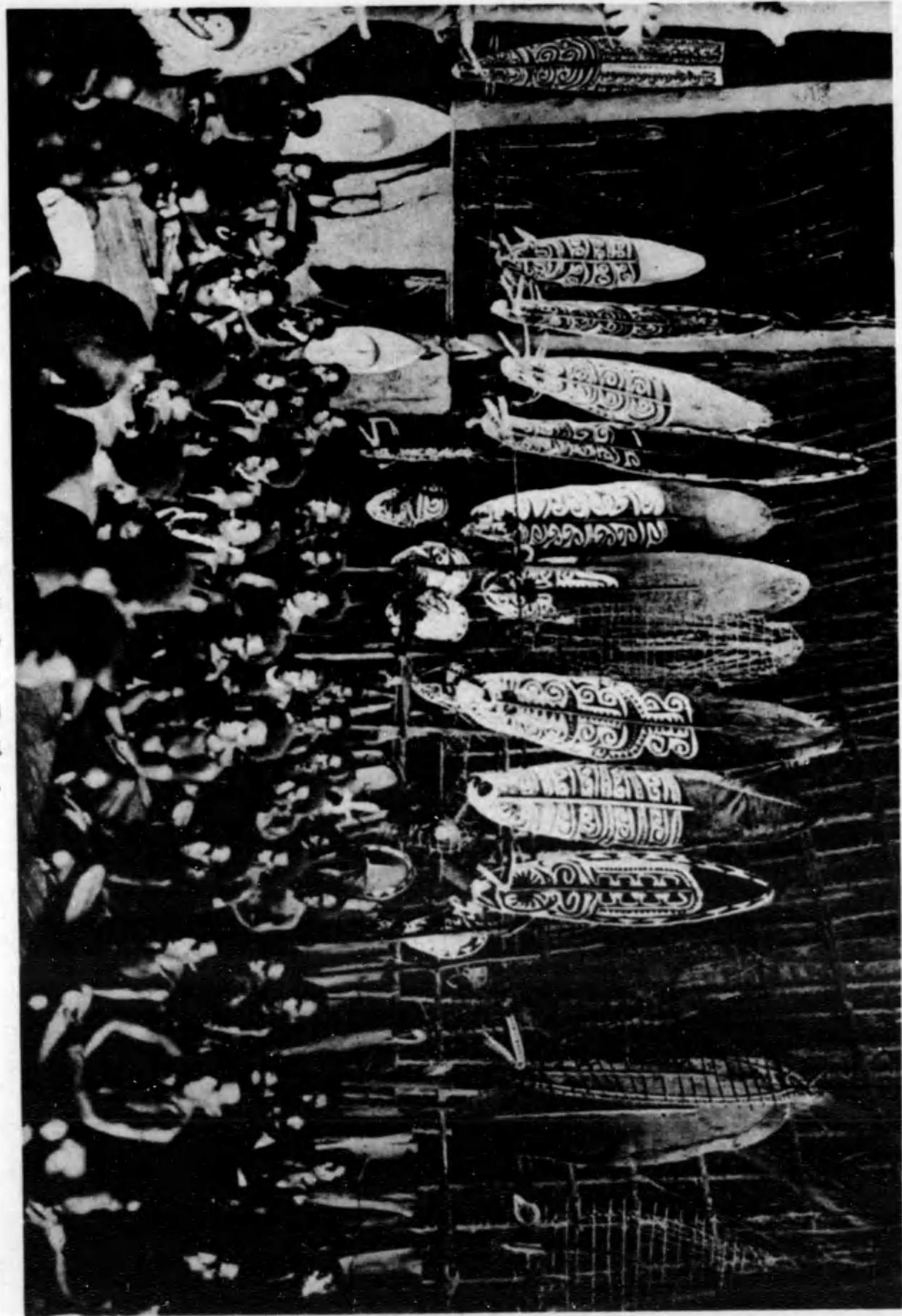
型典の人アupa

○人土のアupaは族英いなるてれさか究研の分究がもはで方地明蘭の西北み住が族種にく多にけだ島と二第界世は島アupa



飾装踊舞の族口口

るあてれこる 設舞の女の時のそ っる手画をき踊り祭かな變大さとだ人生を供子に初最が女の族部のそは族口口のヤニギーユ



議 會 教 宗 の ア チ ベ

るあてれこる 設舞の女の時のそ っる手画をき踊り祭かな變大さとだ人生を供子に初最が女の族部のそは族口口のヤニギーユ



リ踊面假のクユデ・クユデ

いなきおとをる人の供子女れきとのるな死神はれそ。る作を贈贈密呪のみの子男は族クユデ・クユデの島国クマースビ



式舞の族クユデ・クユデ

る。作が二人にたし。設置はに舞の表現。ある式舞。クユデ。舞が物人な舞主は。まじだん。死が長骨の族クユデ・クユデの島国クマースビ



東 装 の リ 祭

。ちみてれらせ留とだのもす返呼を入舟みら舞く遊はれこ。く畫を揮画で線い白に顔に日のり祭は女のヤシネラメ



面 の 術 覺

。ちみてれらせ留とるなに夫丈は供子とるれ舞にれこでのもなめ術魔は面のこ。ちふかを面なんこはにり踊るあめ島ンテリブーニ



人代近の島ンモロソ

。い多も血漢の人ヤシネリボしかしはに島のこ。るあで黒暗はたま黒純は色の膚皮で人ヤシネラメは民住の島國ンモロソ



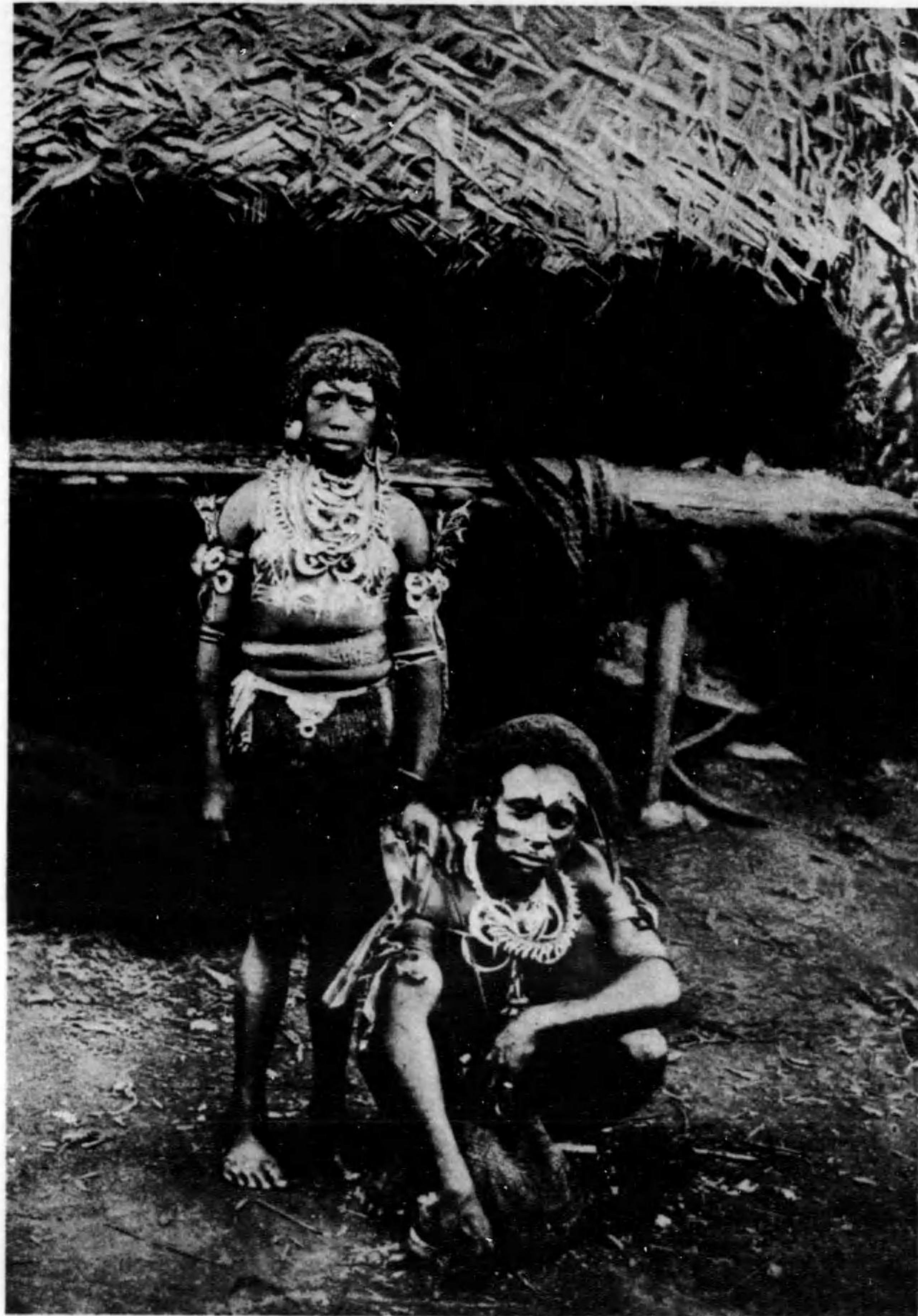
女の島ンモロソ

。るけつを土の色赤は髪けつをり飾大つ作で玉歌深と股貝はに腕や首けつを飾大つ作ら。維織の物種はに腰



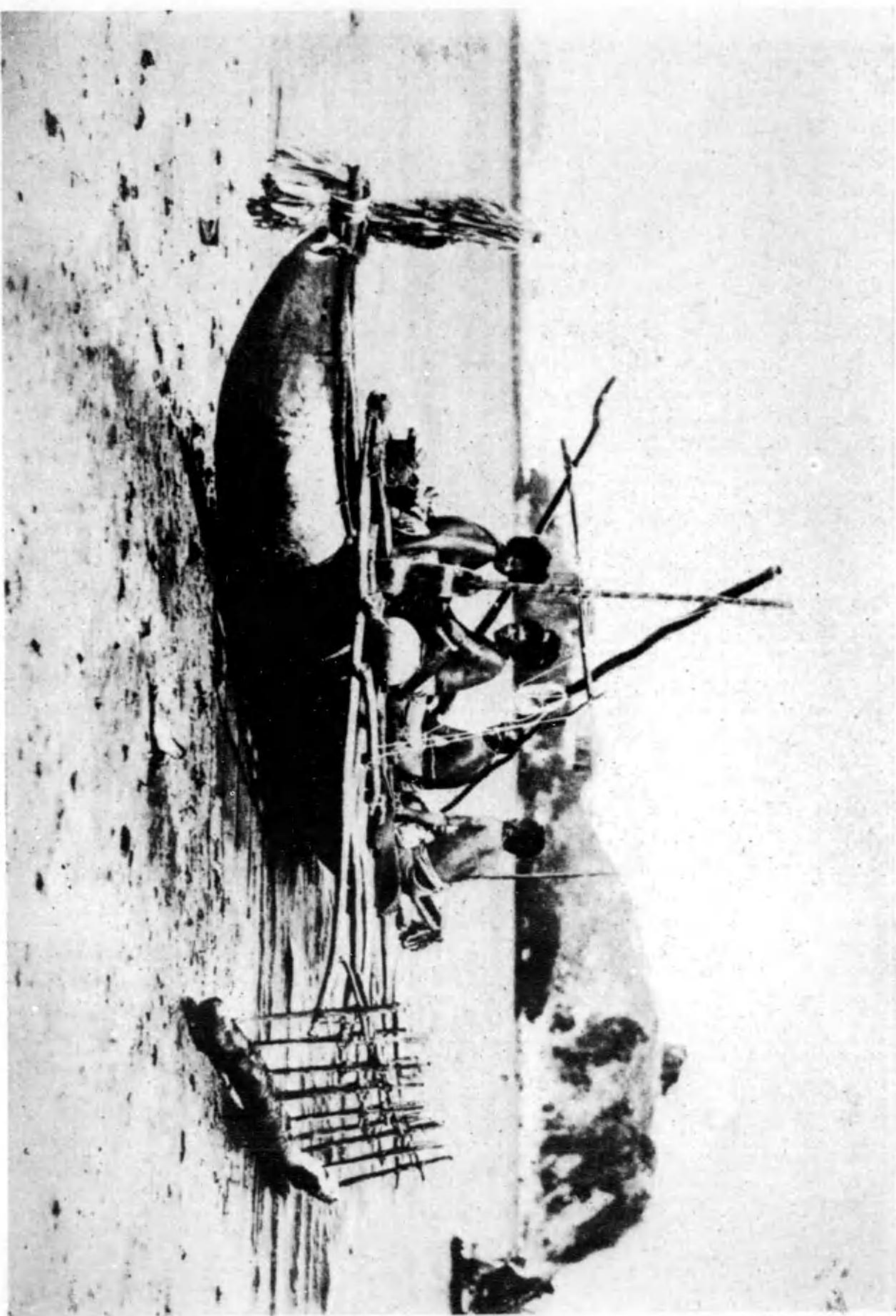
精靈の假面

。ちみてい付き物形はに上の子帽。ちみてれは行がスダ葛精にまいはに黒ヤシラメボーユニ



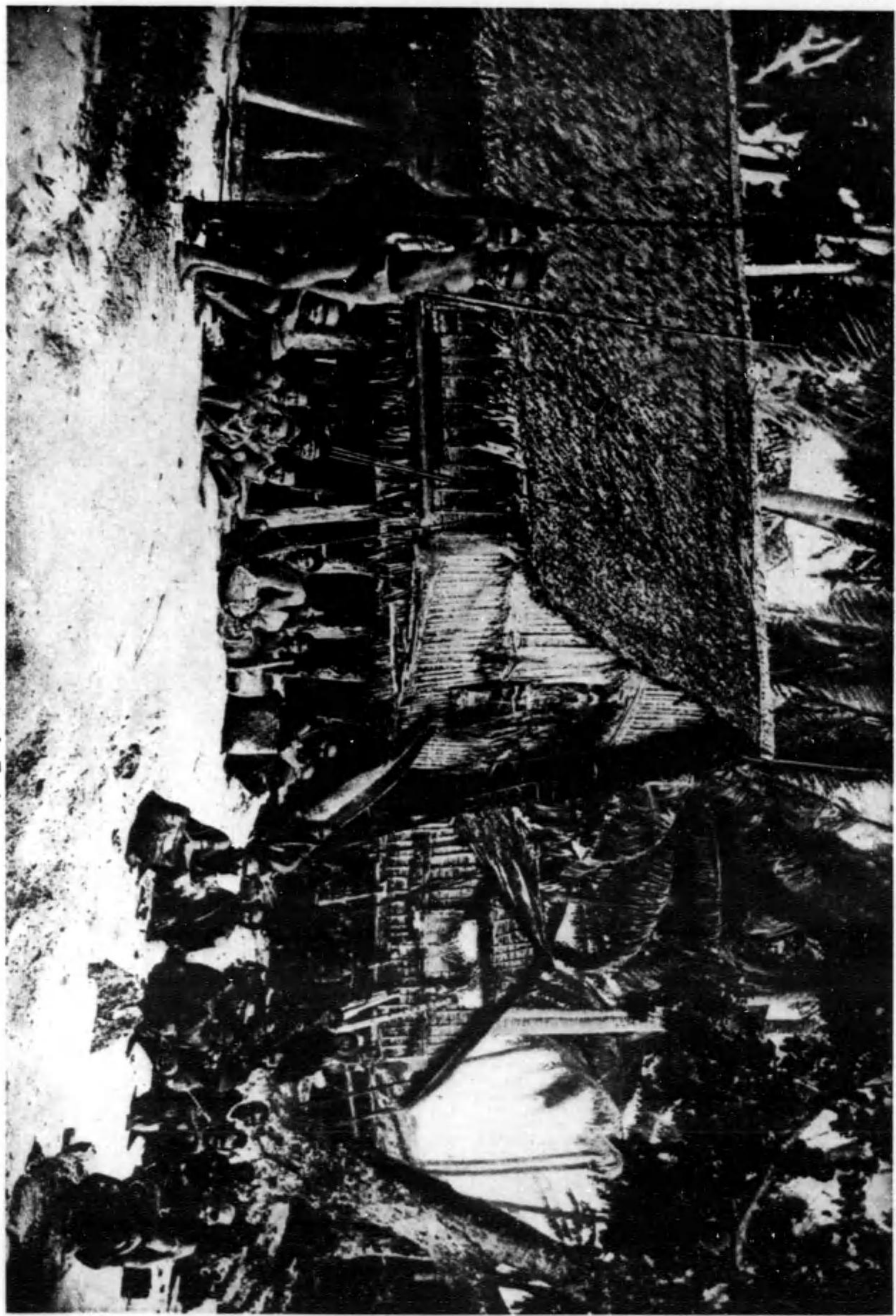
ソロモンの島の夫

。妻夫人士たし色器とチゴテゴに替。ちあで特標は人士にあらぐふいとちみてれは行が魚肉人も今はで島ンソロソ



人ヤシホラメと一ヌカ

のちみこれらに用は船一ボートヌカといつの本器もに普通にも海流はで島語のヤシホラメと一ヌカ

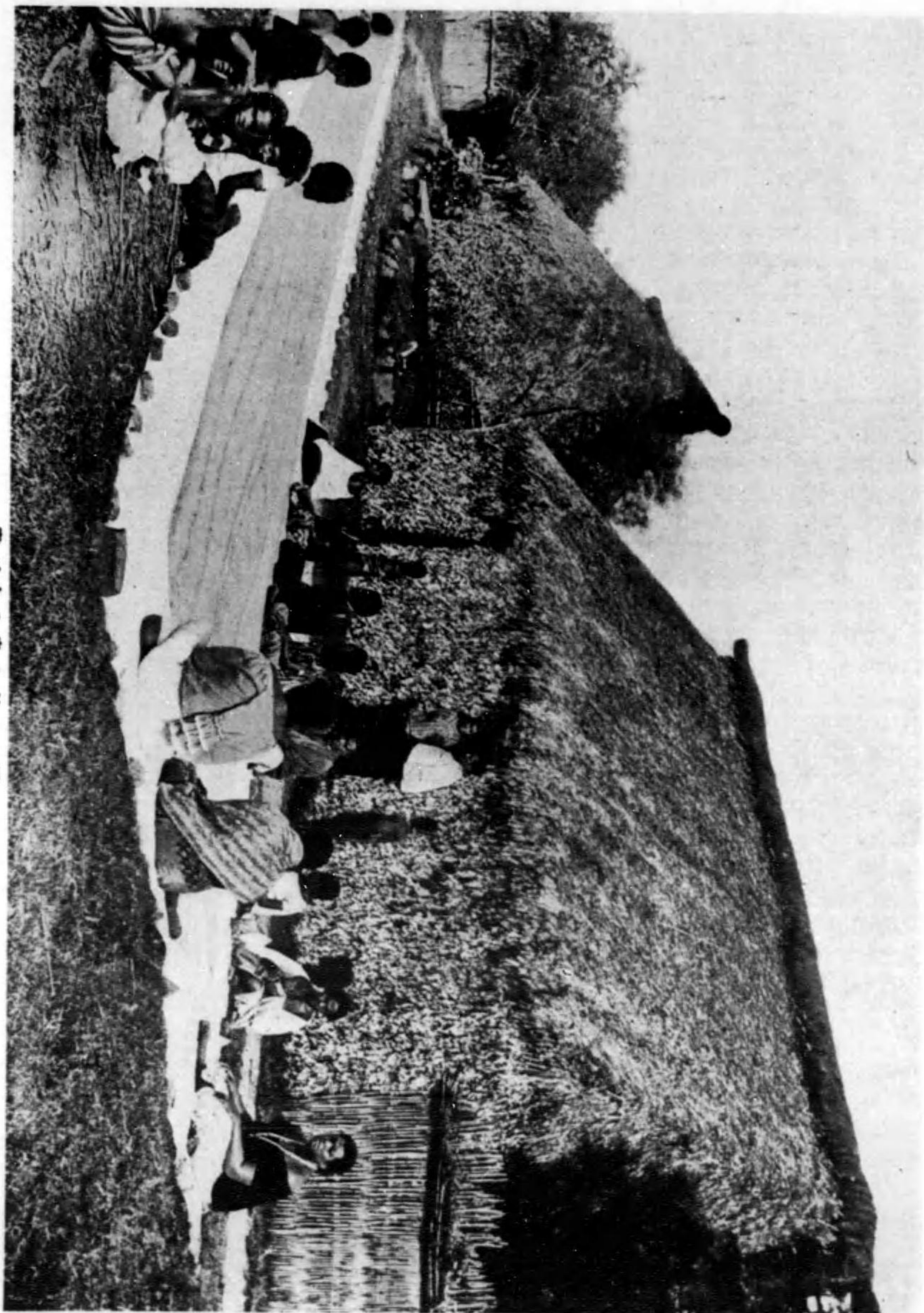


屋家同共の人ヤシホラメ

のちみこれらに見ても島語のボートヌカといつの本器もに普通にも海流はで島語のヤシホラメと一ヌカ

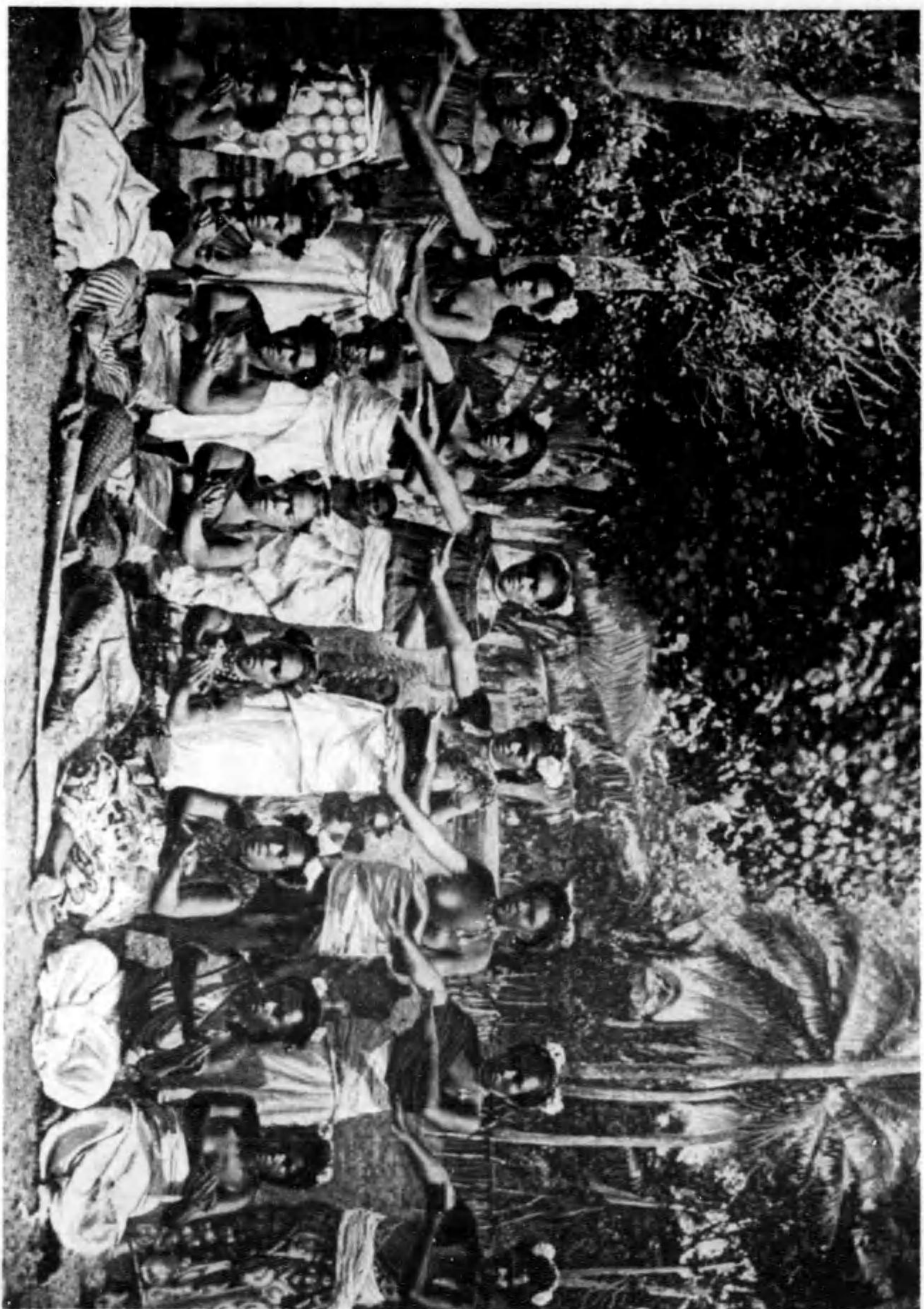


の土質種のも、るあで族種一同と民住の島ワグム島ワ、ガムルあに方衆のそし屬に人ヤンゴドイは民住の島ワグ 娘の島リハ
 るあてし平いよをとるあ面長のもほこあてのもなめ代は娘の貴官、るあでとるす有毛取持狀成てし類は髪毛で鼻葉面長は貴特



雲バタの島ージーアフ

雲バタるあてれまが置き火に上の布たれらげ置に箱の架、お語で衆の物置、名は衆の人士の島ージーアフ



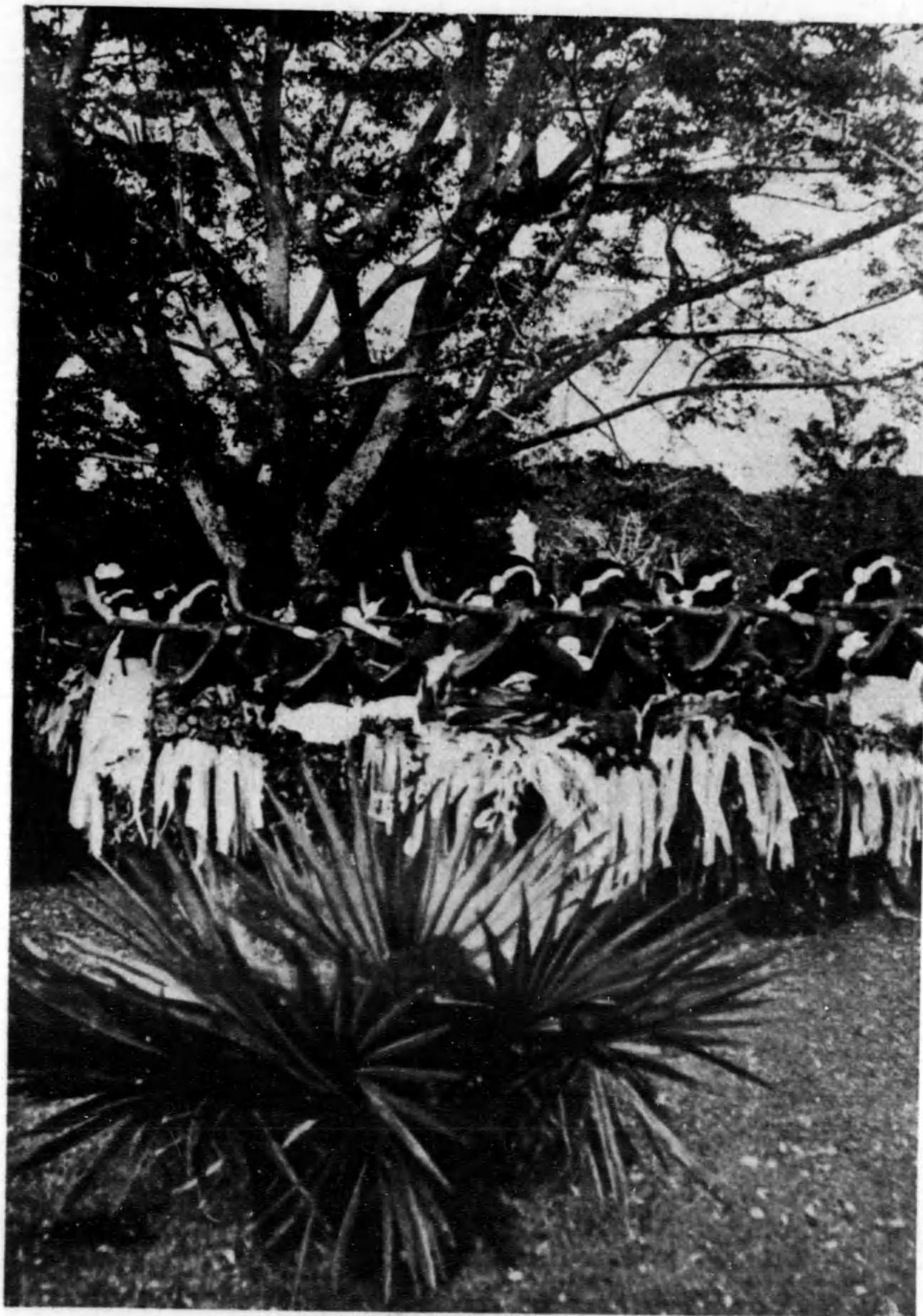
リ 踊 カ ラ カ ラ

あるやまに舞臺に木カと不リを身甲上の體での舞はのするあるあるあるあり舞の方舞はムと舞一ゴリフ



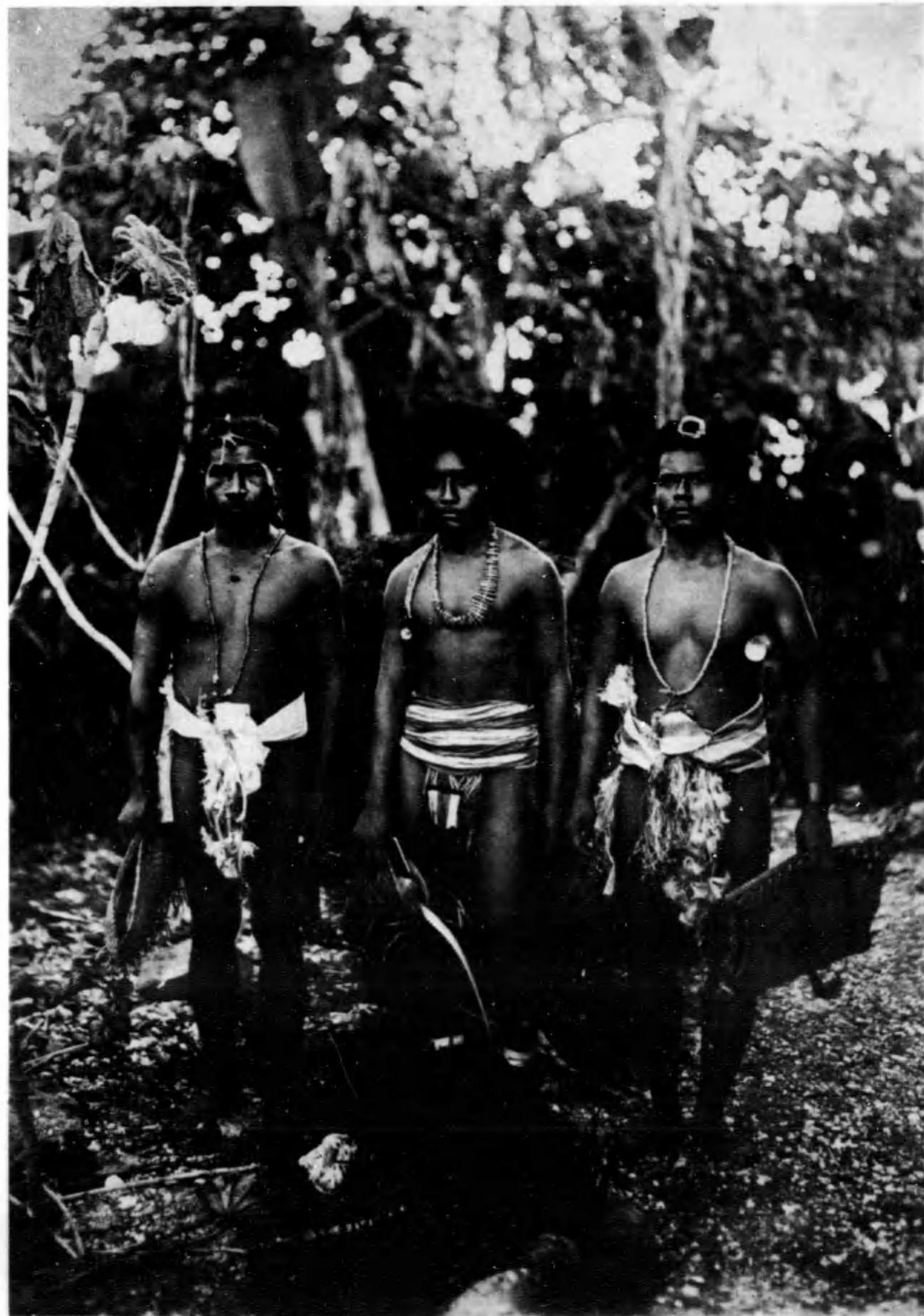
るとを果の子椰ココ

。るみてつとを果の子椰ココが著者の島トールギ。ぶ呼と族ヤシネロクミに般一を人士む仕に島話トールギと領治統任委洋所がわ



リ踊の闘戦

。る踊てつをを標提るあで器武の等彼。るあがることな馬ラドでのるな壯勇はり踊闘戦の人士の島ジーフ



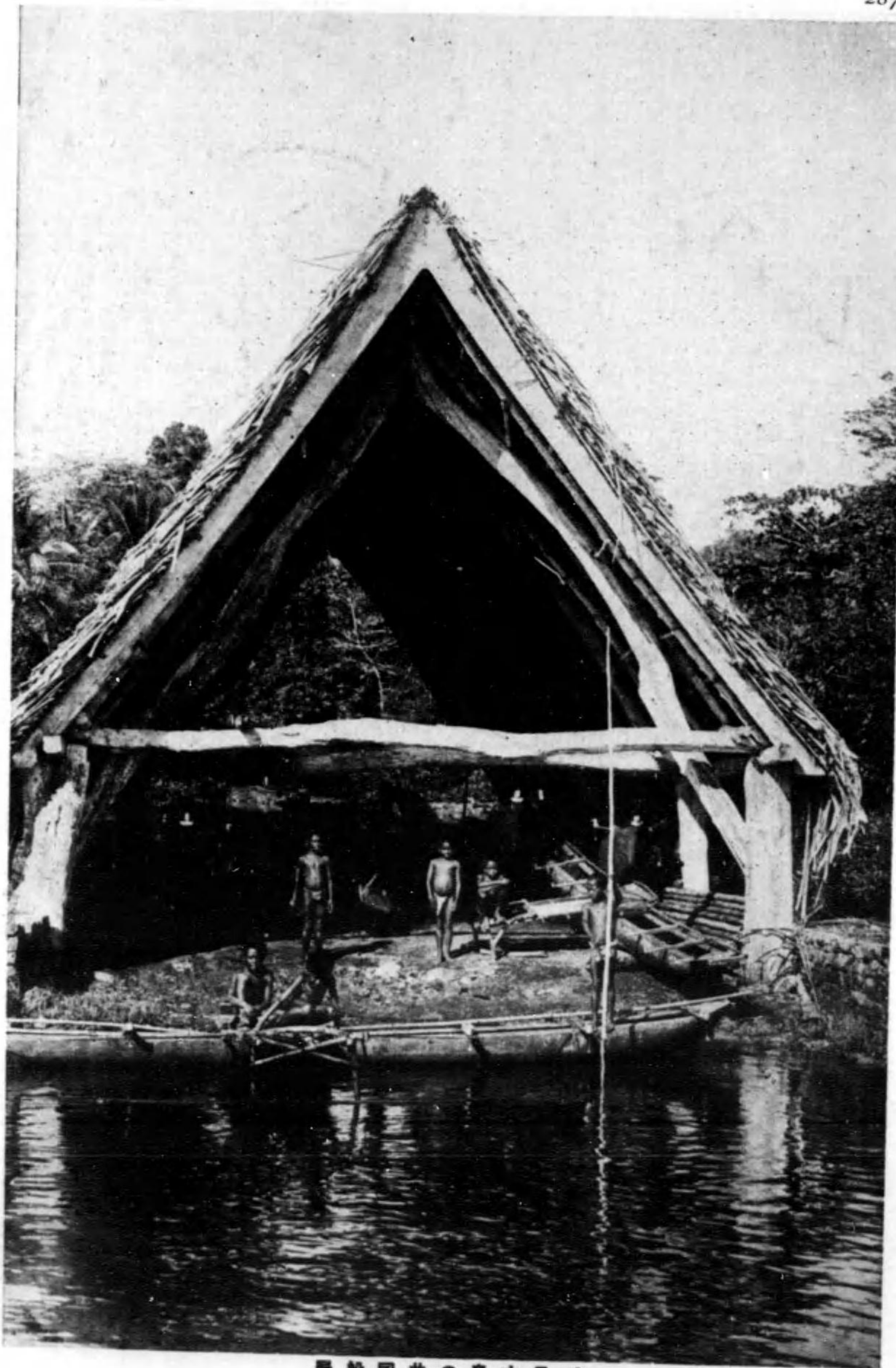
俗風の人土島イアレオ

。るみてつ入がどな果の脚漬・草巻・具通釣はにれこ。いなさ離らか手をのもの種トックスバるるに眞究は人士の島羅シロカ



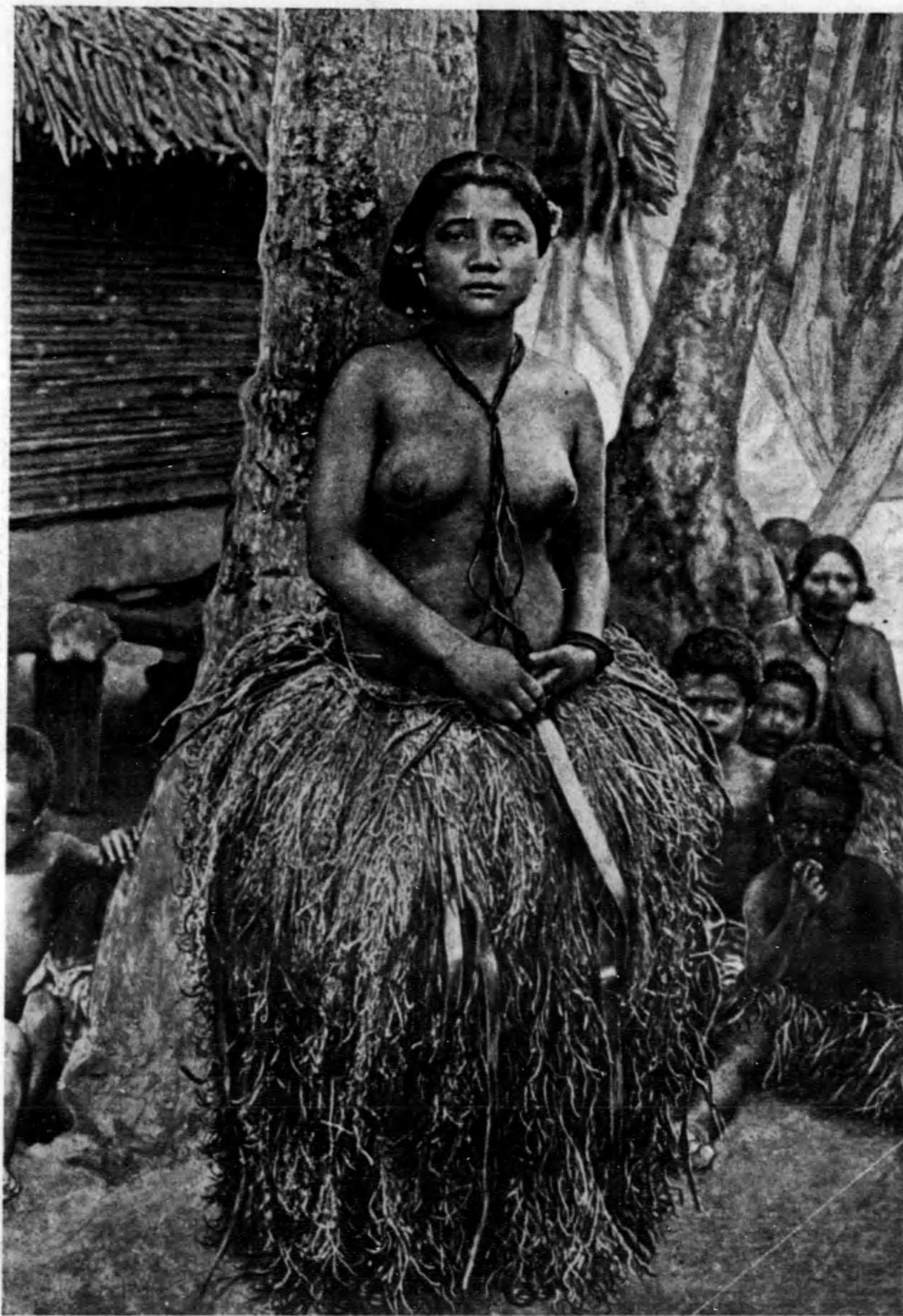
と刀番と帯飾と置花

。るすを袋取のこが運長倉にりかばさとの式儀が大はで今。るあて袋取な風古の島トールヤはれこ



屋船同共の島オラバ

らるあでることく置てげ標引をーヌカの人士。い多が(ルガンヤデア)屋船同共はに々島のヤシネロクミ



女美の海熱

らるあてしを體肉内的情熱らか定安の活生と候氣。女美のヤシネロクミだん包で鏡い長を半下の膝大つ切し習生



ーサンダ・ラーフ

二人組人士の島イワハ。スダ・ラーフな調南ちれら踊にもとと律音のーワキキー・ジンバ



織機のフツヤ
ふる節を調的な音調の用をとな赤葉のほの白羽は色でのるれら作で織機の子細は地調のデヤシオロア



者若のルルノホ

よく行てじ誠を野のそに激発てしりたし血涙りたれき迫眼にあたの人洋東・人米原の家てし仕露は人アシネリボ住願のイワハ



子踊のイワハ

らよへいとるあてしは男に分究を質特の人アシネリボは眼な情熱と體肉な誠實をらあで子踊のり踊ラニフ



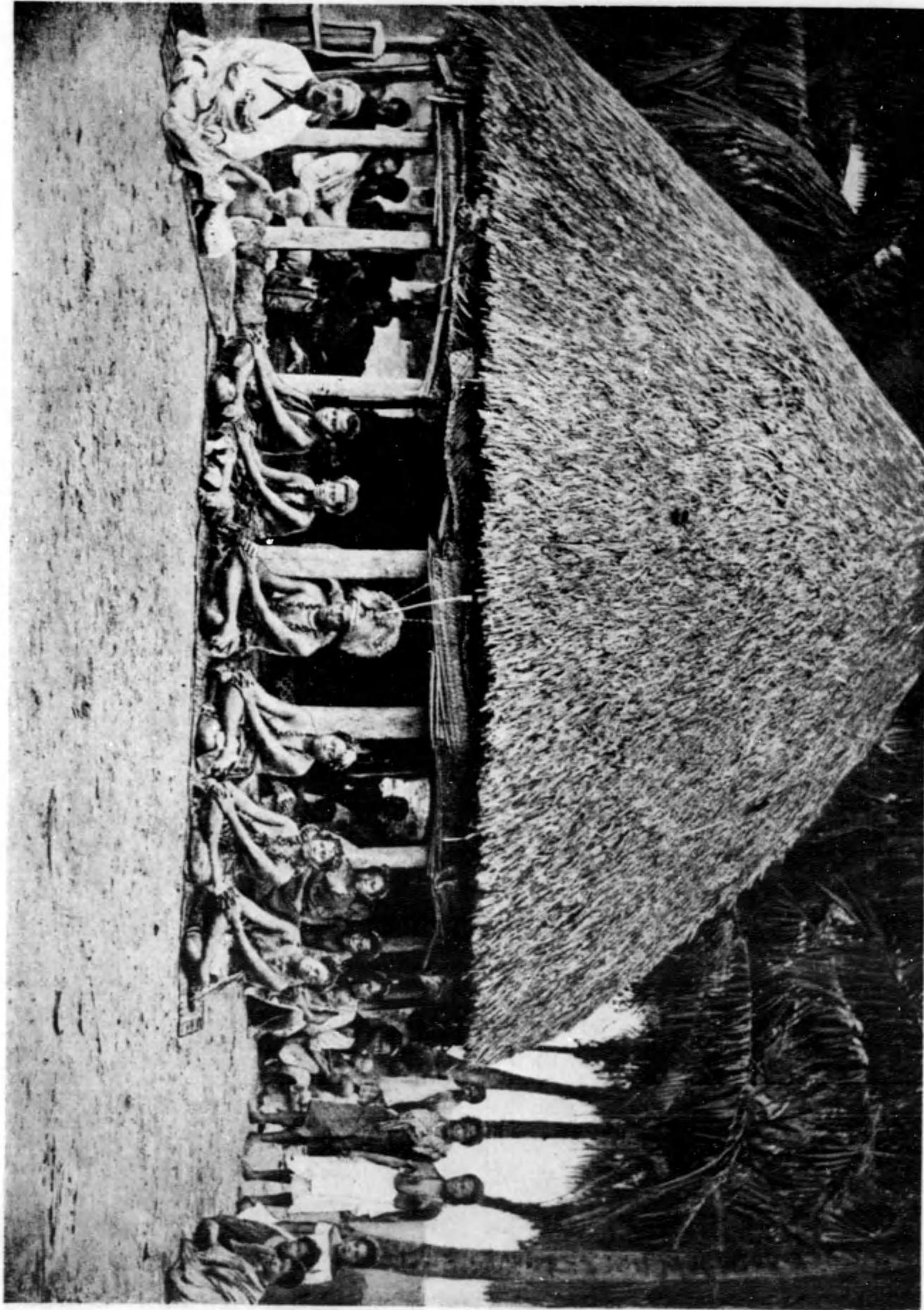
女美の島アモサ

○るみてげ付をり飾の貝へ胸らが朝なうやるれ切ちは ○るみてれら知てしと族種いし美も最中族民諸の中洋半太は人アモサ

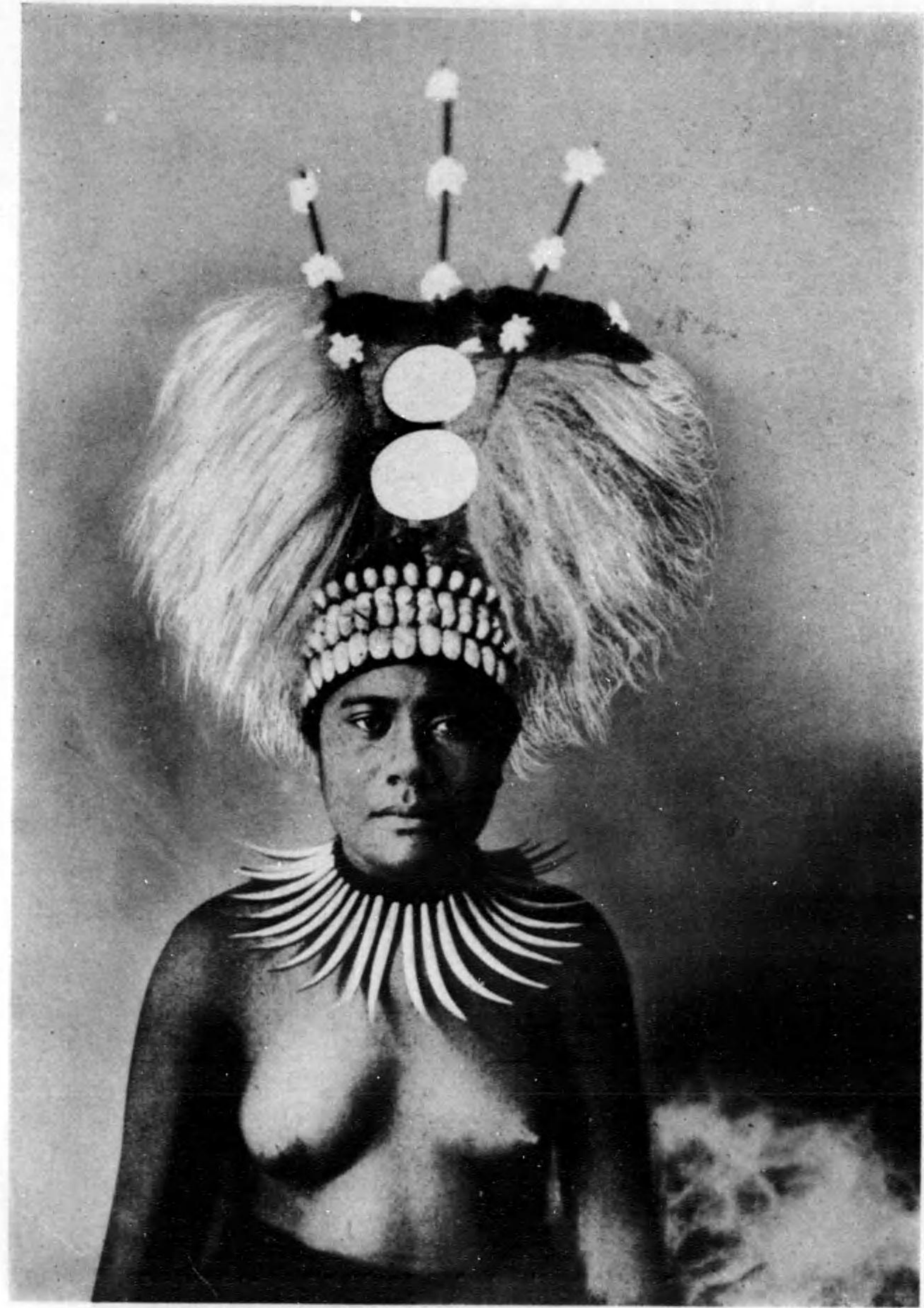


達女のアモサ

○いなはでいなもろ等女らみてしと蘭洋な軍備がい多が裡半は製履 ○いなは髪で色黒赤い薄は膚皮の人アモサ



リ 國 の バ シ
 なるこ人星が家なき大の草草はに種 なるなつたり國のバシで人並居に國の草草のそが人土のノベ+



女のアモサたし装盛

るぶかを子帽たいつり飾いし美はに頭 なるつうくよが色白の牙の張や貝い白に濱の色トーレコッ子



子 語 の ア モ サ

この和にこれが深い高ツカで歌律のけだ身半上だかはアモサしかし。お姫をり團に集は人ヤシネリデ

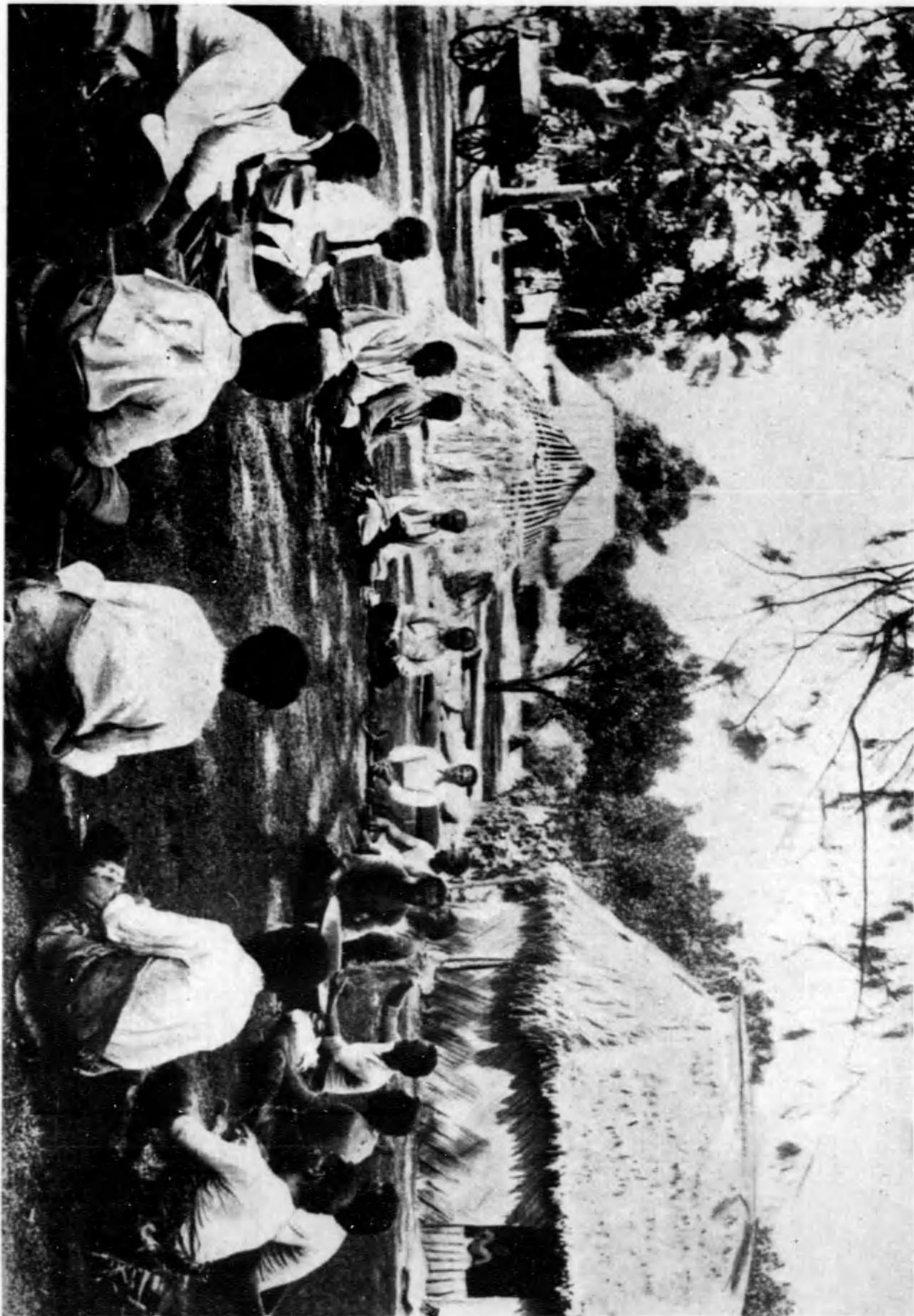
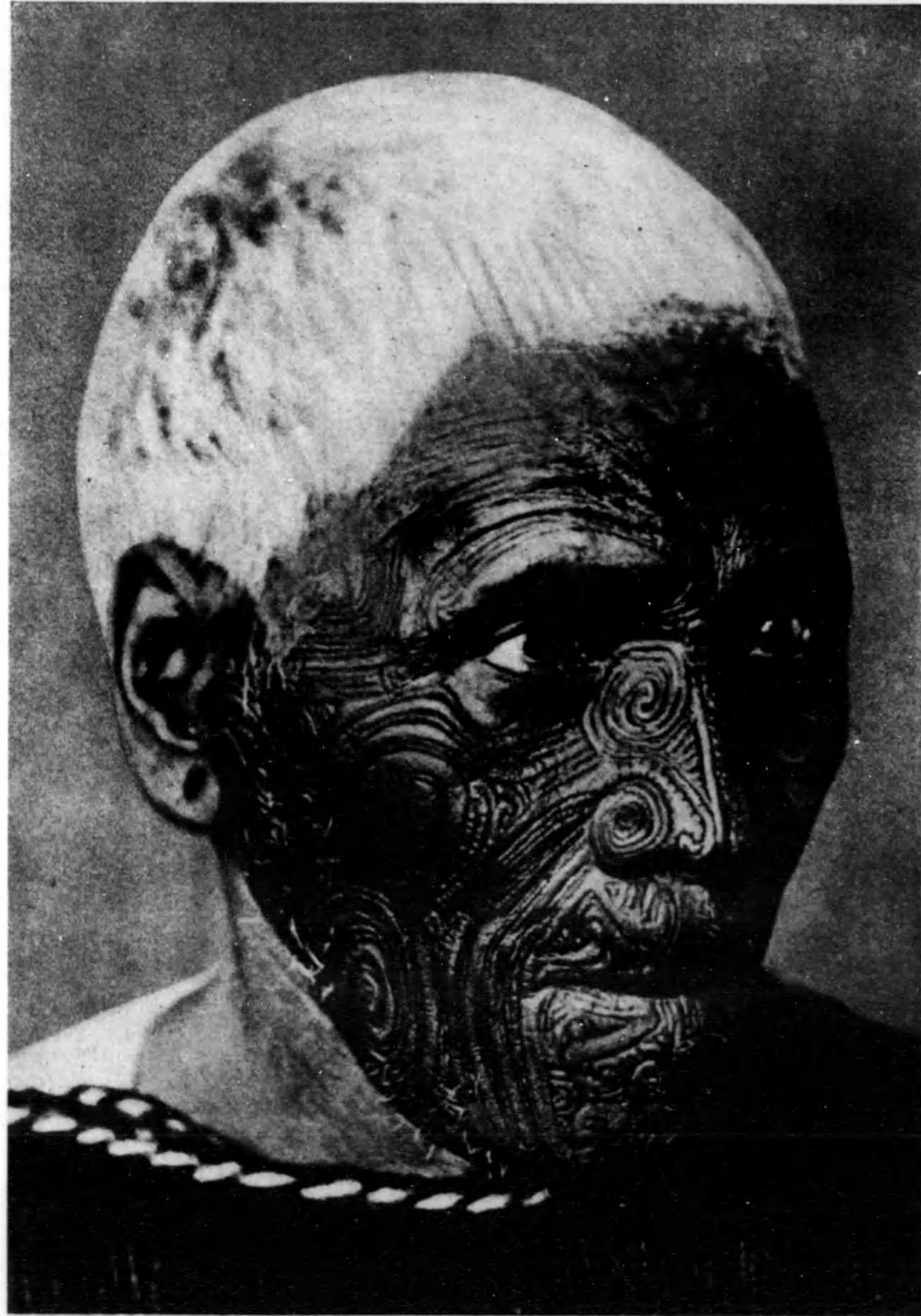


圖 ア ヲ カ の ガ ソ ト

のるるれき重傳てしと餘のツカガは餘るるに右。るるてつ作を團一が下置し集傳が長谷は上。の驚の左



顔の長酋リオマ

。るあ、つひ失を大魁は黒入はに若若の年近しかし。るあでのるあてれき黒入が種類の特異中顔。い高名にり臉は黒入の族リオマ



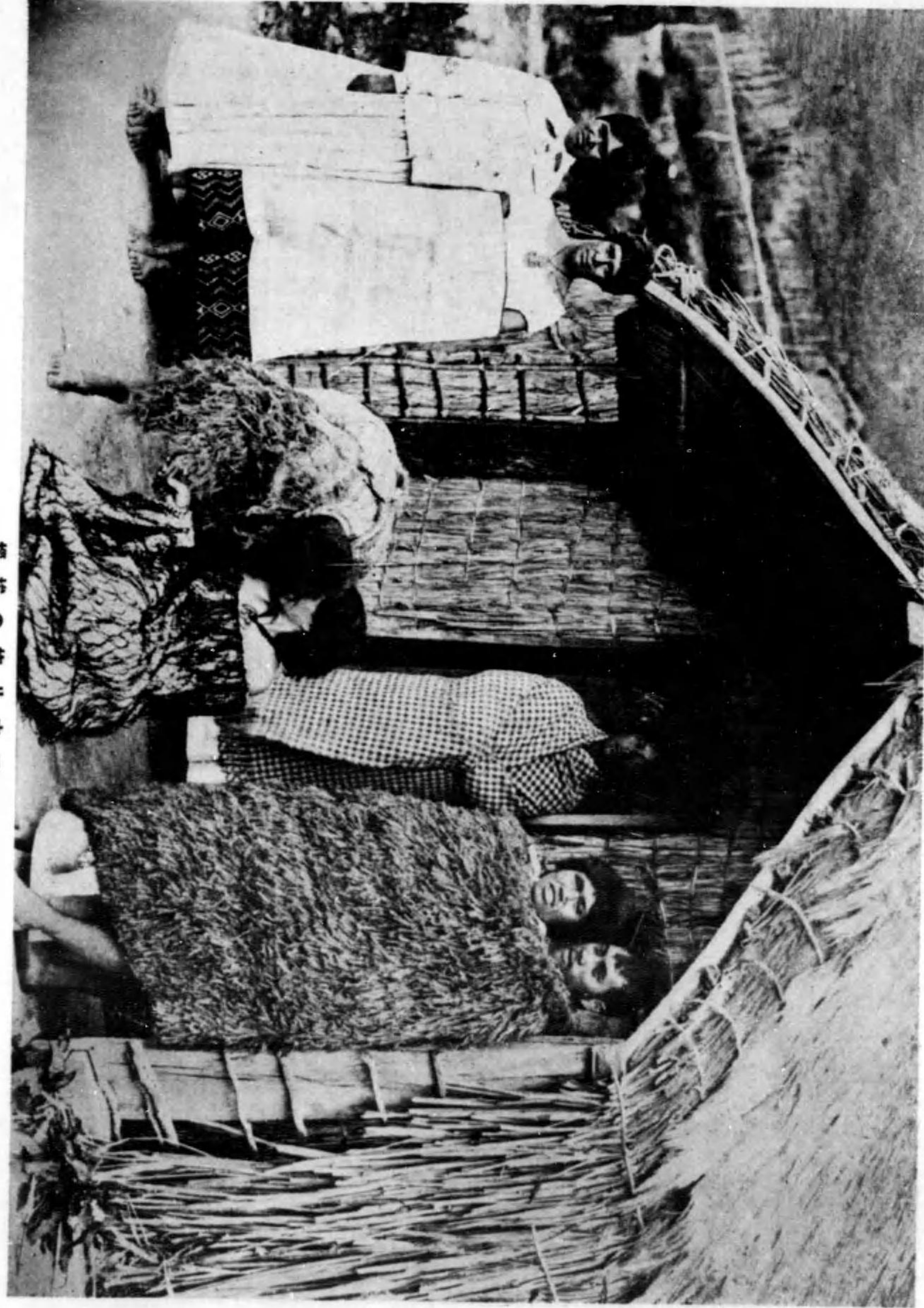
踊と家の族リオマ

。るあてつ踊で前の家長が運若若のリオマ。るあてれきことほに度願が楽舞なクステログに特は家の長酋の族リオマ



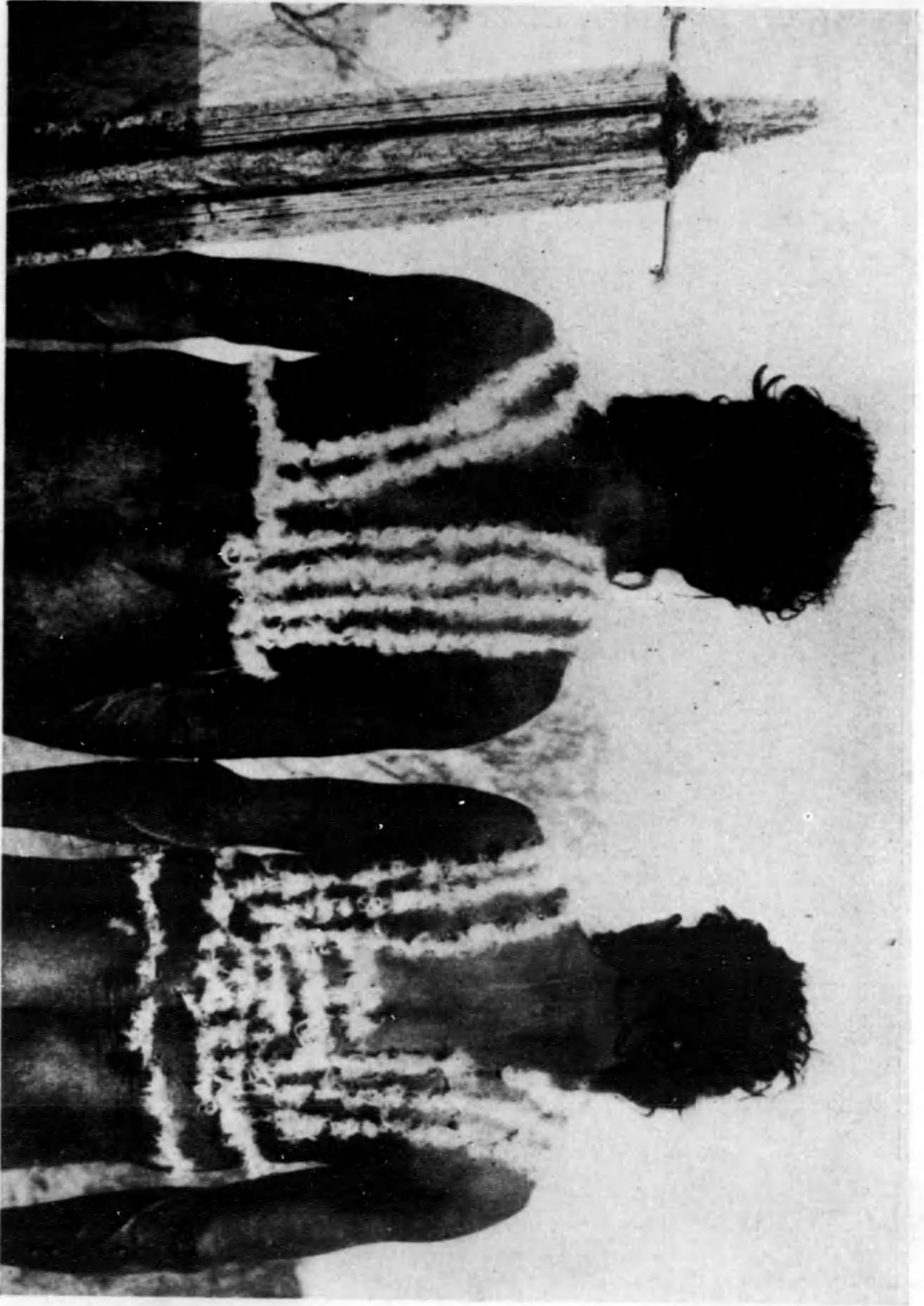
女の子ヒタ

○ろひ用を自製るあの木製のみ巧に閉造は等数ナま ○ろみてし食主を等果の木のパヤ果の子細く多は人士ヤシネリガ

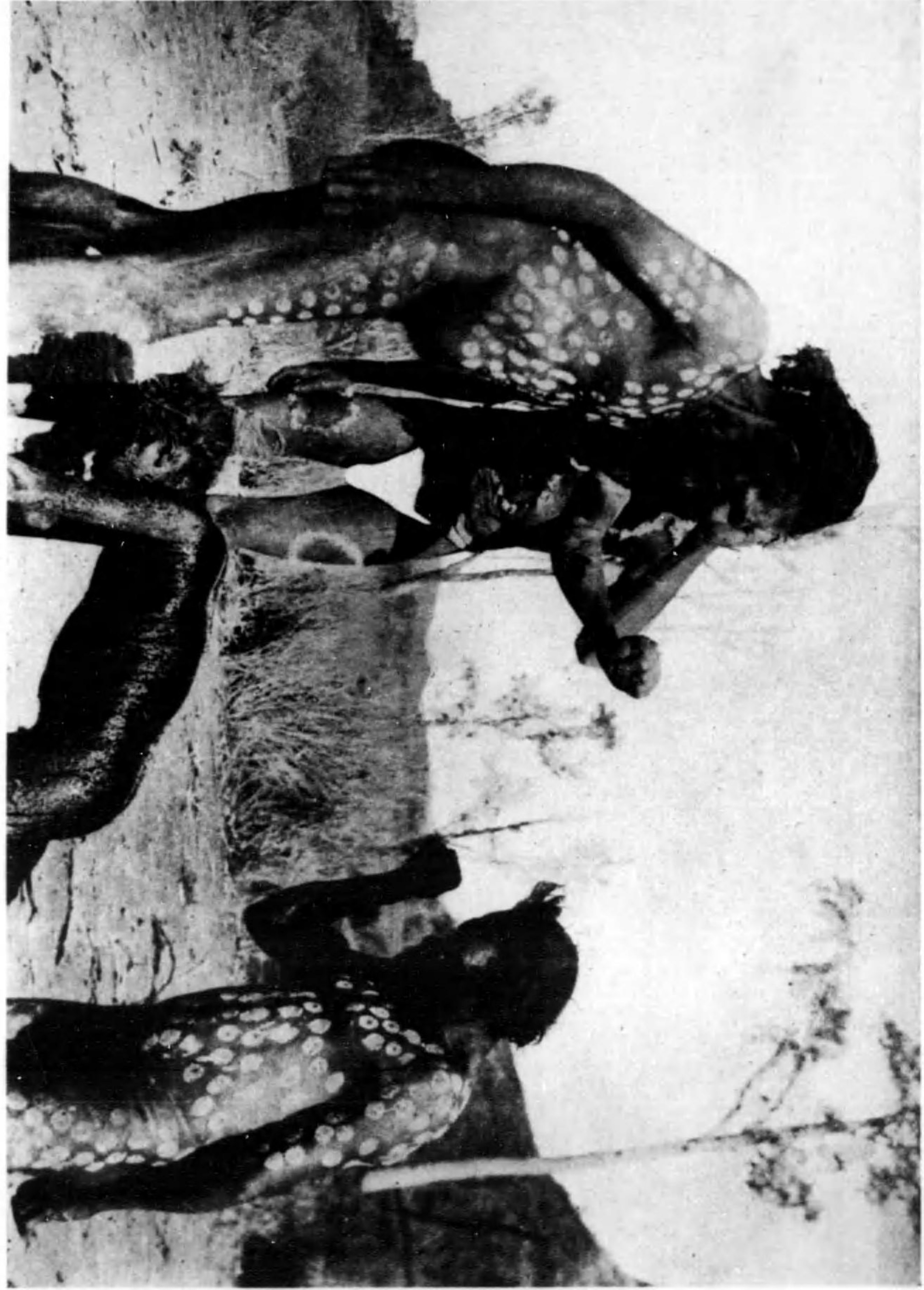


撈挨の族リオマ

○ろらあてつ一の撈挨るす現衆をさし類も屋の中男世 ○ろあてとこす合きつを類と類り奇にを乎と乎は撈挨の族リオマ



中ノヤリタノ部ノ人
ヤリタノ部ノ人ノ髪ノ毛ヲ脚ノ裏ニ着ルコトモ髪毛ヲ剃シテ黒色トシテコチノ部ノ人ノヤリタノ部



成年ノ血ノ洗禮
オチノ部ノ人ノヤリタノ部ノ人ノ髪ノ毛ヲ脚ノ裏ニ着ルコトモ髪毛ヲ剃シテ黒色トシテコチノ部ノ人ノヤリタノ部



妻夫人土ヤリラトスーオ

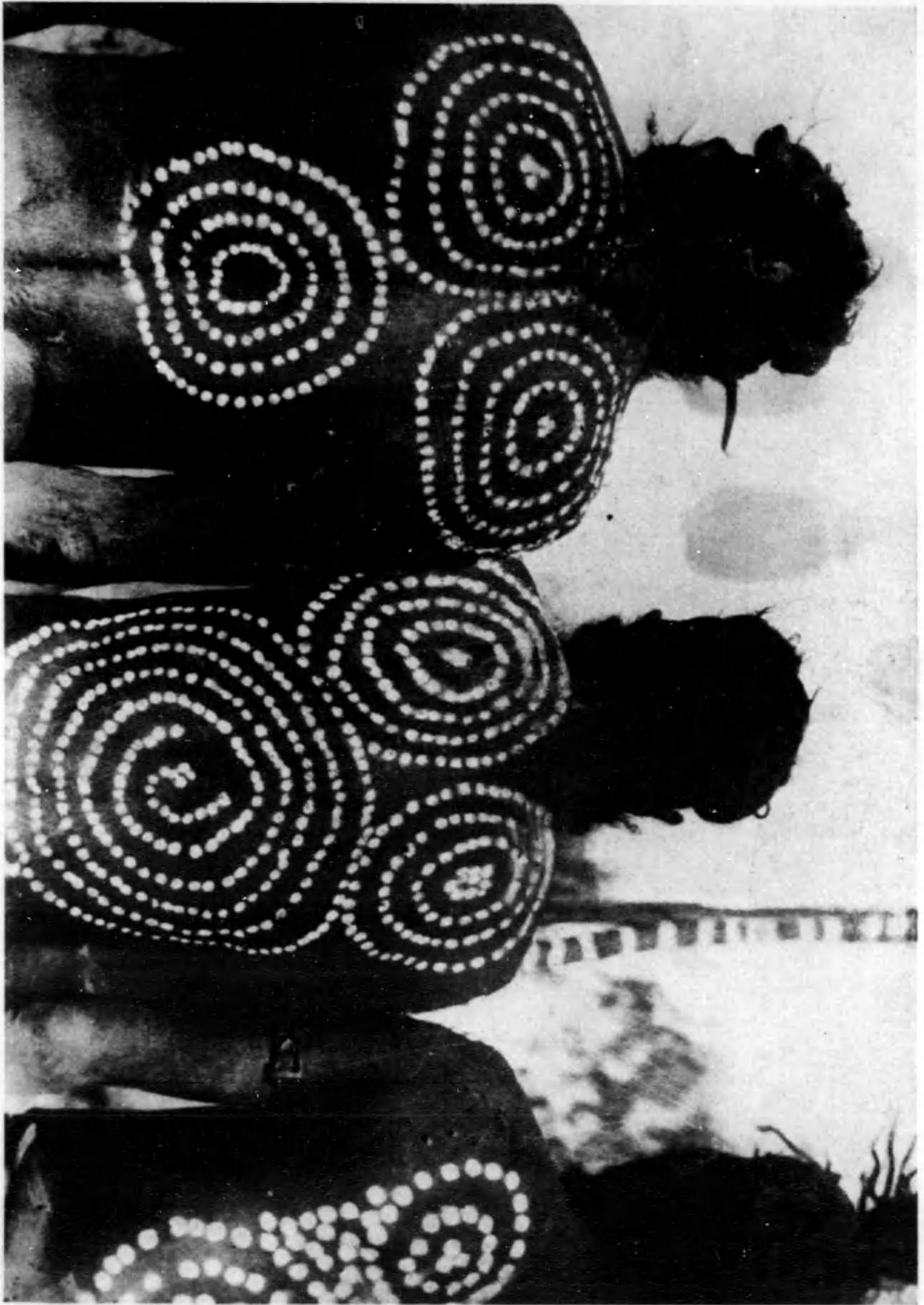
い多る話神で難濁は聖儀の會社がい低は度程の識知に般一 ろあで快輕は質氣み富に力耐忍は人土ヤリラトスーオ

キ
ス
ー
オ
の
人
土
ヤ
リ
ラ
ト
ス
ー
オ
の
用
の
工
人



子母のヤリラトスーオ

い多がのもるみてし積糧を式様活生の代時器石蓄にだ未ひ帯を質特的始原は人土のヤリラトスーオ



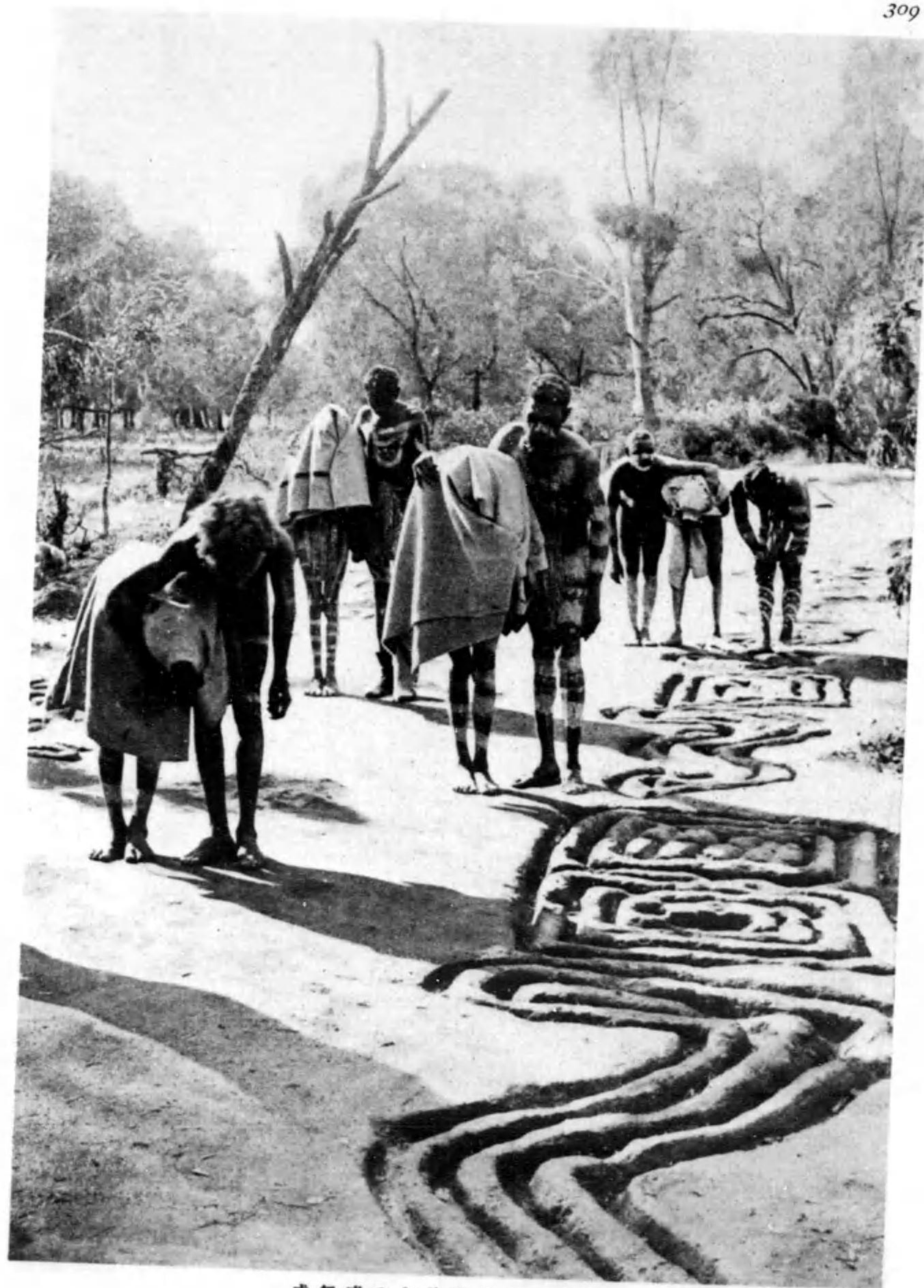
男の族ラタソエチヒ

○るすをりどを遊に敵手はきとぬら部：手相しもでのもの特図はソラマニアの用の人上ヲウラトヌーキ



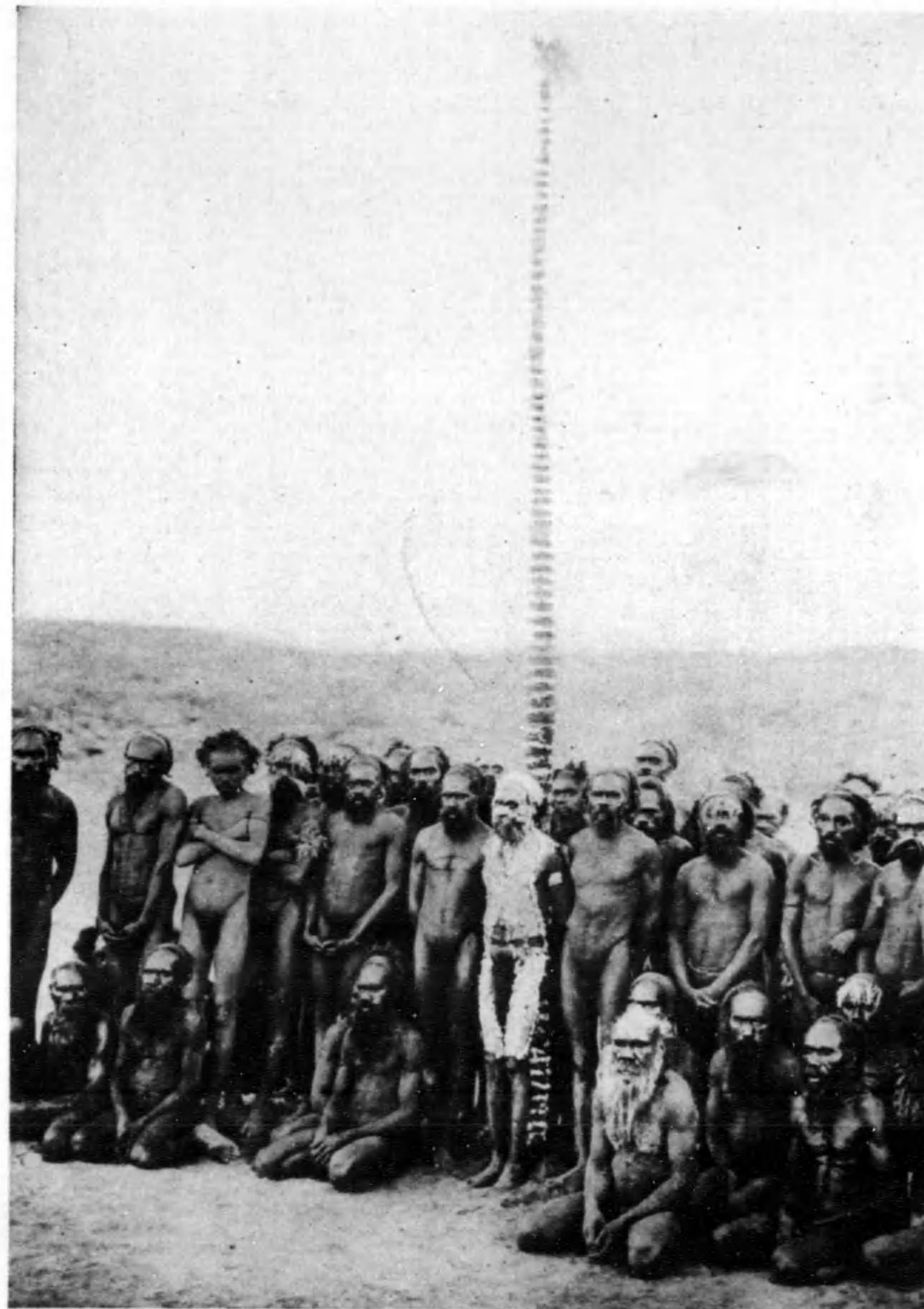
るげ投をクソラマニア

○るすをりどを遊に敵手はきとぬら部：手相しもでのもの特図はソラマニアの用の人上ヲウラトヌーキ



式年成のヤリラトスーオ

。らあでのな慰註もで中式儀諸的始原。るす遍通てししくか目を路のラボたれら掘にう々の路迷れはいと式ラボは式儀のこ



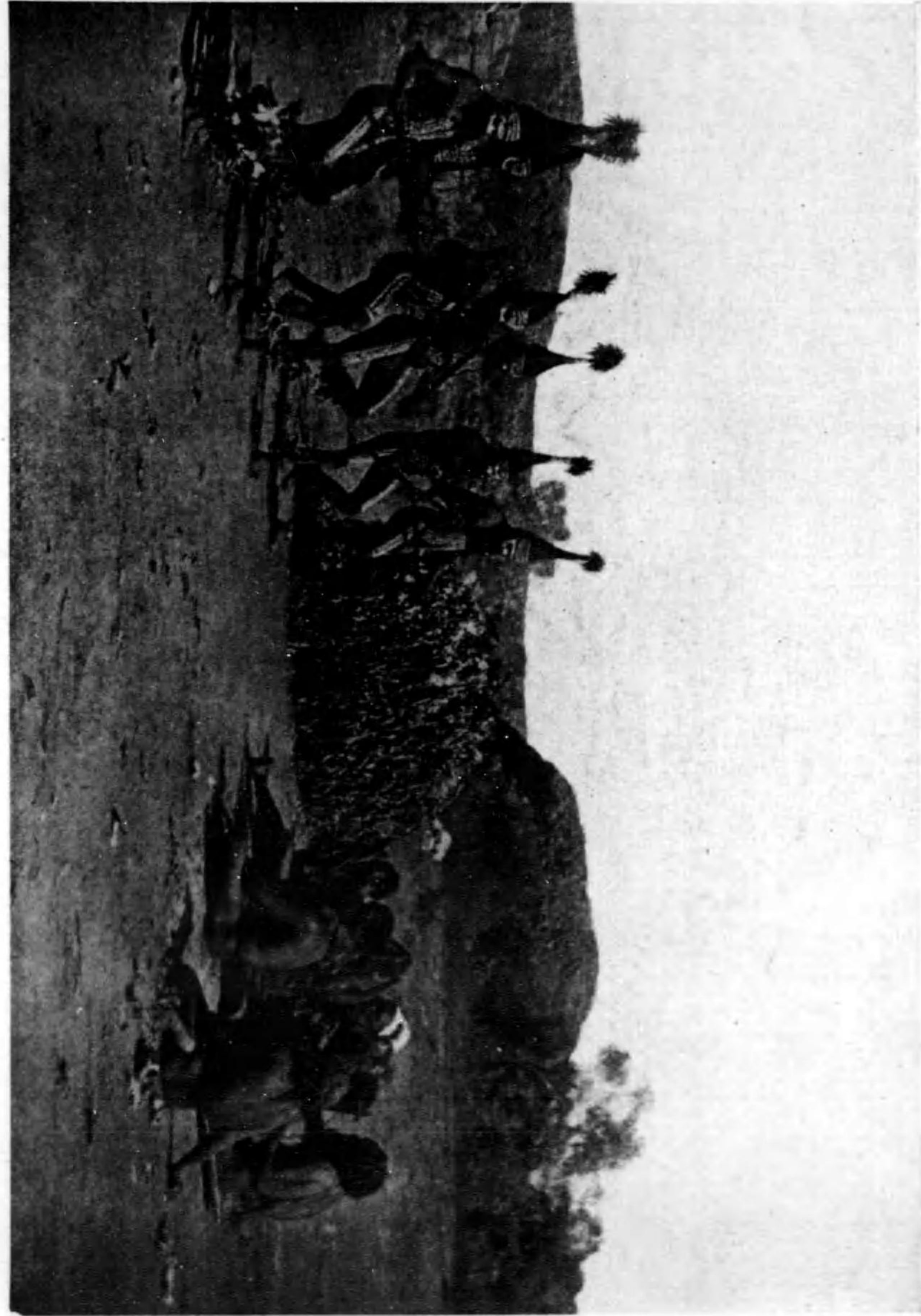
者醫のヤリラトスーオ

。人士たつま集に園周の柱るすルボムシをれそと者醫はれこ。い多がとこるあて人一同がと者醫と者術聞はてつあに族種の開未嘗野



痕 疵 の 膚 皮

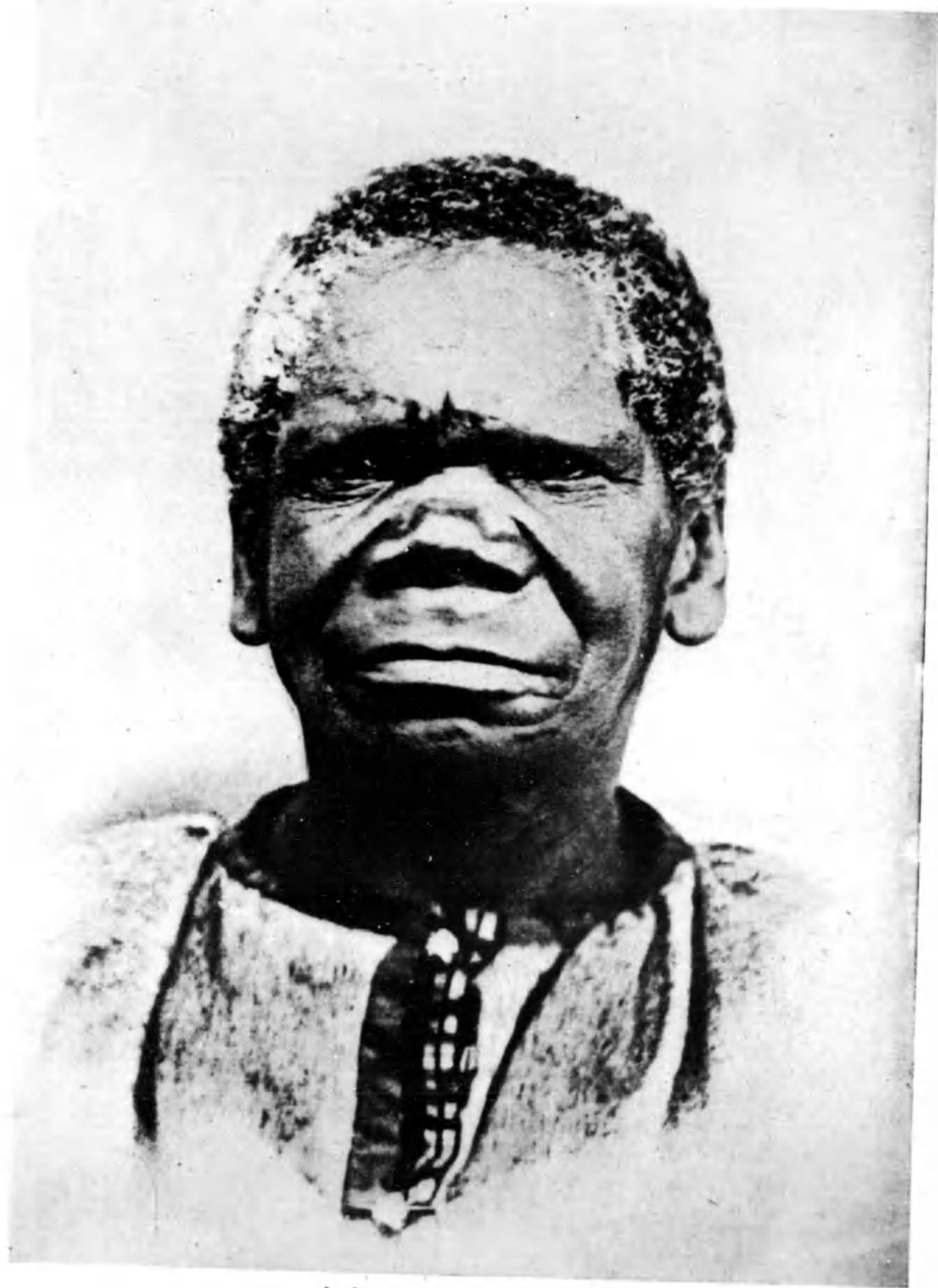
。ちあでのるれらけ村に期長生の等族くなはでのもずは別を族種はれこ。るけつを撫疵に膚皮は人士のヤリラトスーオ



舞 の 族 タ ソ ル ア

。るしを舞舞でケソラメーアはのもたつ座。るあがしこ。行をり舞いしや舞即夜は族タソルアのヤリラトスーオ

カリメア



人ヤニマスタたし滅絶

人土ヤニマスタの復最の諸滅絶がれてゐるはいとたつかか近に人ヤシネラメてついらか化文や實體は人土のヤニマスタ



女 の ー モ キ ス エ

。るあで宜の「のるす食を(魚)肉生」で開呼のンマイデンイはトーモキスエ。千三萬一約く多當一にカスラアがい廣は布分のーモキスエ



供子のーモキスエ

いなく低てし決は背でり誤はのたれはいと人小がーモキスエ。い多が合揃りみてし血涙と旅種他たし控園もーモキスエ



庫倉のーモキスエ

るすり大へ箱を載と測も用り大つ貯を飽は堅しきで証を動海は多。るみてしを旅庄でと測と貯はーモキスエ



長酋の族 - オシ

。るあで族種む仕に漢上の河-リズミは族-オシ、宿院の長酋ンヤイデンイたつ被る帽飾の羽の装



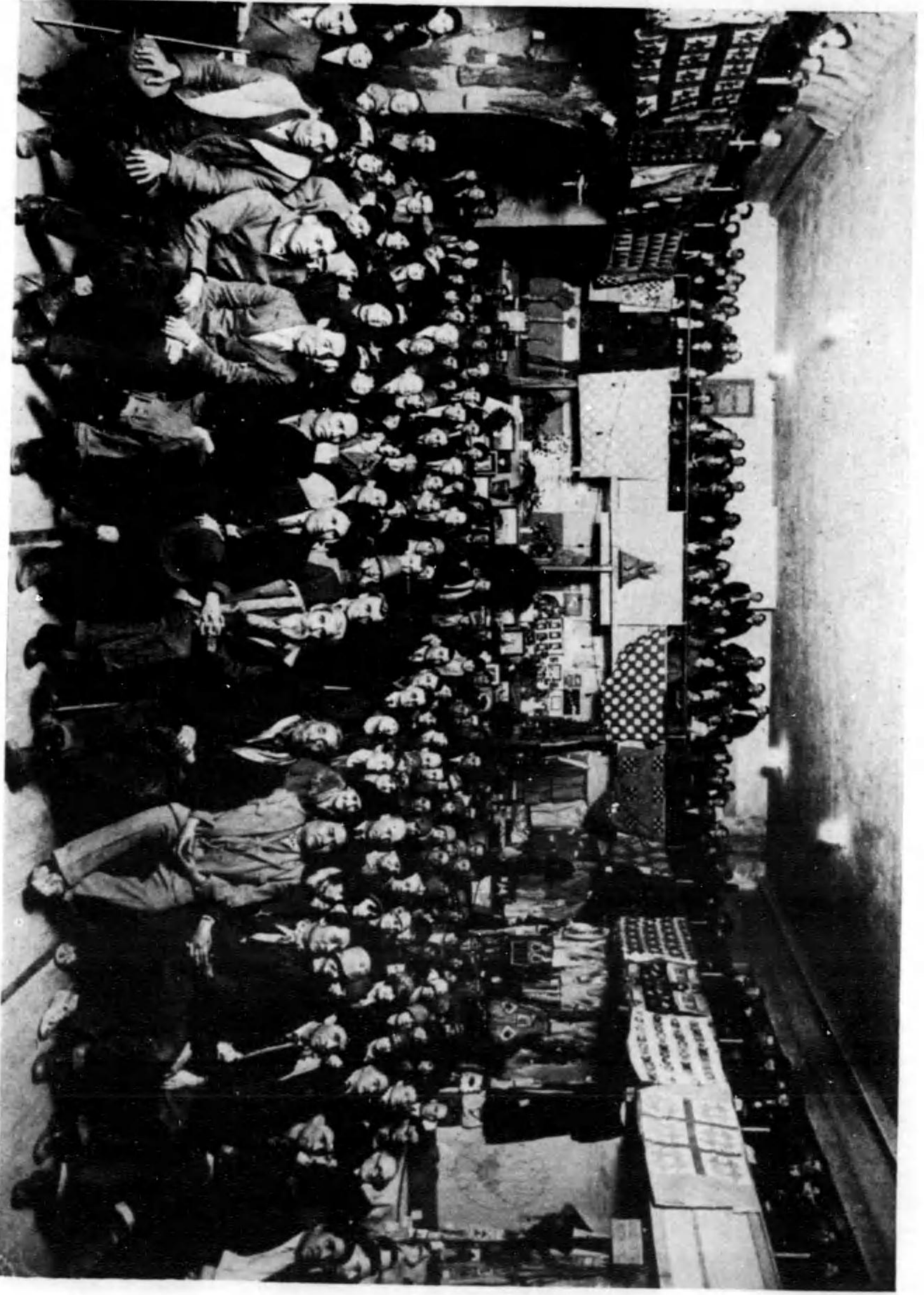
装服のり踊

。るあでのもなかやピラキてけつたり飾のどな玉スラガはに服の色影輝。装服のり踊の族-トオのンヤイデンイ



婦夫のソヤイヂソイ

あるところを渡す中、ソヤイヂソイは妻と子供を背負って、大に下州へ行く。ソヤイヂソイは、大に下州へ行く。



ソヤイヂソイの會

あるところを渡す中、ソヤイヂソイは妻と子供を背負って、大に下州へ行く。ソヤイヂソイは、大に下州へ行く。



族 スミ タワ タボ

。ろこともんで見を皮毛で中の家が男の族スミタワタボるみにく近のレーボヤイデ・トーイフ



ンヤイデンイふ用をフィナ

。るみてべ食にろさまうら定編脚。波野のきとた出にターニー・コガンヤイデンイを住に方地が美ドラロコはれエ



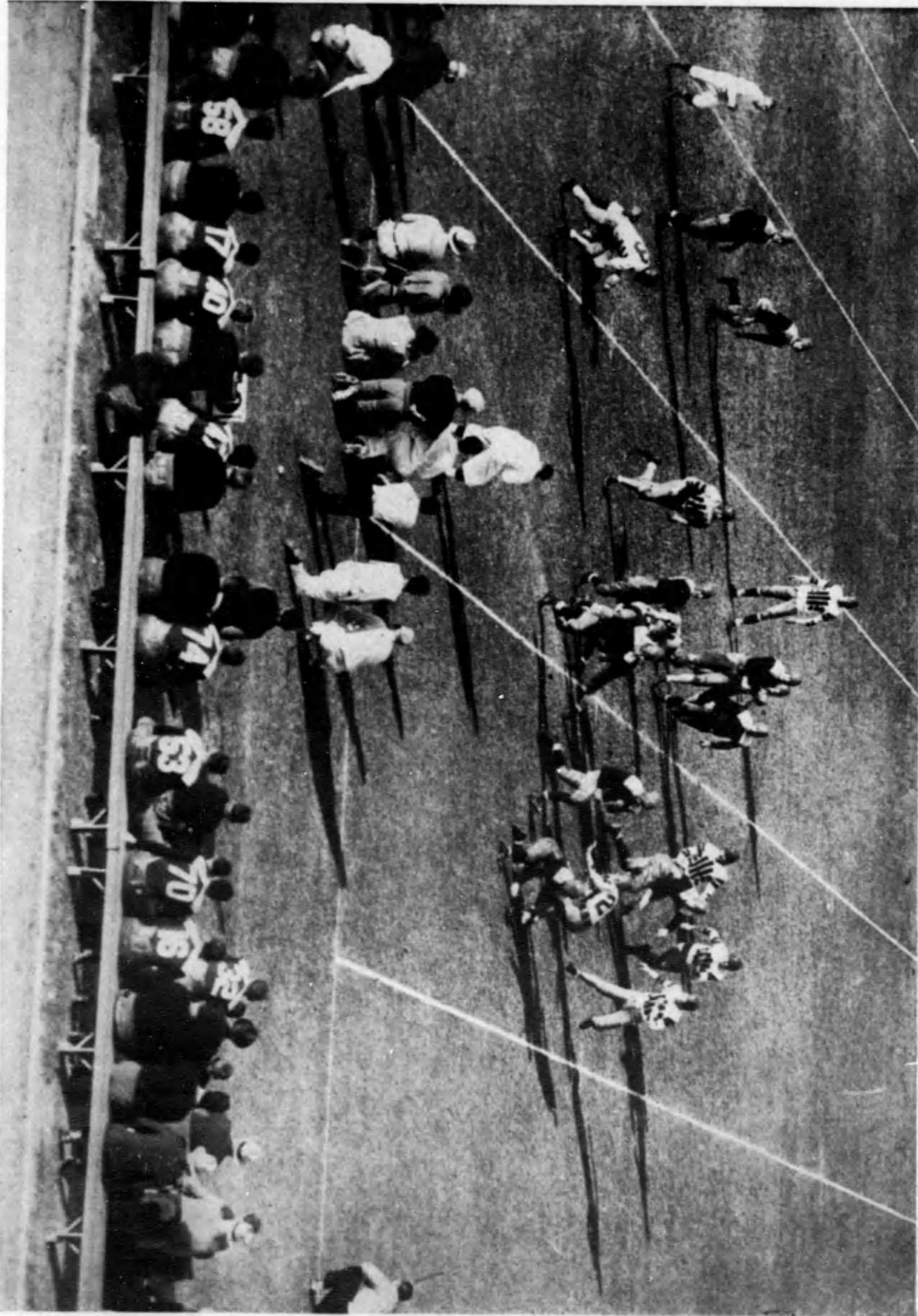
ンヤイテンイ・スミ

○んさ娘らはいと人美の部族の中ンヤイテンイ住にタンエラ州サンカはれこ ○鼻たつ通・眉たで秀

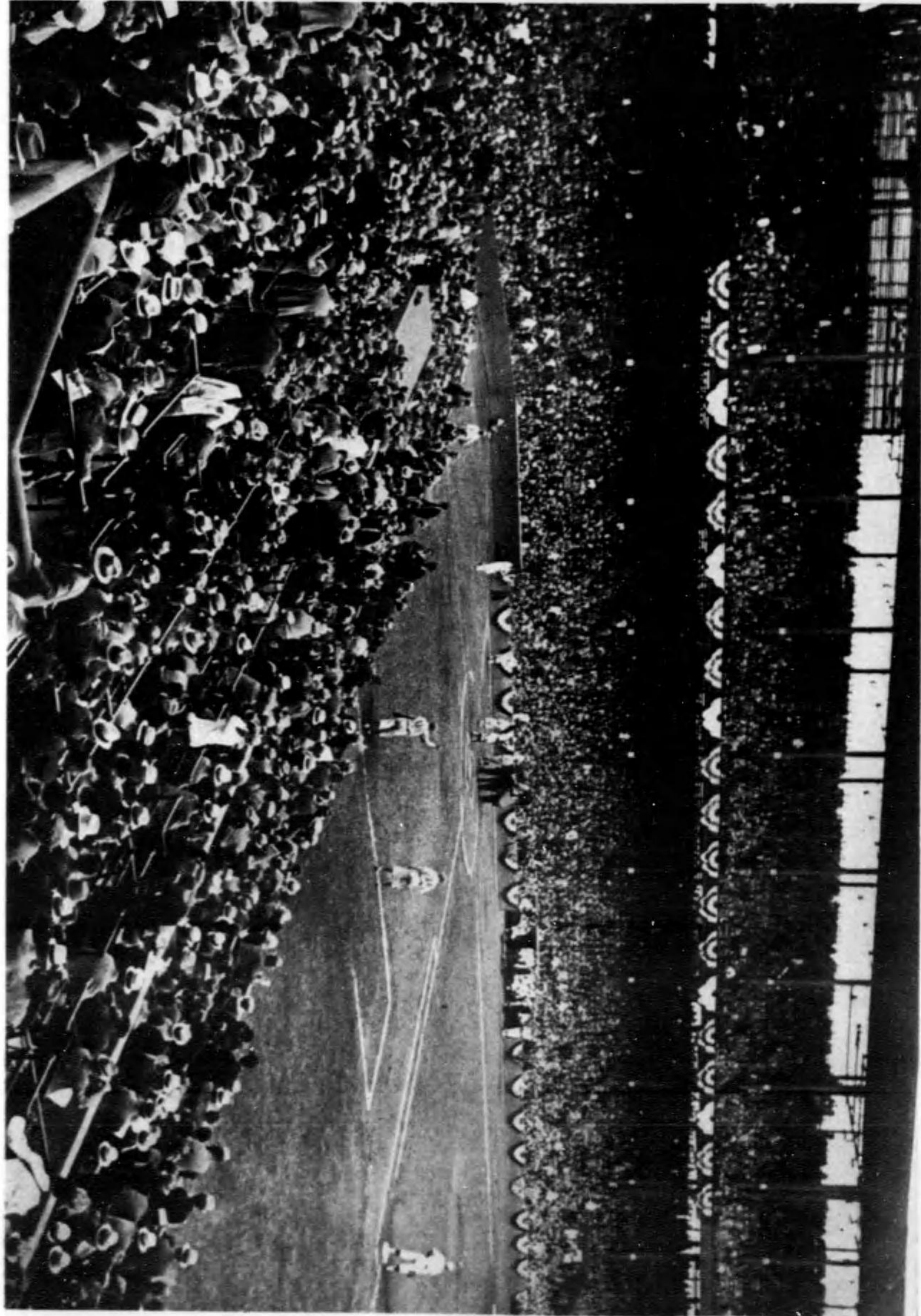


生學のンヤイテンイ

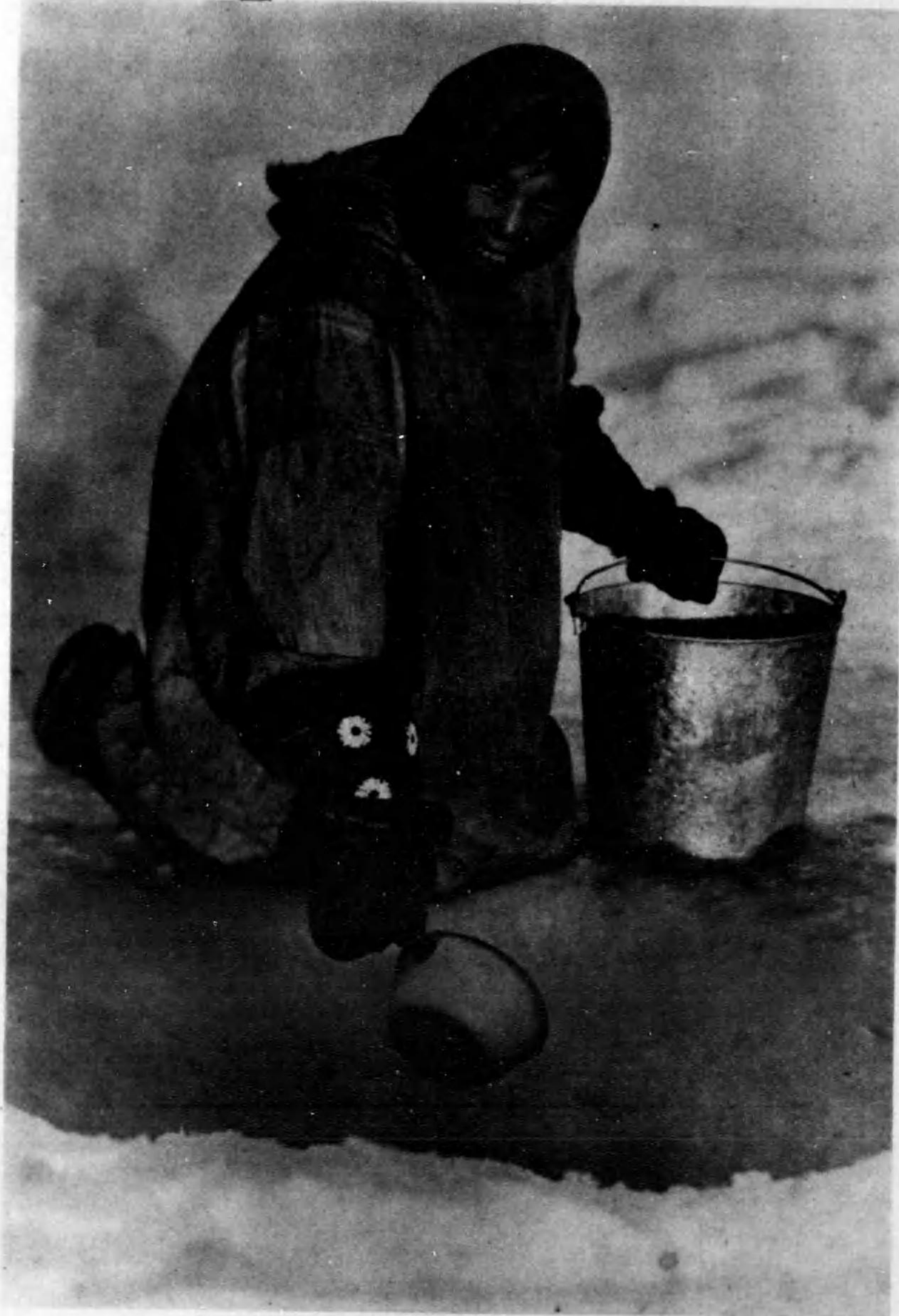
○生學のダッレカのスレーロにんさ娘の部一キロエチのこ ○いなく歩がのるけ受を問學もで中ンヤイテンイ



ーヒクラ・ソカリマア
 のいなは扱はでないさすを頭を鹿に生娘はムーグな出勇。ちるでーヒクラはのちまに娘連の氣人で置生娘の圖集合カリマア



人物見いしら晴業
 のく行てのらさるの氣人の圖集合はデーリセ・ヤムーワるれは行に鹿連にデーシの々年のそ。るあでムーボ・ヌーンは日國の圖集合



氷のモキスエを水
 氷湖の水が氷のモキスエのカスラア。あるて種人住に部北のヤツア・ドンラン・ラダ・カスラア部北のダナカはモキスエ



育 體 の 女

生業女く引を弓。あるてし器活で面方る事凡でのそいしら時業は器ツーボスの生業の女はでカリメア

カリメア



長谷のシャイデンイ

。長谷一の州スナカ、るあてれら見とるあて種變一の種人古袋れは呼と等人色類・人色赤らか色の膚皮のそはシャイデンイ米北

カリメア



男の族ーオシ

。るあて子男の族ーオシのシャイデンイ・カリメア、るあて君を女の皮毛たけつをり舞い舞はに舞けつを羽の鳥はに頭

カリメア



ルーガ・キンザ

。るす難話にも面方るなかいでか街で気心は人(國業合)カリメア、國米るす進突に下のート、マの義主一遊界世め聖に國一を富の界世

カリメア



る踊はロケニ

。るみてした来も持を難領と調教な々種な的人や今はロケニたれらせさ住移らかカリメアにめたの拓開米北



男のシャテンイ・ナガハブ

メサチラを島に巧で矢吹は等直で管の矢吹の餘メトメ三はのたしに下。るあでん住にヤビムロコ東米南は族種のコ



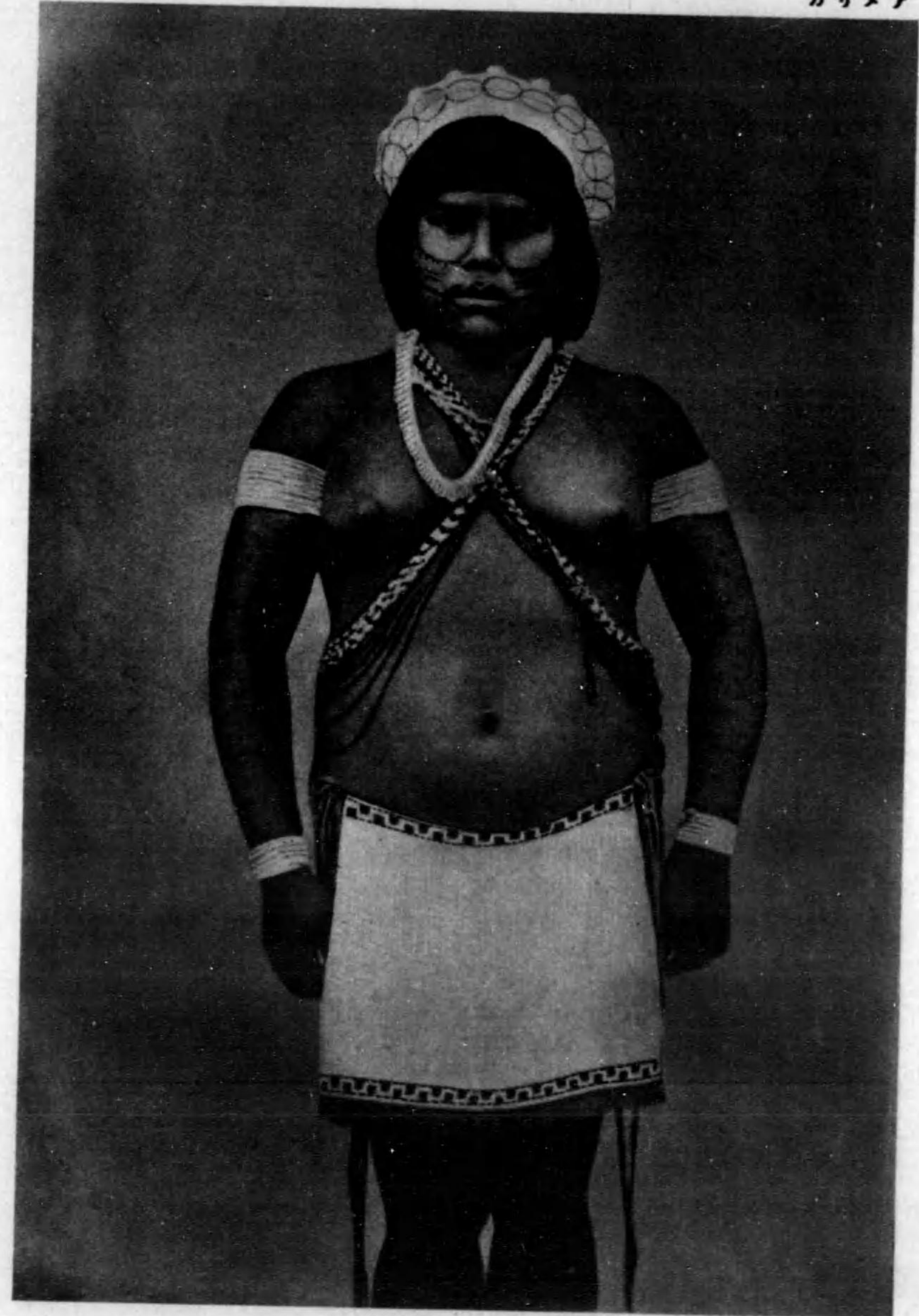
り飾装な大偉

るひ用を金純けてしと鎖の用飾装でのもな美徳得獨はり飾装い白のこ。るすと主を族タメズアは民住原のコシキメ



はむす鼻がいき人は鼻、ふれはいもとどな種人色顔から色の膚皮のそはンヤ、デンイむ仕にカリメア 妻のそと長酋のンヤイテンイ
 ぶあてふことるみて着を装束の用式儀が妻夫長酋の族一イは首宮、るみてれら見とるあて族分一の種人ヤニアはらから上族系く高も首飾り通

カリメア

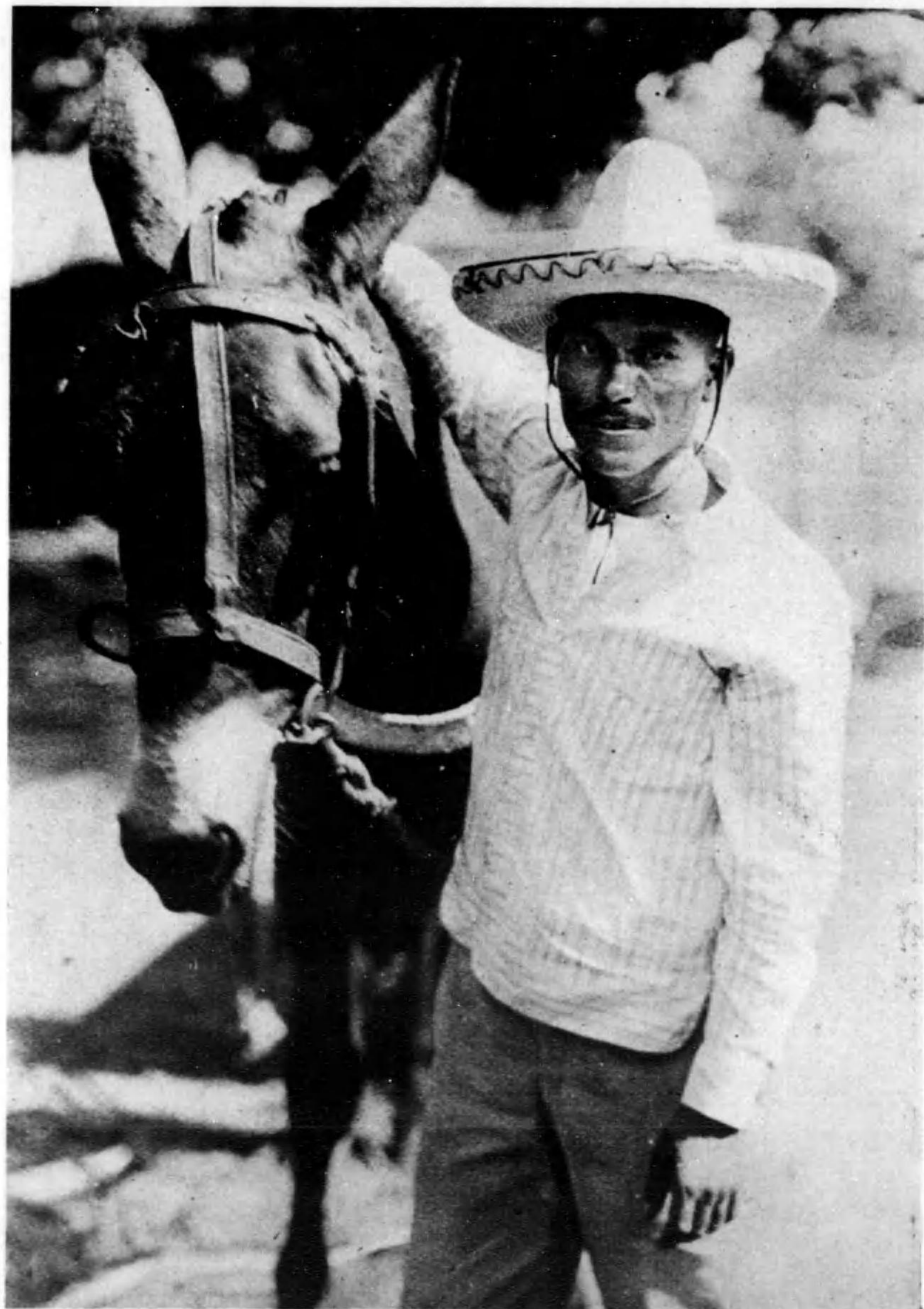


族のルジラブ部北
 るみてけつをり腕たねらつを子孫はに腰や腕・靴輪はに履、ろことた君を名暗のり祭おが族のンバナートたしを悪入はに履



女乙む笑ほとラバ

花のラバる誇き咲り盛を今と體肉のそたつ育と々生。女乙のカリメアむ笑ほほにか顔に中の畑のラバ



子馬のキシメ

ある重荷を子馬の背に負はる人キシメ、いなべ運が荷はてくまで馬でのるなく、常に常井が経道と入に初雨は地内のキシメ



兒小のキシメ

あるめ古をトシセーバ七三でンヤンイが次トシセーバ三四の口人絶で兒血混のと人白とンヤンイはのい多畜一でキシメ



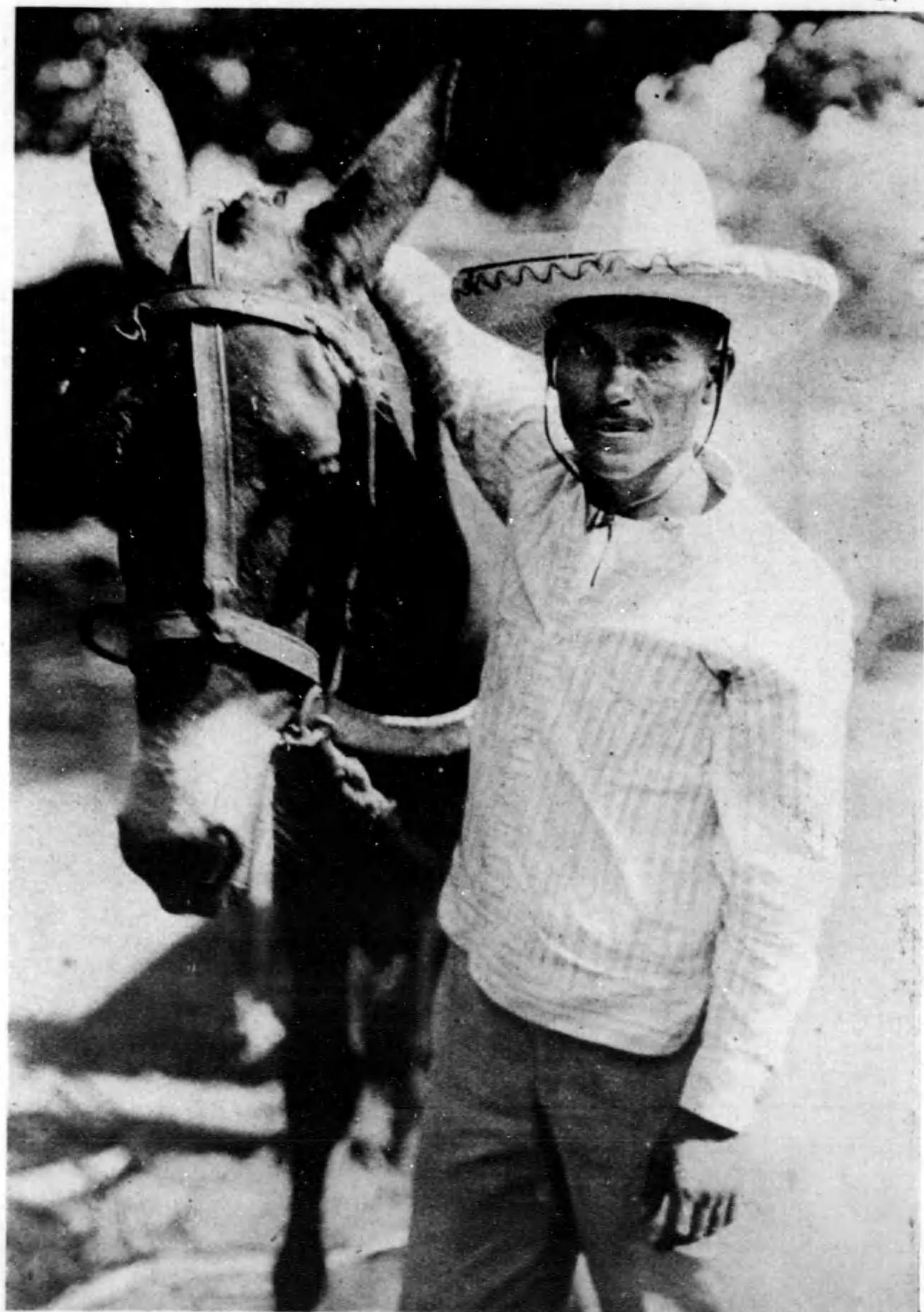
クナカウイーン

あるで民國もがたしき舞り祭おてつ踊でスジャで氣元でか節、だ民國いとのり合付人は人カリメア



祝のスマスリク

あるてつ合ひ暮で下のーリツ・スマスリクのンテボサで舞にのふいとスマスリク、いい祝はヤニル、フリカ南



子馬のコシキメ

ある重荷を子馬の背に負はるコシキメ。いなべ運が荷はてくまで馬でのるなく堅に當非が路道とる入に初雨は地内のコシキメ



兒小のコシキメ

ある占をトシセーバ七三でシヤイヂンイが次トシセーバ三四の口人總て兒血混のと人白とシヤイヂンイはのい多番一でコシキメ



リ 祭 お の 供 子

おん見くよお祭りのリヤチンキコシキイ古のころおてしを頼のリヤチンキの昔い古に日のり祭お供子のコシキイ



育 教 の リ 作 壺

おく行これらへ備う儀のそれ、園しかしたの始原に孫は子に子は親、い名名でのる作を壺な男壺は取ナトのコシキイ



女乙のナアフテ

●もてつぶからか頰をスーレたれら作に妙巧に常非はに日のどなり整おは女のナアフテのコシキメ



女美の族カテホザ

●るげつを物飾の全飾した麗莉はの女が水軍船は装服 ●い高名でのい多の人美は族カテホザ申ヤイデンイのコシキメ



人土のスラユチンホ

○く行てれき側置に兒血温のとログネキログネはンヤイデンイのここ 國の開未のて中末申はスラ・ザンホ



子母のラマテラッ

○るあてせのを籠たつ入証の島に頭が子と母 多い多がとこぶ運を物で頭は運ンヤイデンイのラマテラッ



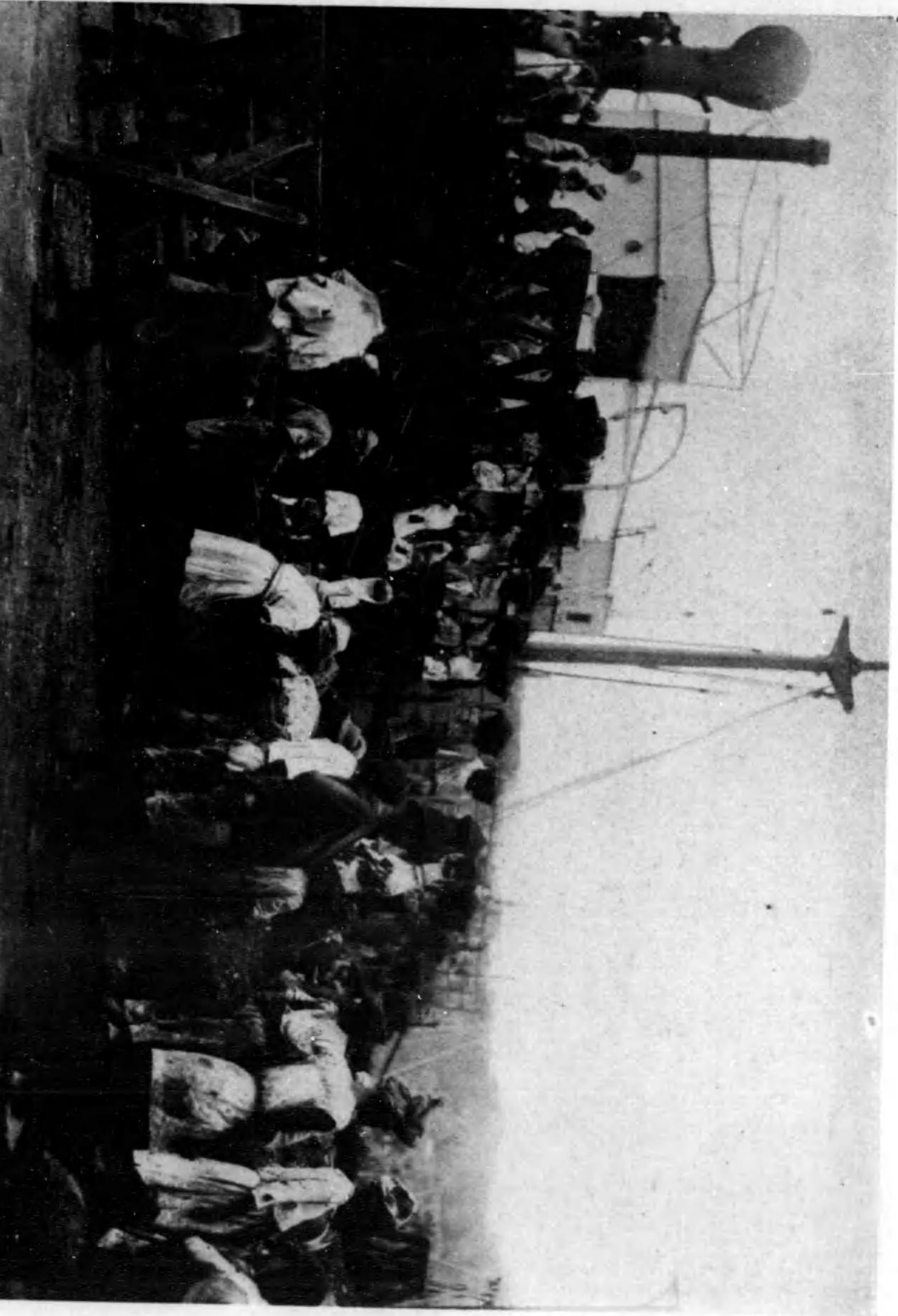
てへ抱を子襦マナバ

にせき伊乾てへかを襦マナバ。るみては行に横尻大てつよに手の人スリキイは造製の子襦もけ於にマナバ



集群のトソリコ

のき類の市トソリコ出洋平太。るあで開るはさ町家屋てつよに豊計の河津解止船を洋西大と洋平太はソソリコカニ

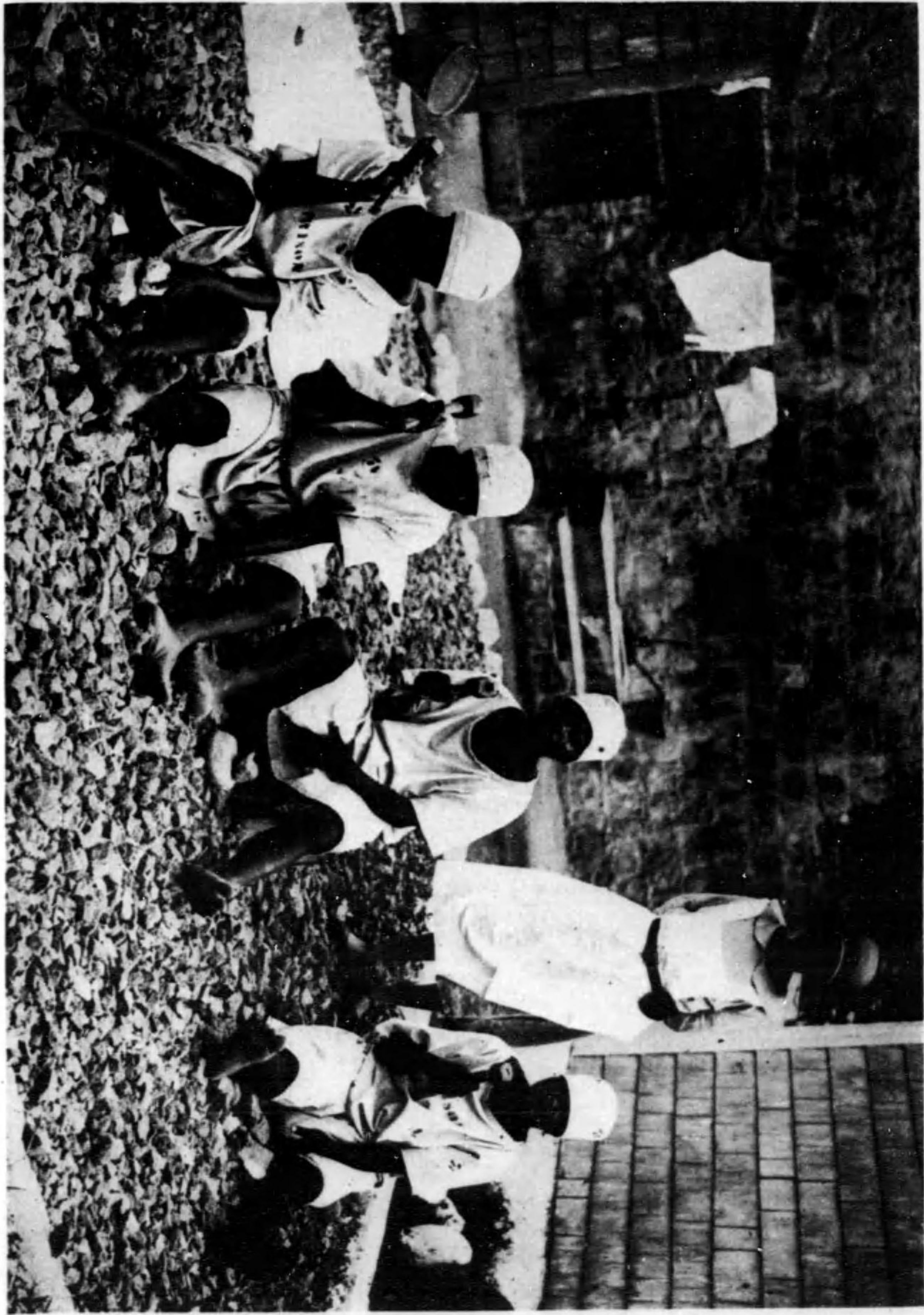


352

群の人黒が運を炭石

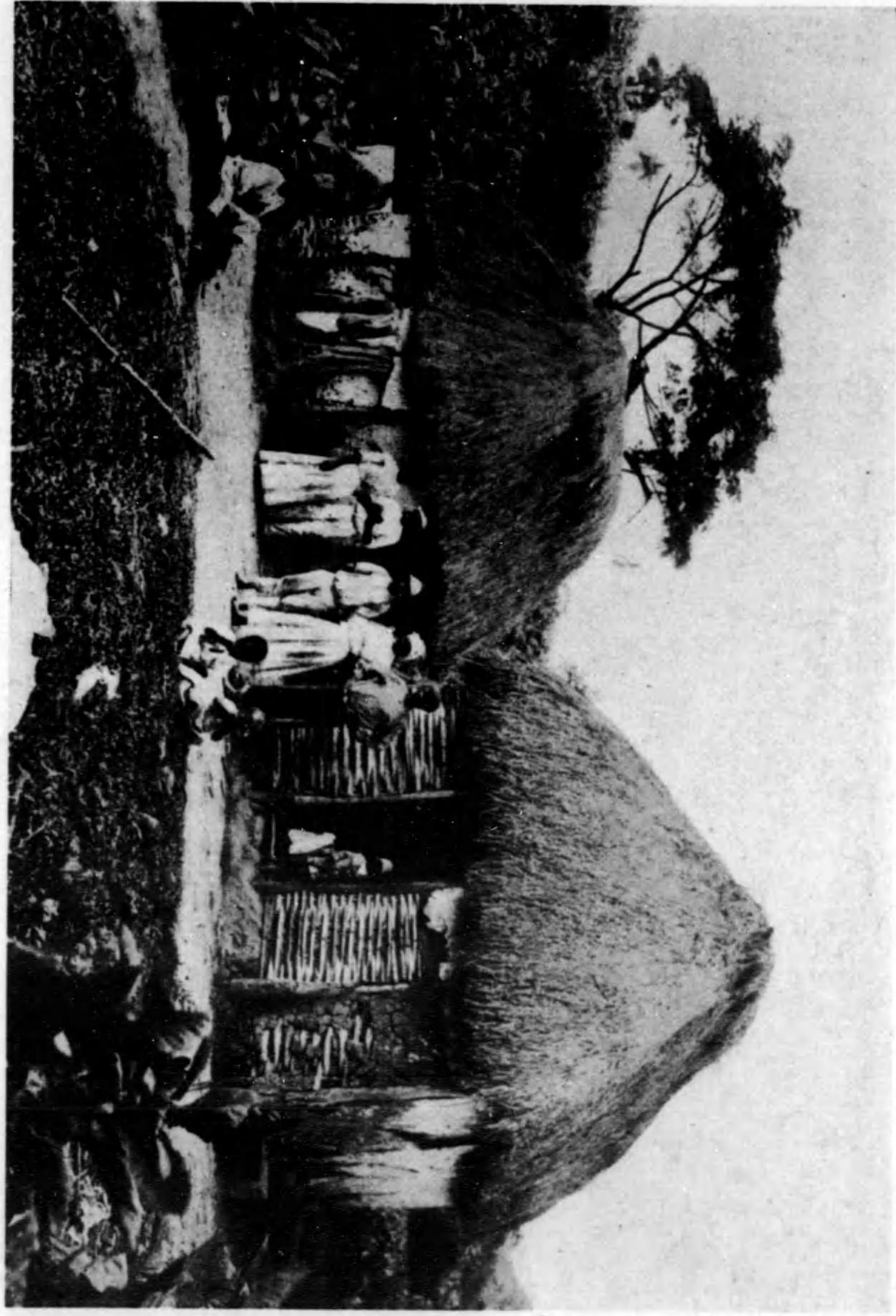
のるこをみてい園に命懸にあたる人々の運を炭石へ船汽の運人用。もあで船陸の島ヤシム・トツセ切集の島津ムチツク

353



人黒のトソイ西

のるこをみてい園に命懸にあたる人々の運を炭石へ船汽の運人用。もあで船陸の島ヤシム・トツセ切集の島津ムチツク



家 族 の カ イ マ ヤ ジ

この村に示す能成な和平いし種もよくなはごい、里は活生、食糧と国家のり通字文、あるで家集の島カイマヤジ



顔 堂 の 畑 蔗 甘

あるでつ畑を畑に食糧が運入土今で中の畑蔗甘、あるとい高利にもよ、あるでしと地集の集島カイマヤジの島集カイマヤジ



女乙の島チイハ

あるあでんさ娘の人士島チイハつ立てけつをり飾の花い高の香に百と額に中の葉の芋ロキとシケネエ



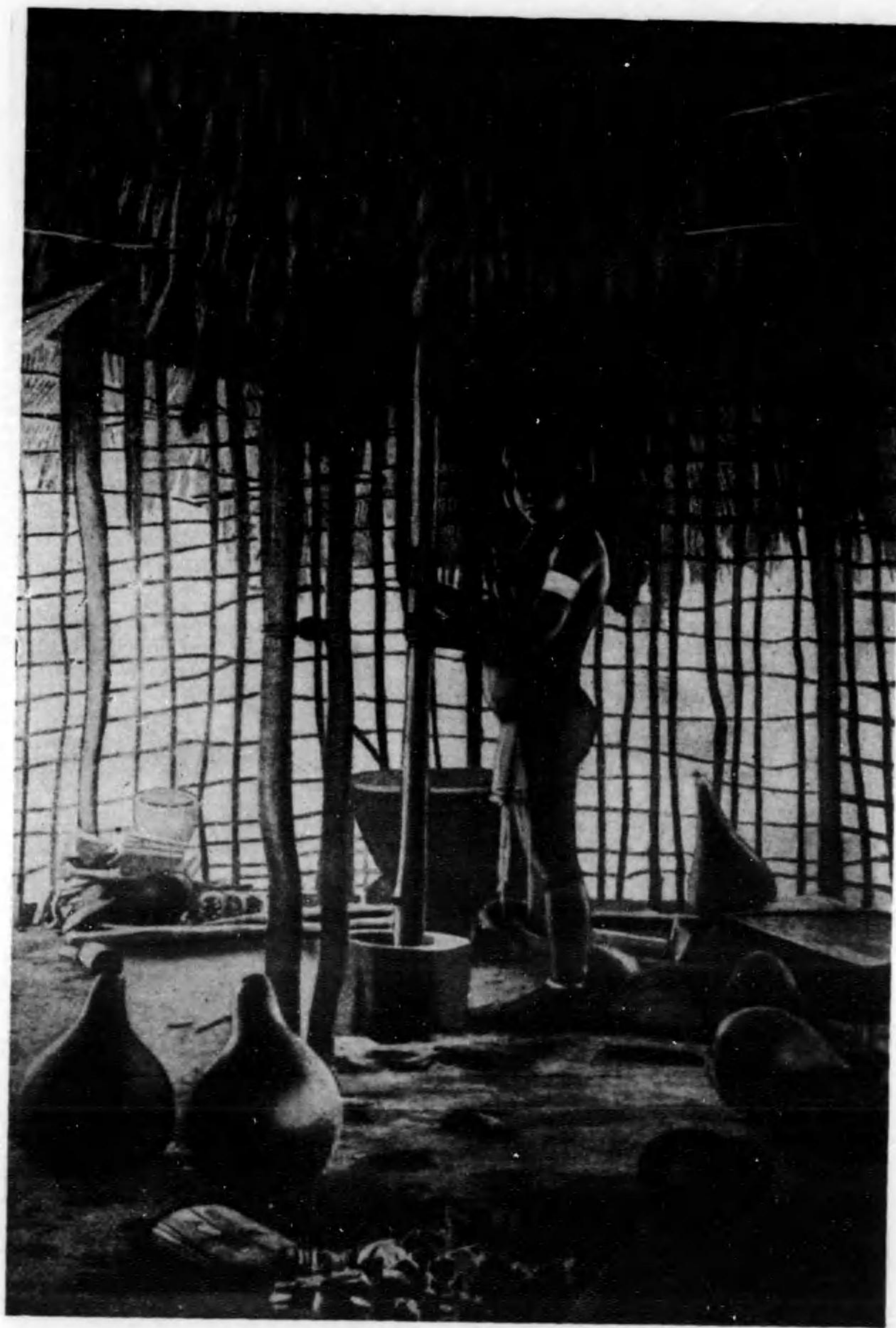
人士の島チイハ

たれさほ涙にめたの人シイベスがたつあて派一のシヤンイてついと人ブリカは民住居の島チイハ



民 蠻 狩 な の 始 原

るみてしく長てつ切にきとの兒小は耳。るみてし活生が歌種るからに今はに地舞のムジラフ



家 い よ の し 過 風

るこるみてい場を物置が女で背い長。るあでけむ園で子箱を置置は家の人士のナヤイ侯英